

平成30年度

教育要覧



佐久市教育委員会

目 次

I 佐久市の概要

1 佐久市の沿革	1
2 位置と地勢	2
3 気候	3
4 人口と世帯数の推移	3
5 佐久市合併系図	4

II 教育委員会

1 教育委員	5
--------	---

III 教育基本方針

1 佐久市教育大綱	6
2 佐久市教育振興基本計画概要	8
3 佐久市が目指す将来都市像	13
4 佐久市学校教育の目指す方向	13
5 佐久市社会教育の目指す方向	21

IV 教育行財政

1 教育行政の歩み	23
2 平成30年度教育委員会機構図	30
3 平成30年度教育委員会事務局等職員数	31
4 教育委員会及びその附属機関等	32
5 平成30年度教育委員会事務局等の事務分掌	35
6 平成30年度佐久市一般会計予算の状況	38
7 平成30年度教育費予算の状況	39
8 平成30年度教育費予算対比表	40

V 学校教育

1 小・中学校名および所在地、学校長名、通学区	41
2 小・中学校別児童・生徒数、学級数一覧	43
3 小・中学校別教職員数一覧	44
4 小・中学校別建物等保有状況	46
5 教職員住宅一覧	47
6 学校給食施設一覧	48
7 各種施策の推進	50
学力向上事業	50
体力向上事業	50
生徒指導事業	50

教師等の力量向上事業	5 2
国際理解教育	5 4
健康・安全	5 5
教育扶助	5 7
奨学制度	5 9
8 統計資料	6 0

〈平成30年度小学校17校・中学校7校の教育目標〉

岩村田小学校	6 2
佐久平浅間小学校	6 3
中佐都小学校	6 4
高瀬小学校	6 5
野沢小学校	6 6
泉小学校	6 7
岸野小学校	6 8
中込小学校	6 9
佐久城山小学校	7 0
平根小学校	7 1
東小学校	7 2
田口小学校	7 3
青沼小学校	7 4
切原小学校	7 5
臼田小学校	7 6
浅科小学校	7 7
望月小学校	7 8
浅間中学校	7 9
野沢中学校	8 0
中込中学校	8 1
東中学校	8 2
臼田中学校	8 3
浅科中学校	8 4
望月中学校	8 5

VI 社会教育

1 生涯学習

社会教育事業	8 6
生涯学習推進事業	8 6
少年センター事業	8 7
青少年健全育成事業	8 7
青少年補導活動事業	8 9
ふるさと創生人材育成事業	9 1

2 文化振興

文化振興事業	9 3
文化施設管理運営事業	9 4
佐久市生涯学習センター	9 4
佐久市コスモホール	9 5
佐久市交流文化館浅科	9 6
佐久市佐久平交流センター	9 7
佐久市鎌倉彫記念館	9 7
佐久市天体観測施設（うすだスタードーム）	9 8
佐久市臼田文化センター	1 0 0
佐久市五郎兵衛記念館	1 0 1
佐久市立天来記念館	1 0 1
佐久市立望月歴史民俗資料館	1 0 3
佐久市川村吾蔵記念館	1 0 4

3 文化財

文化財保護事業	1 0 6
指定文化財一覧	1 0 6
国登録有形文化財	1 1 1
国史跡・重要文化財 旧中込学校及び資料館	1 1 1
ガソリンカー及び蒸気機関車	1 1 3
島崎藤村旧宅	1 1 3
国史跡 龍岡城跡	1 1 3
動画等による周知及び活動	1 1 4
文化財調査事業	1 1 4
佐久市の遺跡と歴史年表	1 1 8

4 社会体育

スポーツ大会・スポーツ教室等の状況	1 2 0
体育施設の利用状況	1 2 5
社会体育施設	1 2 8

5 公民館

事業方針	1 3 0
中央公民館・地区館	1 3 1
佐久市地域公民館活動組織図	1 3 1
公民館の活動	1 3 2
市民会館等	1 3 6

6 図 書 館

事業方針、主要事業、佐久市立図書館の概要	1 3 7
図書館別・分類別蔵書冊数	1 3 8
利用状況	1 4 3

7 近代美術館

事業方針、主要事業	1 4 4
近代美術館の概要	1 4 5

8 人権同和教育

事業方針	1 4 7
人権同和教育・啓発事業	1 4 8
同和対策集会所	1 4 9
人権同和対策・人権同和教育の推進体制	1 5 0

I 佐久市の概要

1 佐久市の沿革

「佐久」の名が初めて記録に現れるのは、1500余年前に編さんされた、我が国六国史の一つに数えられる「三代実録」です。

次いで後醍醐天皇の時代にできた延喜式中にも記されており、有史以前の石器使用民俗を実証する数々の遺跡も発掘され、縄文時代以後の遺跡は市内いたるところに散在しています。平安末期から鎌倉時代にかけて大井庄、伴野庄、平賀庄などの荘園の繁栄がみられます。応仁の乱後、更埴地方に勃興した村上氏の治下に入りましたが後に、甲斐武田氏の支配下となりました。やがて徳川幕府となり、天領、私領が錯綜し、変遷は複雑をきわめています。

明治4年筑摩・長野の2県となり、佐久は長野県管轄となりました。佐久支庁を岩村田に置き佐久郡を管轄しました。明治9年に2県は合併され長野県となり、佐久支庁を廃し佐久取締所となりました。同年12月には佐久取締所を廃し佐久郡を二分し、それぞれの取締所が岩村田と臼田におかれしました。

その後、明治22年の「市制町村制」施行に伴う「明治の大合併」、昭和28年の「町村合併促進法」制定に伴う「昭和の大合併」という2つの大きな合併が行われ、合併特例法（平成7年改定）による「平成の大合併」前の市町村の姿ができあがりました。

昭和の大合併から40年余、社会経済情勢が大きく変化する中で、新たな諸課題への対応が求められ、市町村の行財政基盤を強化する必要が生じてきました。

このような中、合併についての調査・研究が進められ、平成15年12月には佐久市・臼田町・浅科村・望月町による法定合併協議会が設置され、平成17年4月1日、佐久市、臼田町、浅科村、望月町の4市町村が合併し、10万都市・新「佐久市」が誕生しました。

〈旧4市町村の変遷〉

■旧佐久市は、昭和36年4月1日、北佐久郡浅間町、東村、南佐久郡野沢町、中込町の3町1村の合併により長野県内で17番目の市として誕生しました。

江戸期には中山道と佐久甲州街道の結節地として交通の要所にありました。

近年においては上信越自動車道や北陸新幹線、さらには中部横断自動車道といった高速交通網の整備が飛躍的に進み、とりわけ、北陸新幹線佐久平駅周辺は大きな変貌を遂げ、長野県内有数の商業圏を形成しています。

江戸時代から始まった佐久鯉や、多くの造り酒屋から生産される伝統的美酒は佐久の清流が育てる全国ブランドです。教育への情熱の象徴である旧中込学校は、日本最古の擬洋風学校の一つとして国の重要文化財に指定されています。

また、全国各地からの選手たちがその技を競う佐久バルーンフェスティバルや、日本五大稲荷といわれる鼻顔稲荷神社初午祭の賑わいは、佐久の風物詩として定着するなど高速交通網の整備とともに、人・モノ・情報の交流が盛んになっています。

■旧臼田町は、昭和32年4月1日、田口青沼村、臼田町が合併し、臼田町が誕生しました。幕末の激動のさなかに、西洋式の築城法を用いて造られた龍岡城五稜郭は我が国には2つしかない星型稜堡の様式築城で、貴重な歴史遺産であり、お堀、土居、お台所が遺されています。

明治の時代には郡役所ができ、その後警察署、裁判所の出張所などの重要な機関が集結し、行政・治安・経済、あらゆる方面において発展しました。

また、農村医学の発祥の地、ハレー彗星大接近を契機に建設された大パラボラアンテナなど、地域の特性を生かしたまちづくりに取り組んできました。

古くからの伝統行事である新海三社神社の御田植祭・御神符祭、また天下泰平・五穀豊穰を祝う神事である湯原神社式三番は、250年余の前から続く山村の郷土芸能で、脈々と後世に受け継がれています。世界的に著名な彫塑家の出身地でもあり、先人が遺した歴史・文化遺産は、貴重な文化財として現在に息づいています。

■旧浅科村は、昭和30年1月15日、中津村、五郎兵衛新田村、南御牧村が合併して誕生しました。川越しの宿である塩名田宿、第14代将軍徳川家茂に降嫁した皇女和宮が宿泊した八幡宿は今でも街道筋の随所にその面影を残しています。

全国の疎水百選に選ばれた五郎兵衛用水から引かれた豊富な水と、千曲川の豊かな流れがもたらした肥沃な耕地から収穫される五郎兵衛米は天下の美味として全国でも高い評価を受けています。

■旧望月町は、昭和34年8月、本牧町、布施・春日・協和村の1町3か村が合併して誕生しました。望月の北東の御牧原台地は平安時代初期に朝廷直轄の「勅旨牧」（牧場）があり、美しく力強く成長した馬は最高の良馬として「望月の駒」と称され、都に献上されました。江戸から碓氷峠を越えた中山道は、小田井、岩村田、塩名田、八幡の各宿を経て、望月宿に入ります。望月宿、そして「間の宿」と呼ばれた茂田井は今でもかつての風情を色濃くとどめています。また、鎌倉時代から建立された石造物は3千体を超え、旅の安全、村の平穏を見守ってきました。

江戸時代以前から続く伝統的な火祭りで、信州の奇祭として広く知れ渡る榊祭りや望月駒の里草競馬大会には多くの観光客が訪れます。書の天才を生み、歌人に愛された文化と芸術が息づく里として、また湯の里として、その伝統は、今も脈々と引き継がれています。

2 位置と地勢

佐久市は、長野県の東部にあり、県下4つの平らの一つである佐久平の中央に位置しています。北に浅間山、南に八ヶ岳を望み、蓼科山、双子山、荒船山などに囲まれ、千曲川が市の中央部を南北に貫流する、自然環境に恵まれた高原都市です。

(1) 位置

佐久市中込3056番地（佐久市役所）

東経 138度28分37秒

北緯 36度14分56秒

海拔 692メートル

(2) 面積

423.99平方キロメートル

（東西32.1キロメートル、南北23.1キロメートル）

3 気 候

佐久市は、高燥冷涼で寒暖の差が大きい内陸性気候であり、年間の平均気温は約 11℃と涼しく、降水量は年間 1,000mm 前後と全国的にも少ない地域です。

日照時間は、年間 2,000 時間前後と、年間を通して晴天率が高い地域です。

4 人口と世帯数の推移

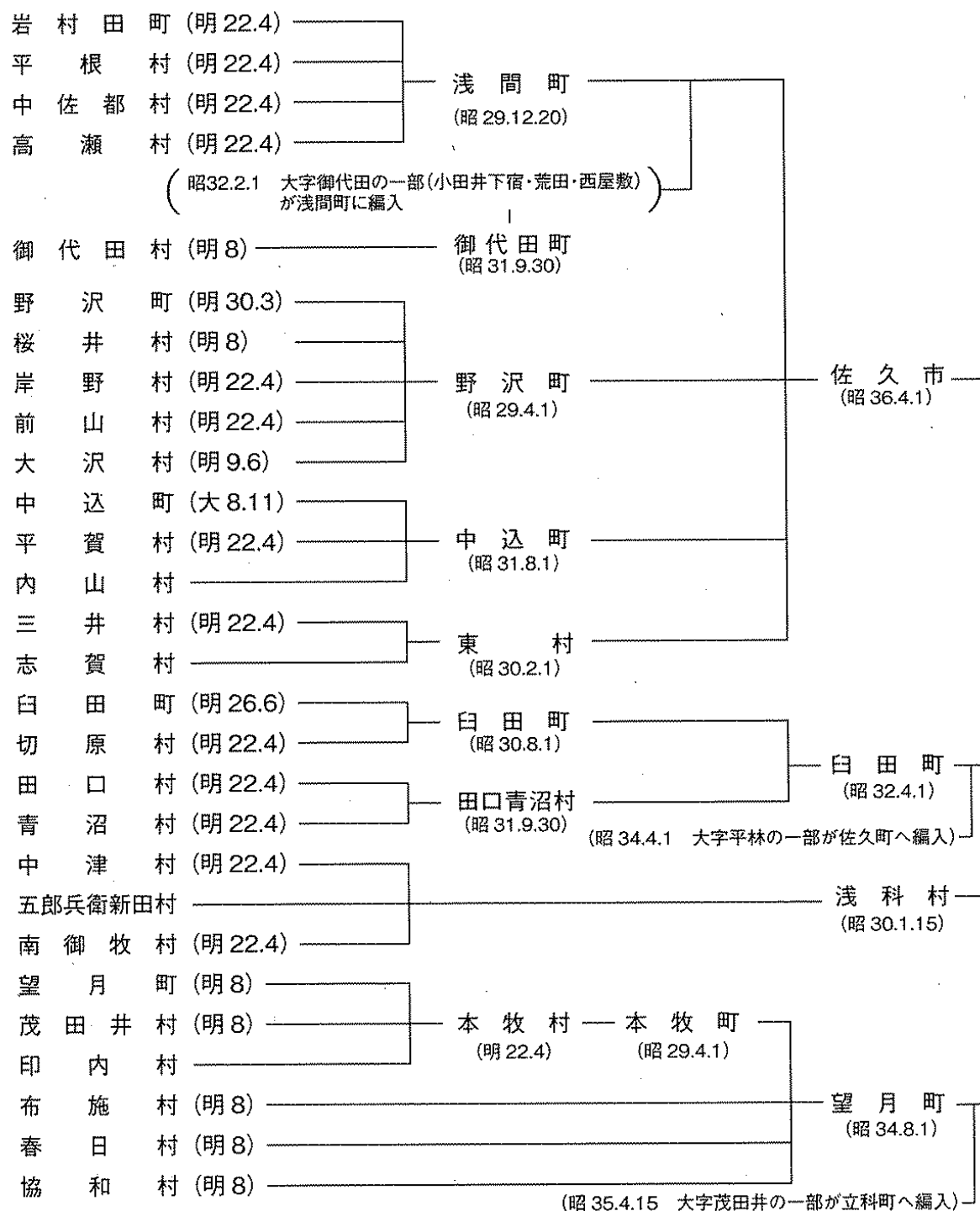
近年における国勢調査では、平成7年は97,813人、平成12年が100,016人、平成17年では100,462人、平成22年では100,552人と人口は増加傾向でしたが、全国的な人口減少により佐久市も例外ではなく、平成27年は99,368人となっています。

一人の女性が、生涯に生む子どもの数の平均を示す合計特殊出生率の長期低落傾向が続いており、全国の出生率は平成17年に1.26と過去最低を更新し、人口の減少が大きな社会問題となっています。しかし、本市の平成17年の出生率は、1.42、平成22年では1.57、平成27年では1.52と、いずれも全国値を上回っている状況です。

年 度	男	女	計	世帯数
平成 17 年度	49,746	51,647	101,393	37,122
平成 18 年度	49,671	51,583	101,254	37,535
平成 19 年度	49,626	51,512	101,138	37,829
平成 20 年度	49,502	51,479	100,981	37,816
平成 21 年度	49,469	51,475	100,944	38,299
平成 22 年度	49,469	51,482	100,951	38,555
平成 23 年度	49,339	51,426	100,765	38,854
平成 24 年度	49,198	51,298	100,496	39,132
平成 25 年度	49,014	51,186	100,200	39,495
平成 26 年度	48,935	51,061	99,996	39,824
平成 27 年度	48,856	50,794	99,650	40,082
平成 28 年度	48,856	50,760	99,616	40,649
平成 29 年度	48,729	50,700	99,429	40,985
平成 30 年度	48,573	50,523	99,096	41,227

資料 男女別人口及び世帯数：住民基本台帳＋外国人登録（4月1日現在）

5 佐久市合併系図



佐久市 (平成 17 年 4 月 1 日)

Ⅱ 教育委員会

1 教育長及び教育委員

教 育 長



榑澤晴樹

教育長職務代理者



原 拓男

委 員



鈴木祥子

委 員



萩原周子

委 員



吉岡道明

職 名	氏 名	任 期	
教 育 長	榑 くろみ 澤 さわ 晴 はる 樹 き	自 2018. 5. 18	至 2021. 5. 17
教育長職務代理者	原 はら 拓 たく 男 お	自 2017. 5. 18	至 2021. 5. 17
委 員	鈴 すず 木 き 祥 しょう 子 こ	自 2016. 5. 18	至 2019. 5. 17
委 員	萩 おぎ 原 はら 周 かね 子 こ	自 2017. 5. 18	至 2020. 5. 17
委 員	吉 きち 岡 おか 道 みち 明 あき	自 2018. 5. 18	至 2022. 5. 17

III 教育基本方針

1 佐久市教育大綱

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、地方公共団体の長は、総合教育会議であらかじめ協議し、地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を策定することが義務付けられました。

このことから、平成27年度第3回佐久市総合教育会議での協議を経て、佐久市教育大綱を策定しました。

(1) 策定の趣旨

現代社会は、グローバル化や高度情報化の進展、ライフスタイルや価値観の多様化等の激しい変化が続いており、人口減少等、これまで体験したことがない問題に向き合う時代を迎えています。

これら大きく変化していく社会においては、その変化に柔軟に対応できる人づくりと、地域の将来を担う人づくり、人を支え育む地域づくりが重要となります。

このため、福祉や地域振興などの一般行政と教育行政が密接に連携し、教育関係施策の総合的な推進を図るため、佐久市総合教育会議での協議、調整を踏まえ、「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下「大綱」という。）」を策定します。

(2) 大綱の位置付け

大綱は、平成27年4月1日に改正施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に規定されるもので、本市の教育行政の目標や施策の根本となる方針です。市の最上位計画である佐久市総合計画における教育分野の基本構想の柱に即し、佐久市教育振興基本計画の基礎となるものです。

(3) 大綱の期間

平成28年度～33年度の6年間とします。ただし、必要に応じて佐久市総合教育会議での協議、調整を踏まえ見直しを行います。

(4) 基本理念・目指す姿

これまで体験したことがない問題に向き合う時代において、本市は、地域の強みや特徴を磨き上げることにより、それぞれの個性が光り輝く地域の「特徴ある発展」を目指しています。

この「特徴ある発展」を実現するのは一人ひとりの市民です。

市民が生涯にわたり主体的・創造的に学ぶことで、一人ひとりの市民の個性も光り輝きます。

本市では、生きる力を育む人づくりと、それを支えるまちづくりを推進するため、大綱の基本理念を次のとおり定めます。

基本理念

「生涯にわたり主体的・創造的に学び、

生きる力を育む人づくり、まちづくり」

基本理念を実現することにより目指す姿として、「目指す子ども像」、「目指す市民像」を定めます。

目指す姿

目指す子ども像

「夢や希望をもって輝き、ともに生きる子ども」

目指す市民像

「生涯にわたって学び続け、互いに支え合い高め合う市民」

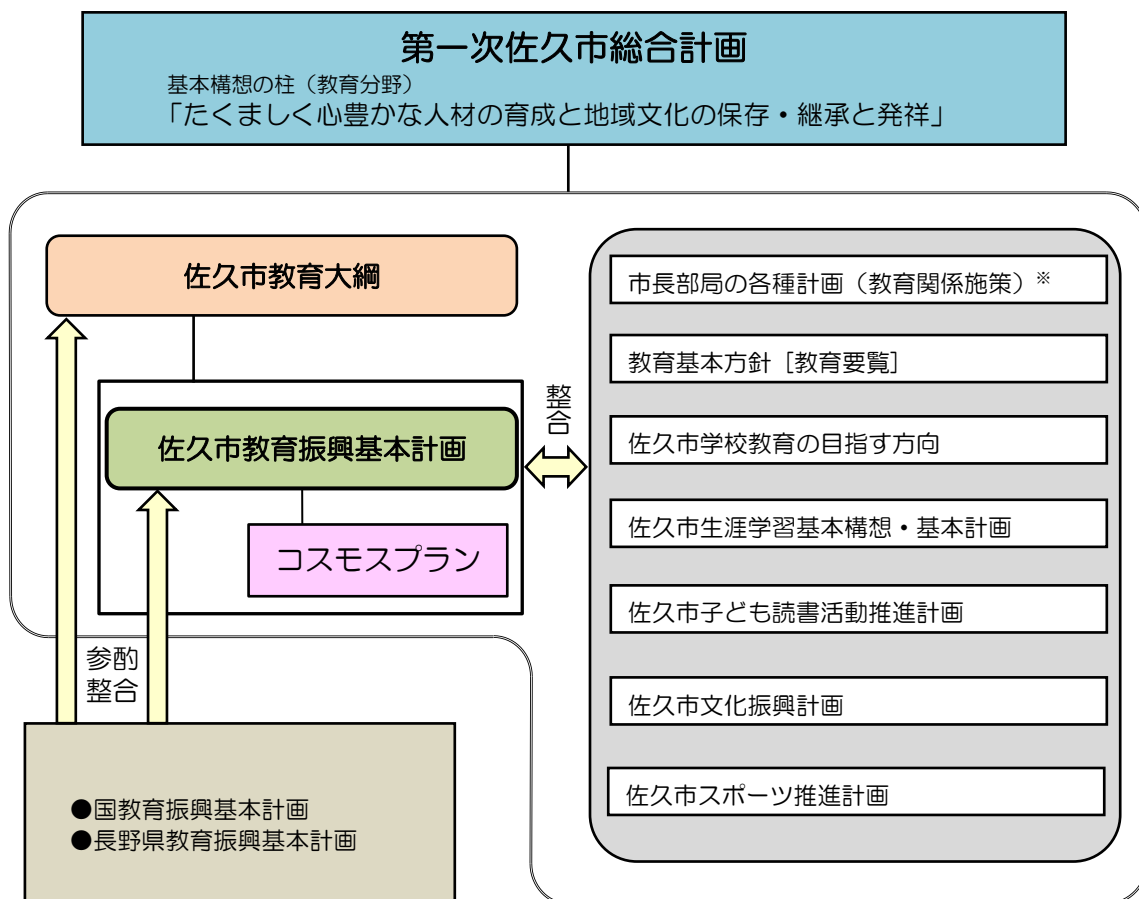
2 佐久市教育振興基本計画概要

第Ⅰ章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

国や長野県の教育振興基本計画を踏まえ、佐久市の教育施策を総合的、体系的に位置づけるために策定するものです。

2 計画の位置づけ



※以下の計画において教育施策に関わる部分

「佐久市環境基本計画」、「第二次佐久市部落差別撤廃と人権擁護に関する総合計画」、
「佐久市健康づくり21計画」、「佐久市食育推進計画」、「世界最高健康都市構想」、
「佐久市農・商・工連携地産地消推進プラン」、「佐久市子ども・子育て支援事業計画」、
「第2次佐久市男女共同参画プラン」

3 計画の期間

平成28年度から平成33年度までの6年間

第二次佐久市総合計画前期基本計画(平成29年度～33年度)の終期との整合を図っていきます。

第Ⅱ章 教育の現状

1 国・県の状況

2 佐久市の状況

各項目における現状及び合併以降の児童生徒数の推移、文化施設の利用者数等のデータを掲載しています。

(1) 学校教育の状況

ア 就学前教育の状況 イ 小中学校児童生徒数の推移 ウ 小中学生の学力の状況 エ 小中学生の体力の状況
オ 小中学生の心の育ちの状況 カ 学校教育施設の状況 キ 高等学校、高等教育の状況

(2) 社会教育の状況

ア 生涯学習の状況 イ 図書館の状況 ウ 青少年健全育成の状況 エ 公民館の状況
オ 文化芸術の状況 カ 文化財の状況 キ スポーツ活動の状況 ク 人権同和教育の状況

第Ⅲ章 佐久市教育の基本的な考え方について

基本理念（教育大綱における基本理念）

生涯にわたり主体的・創造的に学び、
生きる力を育む人づくり、まちづくり

【実践プラン】 「コスモスプラン ～読むこと・書くこと・行うこと～」

目指す方向と基本目標

1 学校教育

目指す子ども像

夢や希望をもって輝き、ともに生きる子ども

基本目標

- (1) 就学前教育の推進
- (2) 確かな学力を身に付けた子どもの育成
- (3) 認め合い支え合える、心豊かな子どもの育成
- (4) 心身の健康づくりの推進
- (5) 多様な子どもの学習機会の保障
- (6) 国際感覚を身に付け、グローバル化社会に対応できる子どもの育成
- (7) 地域を知り、地域を愛する子どもの育成
- (8) 望ましい学習環境の整備

2 社会教育

目指す市民像

生涯にわたって学び続け、互いに支え合い高め合う市民

基本目標

- (1) 生涯にわたる多様な学習機会の提供と学習環境の整備
- (2) 家庭・学校・地域・行政・関係団体等が一体となった青少年の健全育成・人材育成の推進
- (3) 地域公民館などの利用促進と生涯学習指導者の確保・育成
- (4) 文化・芸術・スポーツ活動の支援と振興
- (5) 人権尊重のまちづくりの推進

第Ⅳ章 基本計画

1 学校教育

(1) 就学前教育の推進

ア 幼児教育の充実 イ 家庭教育の充実

(2) 確かな学力を身に付けた子どもの育成

ア 学習指導の充実 イ 学習意欲の向上と学習習慣の確立 ウ 環境教育の推進

エ 進路指導とキャリア教育の推進 オ 小・中学校連携の推進 カ 高校教育、高等教育との連携

キ 家庭との連携

(3) 認め合い支え合える、心豊かな子どもの育成

ア 人権教育の推進 イ 道徳教育の推進 ウ いじめ、不登校対策の推進

(4) 心身の健康づくりの推進

ア 健康対策の推進 イ 体力・運動能力の向上 ウ 学校給食と食育の推進

(5) 多様な子どもの学習機会の保障

ア 特別支援教育の推進 イ 就学援助等の推進

(6) 国際感覚を身に付け、グローバル化社会に対応できる子どもの育成

ア 英語教育と国際理解教育の推進 イ 情報教育の推進

(7) 地域を知り、地域を愛する子どもの育成

ア 郷土教育の推進 イ 地域と連携した教育の推進

(8) 望ましい学習環境の整備

ア 学校教育施設・環境の充実 イ 安全確保対策の推進

2 社会教育

(1) 生涯にわたる多様な学習機会の提供と学習環境の整備

ア 生涯学習の推進 イ 図書館サービスの充実

(2) 家庭・学校・地域・行政・関係団体等が一体となった青少年の健全育成・人材育成の推進

ア 青少年の健全育成 イ 青少年の人材育成

(3) 地域公民館などの利用促進と生涯学習指導者の確保・育成

ア 公民館事業の充実 イ 公民館施設の整備 ウ 生涯学習リーダーバンクの活用

(4) 文化・芸術・スポーツ活動の支援と振興

ア 文化芸術活動の促進 イ 文化施設の運営・充実 ウ 文化財の保護・継承と活用

エ 生涯スポーツの促進 オ 東京オリンピック・パラリンピック開催に係る取組 カ 体育施設の運営・充実

(5) 人権尊重のまちづくりの推進

ア 人権尊重のまちづくりの推進

①第Ⅲ章の基本目標に応じた

現状と課題及び今後の主な取り組み(施策)を記載しています。

※内容に応じ小項目を設定し細分化

②各基本目標に数値目標を設定しています。

※基本目標一覧(右ページ)のとおり

第Ⅴ章 計画の実現に向けて

1 計画の推進体制

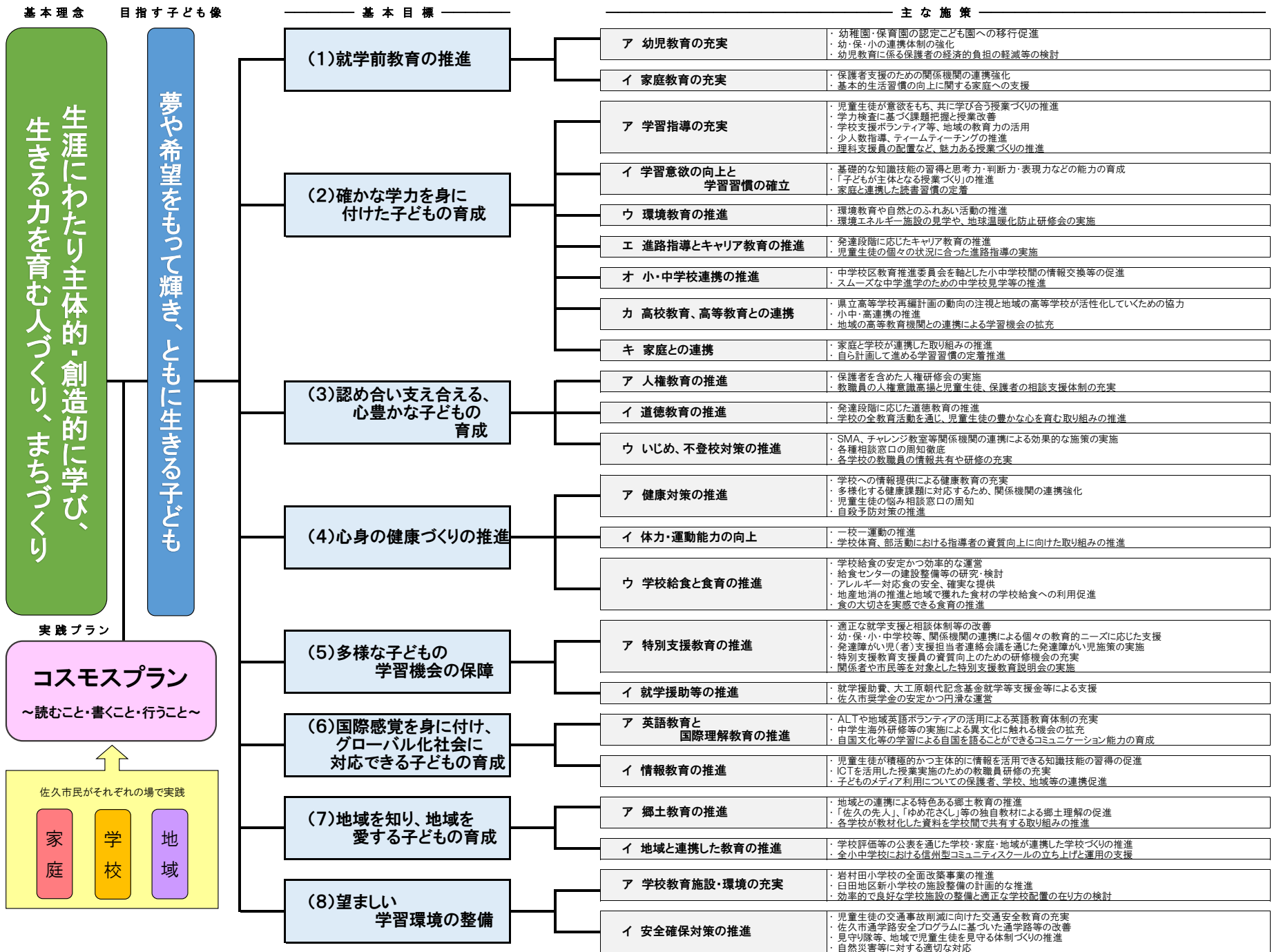
2 計画の進行管理

計画の推進のための関係機関等の連携や、PDCA サイクルの考え方を基本とした進行管理について記載しています。

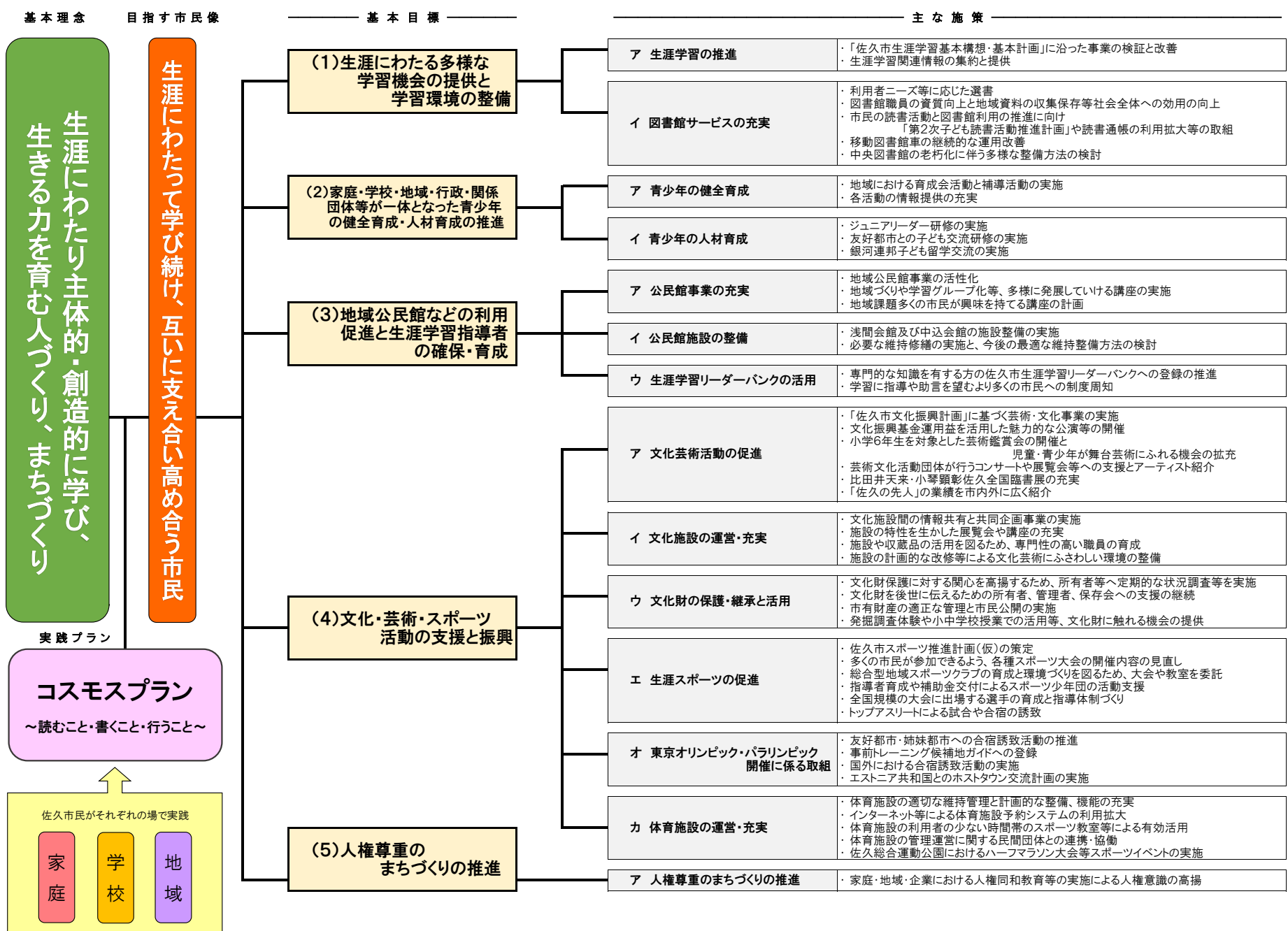
数値目標一覧

成果指標		実績値 (H26 又は 27)	目標値 (H33)
1	標準学力検査(教研式CRT検査)における平均正答率 ※学習到達度の目安 小学生 70% 中学生 65% ※「標準学力検査(教研式CRT)」(平成 27 年度市教委実施)	小 6 国語 69.2% 算数 63.5% 理科 76.2% 中 3 国語 65.4% 数学 56.7% 理科 67.0% 英語 59.9%	小学校 70%以上 中学校 65%以上 (全科目到達度の 目安以上)
2	自宅で自ら計画的に勉強している小学生の割合 ※全国学力・学習状況調査の児童質問紙における、家で「自分で計画を立てて勉強しているか」の問いに、「している」「どちらかといえばしている」と回答した児童(6年生対象)	67.5%	70%
3	新任・転入教職員人権同和研修会における対象者の参加率	87.2%	90%
4	小中学校における不登校児童生徒の出現率 ※「平成 26 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」(文科省実施)	1.07%	1%以下
5	2年連続で学校血液検査の結果が以下のいずれかに該当する児童生徒の割合 (健康相談事業対象の小学6年生及び中学生) ①LDL コレステロールが 130mg 以上 ②HbA1c5.9%以上 6.2%以下かつ、肥満度 30%以上 ※実績値の算出方法: 2年連続該当者数/2年目の①または②の該当者数×100	33.5% ※26、27 年連 続対象者	27%
6	全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果における、全国平均との比較 ※全国平均を 50 とした場合 ※比較項目は調査項目より 筋力…握力・上体起こし 敏捷性…50m 走・反復横跳び 柔軟性…長座体前屈 持久力…持久走・シャトルラン 筋パワー…立ち幅跳び・ボール投げ ※平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(文科省実施)	中 2 男子 筋力 50.9 敏捷性 49.2 柔軟性 50.7 持久力 48.9 筋パワー 51.6 中 2 女子 筋力 50.9 敏捷性 48.6 柔軟性 50.4 持久力 47.8 筋パワー 51.7	全項目 50 以上 (全項目で全 国平均以上)
7	学校給食を楽しみと思う児童生徒の割合 ※「平成 25 年度児童生徒の食に関する実態調査」(県教委実施、3 年に 1 回)	小学生 62.6% 中学生 43.4%	小学生 75% 中学生 65%
8	佐久市奨学金の貸与終了者で佐久市内に居住し、かつ、就業しており、免除対象となっている人数 (平成 29 年度以降の新規償還者)	(0 人)	50 人
9	中学生における英語検定3級程度等英語力を有していると思われる生徒の割合 ※「平成 27 年度公立中学校・中等教育学校(前期課程)における英語教育実施状況調査」(文科省実施)	29.9%	40%
10	保護者との約束を守って携帯電話やゲーム機を利用している中学生の割合(H27 年度実績) ※「電子メディア機器等に関するアンケート」(平成 27 年度市教委実施)	46.4%	80%
11	信州型コミュニティスクールを設置し、学校からの支援要望に基づく支援活動が行われている	8 校	24 校
12	校舎トイレの洋式化 ※現状で中学校はおおむね50%以上	洋式化率50% 以下の小学校 17 校中9校	洋式化率50% 以下の小学校 17 校中0校
13	市立図書館の入館者数	288,787 人	300,000 人
14	青少年育成活動件数	5,372 件	5,500 件
15	子ども交流等各種育成事業への参加延べ人数	2,182 人	2,300 人
16	公民館事業別延べ参加者数	27,557 人	30,000 人
17	文化振興基金運用益を活用して開催した自主事業の入場者数	5,860 人	7,000 人
18	貸館系施設の利用件数	11,100 件	13,000 件
19	観覧系施設の入館者数	35,467 人	40,000 人
20	スポーツ教室の延べ参加者数	4,714 人	5,300 人
21	体育施設延べ利用者数	740,511 人	750,000 人
22	人権同和教育研修会・学習会の参加者数	11,462 人	11,600 人

佐久市教育振興基本計画の体系図（学校教育）



佐久市教育振興基本計画の体系図（社会教育）



3 佐久市が目指す将来都市像（第二次佐久市総合計画）

「快適健康都市 佐久」

～ 希望をかなえ 選ばれるまちを目指して ～

4 佐久市学校教育の目指す方向

（1）佐久市学校教育の目指す子ども像

「夢や希望をもって輝き、ともに生きる子ども」

（2）基本目標

1 就学前教育の推進 ～幼保小の連携を！～

【願う子どもの姿（園から学校へ）】

- （ア）自身の実態に応じた自立ができる子ども
- （イ）「遊び」から「教科の学習」への移行が滑らかにできる子ども
- （ウ）学ぶ楽しさを感じられる子ども
- （エ）集団生活や協同的な活動に進んで参加できる子ども

【学校における取り組み】

- （ア）幼稚園、保育園の学校利用（行事利用等）の機会を積極的に取り入れる
- （イ）園児を生活科等の授業へ招待し、交流を図る
- （ウ）年長児の個々の実態に応じた個別小学校参観・体験を実施する
- （エ）年長児（来入児）の1日入学や保護者への小学校説明会を実施する
- （オ）来入児の夏期集中就学相談に学校職員が参加し、支援情報を収集する
- （カ）幼保小の連携を密にし、学校、職員相互の研修を実施したり、交流を図ったりする

【教育委員会としての施策】

- （ア）幼稚園、保育園の認定こども園への移行促進
- （イ）全市的な幼保小連携体制の強化
- （ウ）幼児教育に係る保護者の経済的負担の軽減等について検討
- （エ）保護者支援のための関係機関の連携を強化
- （オ）基本的生活習慣の向上に関する家庭への支援
- （カ）年長児の発達検査の実施、幼稚園・保育園を訪問しての幼児の実態把握
- （キ）夏期集中就学相談を中心とした就学相談の実施

2 確かな学力を身に付けた子どもの育成 ～学習力の高まる授業づくりを！～

【願う子どもの姿】

- (ア) 「なぜ」、「どうして」の問いを持てる子ども
- (イ) 必要な情報や既習の学びをもとに、自分なりの考えを持ち、課題を解決する楽しさを味わえる子ども
- (ウ) 自分の考えを整理・判断し、自分の方法で伝えたり発信したりできる子ども
- (エ) 自分の考えをもとに共に学び合い、高め合う楽しさを味わえる子ども
- (オ) 困難な課題に対して、様々な角度や方法でチャレンジしようとする子ども

【学校における取り組み】

- (ア) 児童生徒の「疑問」「問い」を大事にし、自分の問題として主体的に解決していく授業を実践する
- (イ) 学習指導要領の目標に基づき、各教科等における評価基準を明確にする
- (ウ) 互いに個性を認め、課題解決の仕方をはじめ多様な考えを尊重できる場づくりをする
- (エ) 一時間の授業の中に「読む力」「書く力」が位置付くように工夫する
- (オ) 児童生徒がグループ内や、学級内で考え合い、話し合う場面を重視する
- (カ) 児童生徒の課題解決までの過程を重視して認め励まし、学びの原動力とする
- (キ) 自分の家庭学習を計画する力を育む

【教育委員会としての施策】

- (ア) 教師の指導力向上に向けた、授業研究や校内研修などへの支援
- (イ) 小学校における教科担任制実施のための学力向上支援員の配置
- (ウ) 市内小4～中3の児童生徒を対象にしたC R T検査の実施と結果分析の活用
- (エ) 特別支援教育支援員の配置やまなびの教室（L D等通級指導教室）の充実による、障がいがある児童生徒への支援
- (オ) 指導主事及び学校運営支援員の配置による、授業改善や学校運営への支援

3 認め合い支え合える、心豊かな子どもの育成 ～人としての生き方を！～

【願う子どもの姿】

- (ア) かけがいのない自他の命を尊重する子ども
- (イ) 自尊感情や相手を尊ぶ感情を育み、互いに認め合い支え合おうとする子ども
- (ウ) 役割と責任を自覚して集団生活の向上に努める子ども
- (エ) 社会の一員としての自覚を持ち、平和な社会の実現に努める子ども

【学校における取り組み】

- (ア) よりよく生きたいとお互いの願いを共有できる機会をグループ活動や係活動、児童会・生徒会活動、学校行事等の中へ位置付ける
- (イ) 自他の命の大切さや共に生きることの大切さを学ぶ体験的活動を推進する
- (ウ) 認め励まし、自信を持って自ら高めていこうとする意欲や態度を育てる
- (エ) 集団活動の中で個に応じた役割を設定し、所属意識（自己有用感）を高める
- (オ) 一人一人が力を発揮でき、安心して生活できる支え合いのある学級集団を構築する
- (カ) 同和問題など様々な差別や、いじめ、暴力を我がことと考え、見逃さず立ち向かう強い心と態度を培う指導を家庭や地域と連携しながら推進する

【教育委員会としての施策】

- (ア) 質の高い文化・芸術に触れる機会の提供や、心を育てる読書活動への支援
- (イ) 教職員の使命感や人権感覚を磨く研修への支援
- (ウ) 参加体験型・疑似体験型の活動や多様な交流活動への支援
- (ウ) いじめや差別、暴力を許さない人権意識の高揚に向けた支援
- (エ) 道徳や人権教育などに関わる指導研究やカリキュラム作成
- (オ) いじめや虐待等に対応するための関係機関による連携強化（ネットワークづくり）

4 心身の健康づくりの推進 ～実態把握とその活用を！～

【願う子どもの姿】

- (ア) 読書活動にいそしみ、知恵や思索を源とした創造力豊かな子ども
- (イ) 電子メディアを通じた情報を適切に選択し、活用できる子ども
- (ウ) 健全で安全な食生活を実践できる子ども
- (エ) 規則正しい生活習慣を身につける子ども
- (オ) 健康な体づくりを心がけ、積極的に体を動かす機会を作っていく子ども
- (カ) 状況を適切に捉え、自他の命を守る判断と行動ができる子ども

【学校における取り組み】

- (ア) 読むことを大事にした教科学習や、家庭と協力した読書習慣づくりを推進する
- (イ) 家庭・地域と連携したメディアリテラシー教育、情報モラル教育を推進する
- (ウ) 学校給食を生きた教材として、栄養、食文化、地産等について考える学習を推進する
- (エ) 家庭と協力した日常生活の見直しと、生活リズムづくりを推進する
- (オ) 学校や、地域と連携した体育活動等を通して、体を動かす・体を鍛える活動を積極的に取り入れ、体力・運動能力の向上を図る

- (カ) 学級担任と養護教諭の協力体制や、PTA専門部等との連携による子どもの「健康」に対する意識を高める活動を展開する
- (キ) 震災等から学ぶ機会を作り、自らが適切に判断し、行動できる力を育成する

【教育委員会としての施策】

- (ア) 生まれた赤ちゃんに絵本をプレゼントする「ブックスタート事業」を行い、家庭教育、学校教育の読書活動に繋げる動機付けとする
- (イ) スクールメンタルアドバイザーや就学支援専門員の配置による相談支援体制の充実
- (ウ) チャレンジ教室（中間教室）の設置及び特別支援教育支援員の配置による、不登校や障がいのある子どもへの支援体制の充実
- (エ) 健康に配慮を要する子どもの把握及び食物アレルギー対応のための、栄養士の配置や施設の充実
- (オ) 地産地消の良さなどを学ぶ食育の推進及び健康生活への啓発活動の推進
- (カ) 保護者や地域住民と共に健康問題などに取り組む、実践活動への支援
- (キ) 各種の保健・健康検査や体力調査などのデータ分析及び考察資料の提供
- (ク) 部活動や課外活動を含めた、個性伸長を図る多様な教育活動への支援
- (ケ) 職業体験やボランティア活動推進のための、事業所や施設と連携した基盤作り

5 多様な子どもへの学習機会の保障 ～全ての子どもに適正な学習の機会を～

【願う子どもの姿・環境】

- (ア) 自分の良さを伸ばしていく子ども
- (イ) 学びの芽を伸ばしていく子ども
- (ウ) 自分の育ちや発達の喜びを感じる子ども
- (エ) 集団の一員として自覚がもてる子ども
- (オ) 自分の力を発揮できる環境にいられる子ども

【学校における取り組み】

- (ア) 校内就学支援委員会の充実を図る
- (イ) 小中の連携を密にし、スムーズな移行支援を行う
- (ウ) 必要に応じ、プレ支援シートを活用して、個別の指導計画、個別の教育支援計画を作成し、支援の充実を図る
- (エ) 家庭環境について関係機関と連携を図る中で把握し、就学援助、支援金事業等につなげる

【教育委員会としての施策】

- (ア) 適正な就学支援と相談体制の充実を図る
- (イ) 幼・保・小・中学校等、関係機関の連携による個々の教育的ニーズに応じた支援をする
- (ウ) 発達障がい児支援担当者会議を通じた発達障がい児施策を実施する
- (エ) 特別支援教育支援員の資質向上のための研修機会を充実させる
- (オ) 就学援助費、大工原朝代記念基金就学等支援金による支援を行う
- (カ) 佐久市奨学金の安定かつ円滑な運営を行う

6 国際感覚を身につけ、グローバル化社会に対応できる子どもの育成

～コミュニケーション活動の充実を！～

【願う子どもの姿】

- (ア) 我が国の文化について正しく理解する子ども
- (イ) 国や地域による、それぞれ独自の文化や宗教・価値観について理解する子ども
- (ウ) 世界における社会的な出来事に関心を寄せ、自分の考えを持てる子ども
- (エ) 関わる人に、かけがえのない尊さを持つ存在として接することができる子ども
- (オ) 環境や限りあるエネルギー等について自分が、そして自分たちができることを考えられる子ども

【学校における取り組み】

- (ア) 日本の伝統文化及び現代の社会情勢、社会的な出来事等について学ぶ機会を教科や特別活動、学校行事等において横断的に取り入れていく
- (イ) 諸外国の方との交流を取り入れた学習や、諸外国の文化を知ることができる体験的な学習を推進する
- (ウ) その時々、社会的な出来事を題材にした学習を積極的に取り入れる
- (エ) 国や地域が違っていても互いが尊重し合うべき存在であることが理解できる学習を取り入れる
- (オ) 小学校外国語活動と中学校英語学習のつながりを図る小中連携のとれた学習を推進する
- (カ) 環境やエネルギー、食糧などの現代的な課題追究を通してグローバルな見方を高める教科学習や総合的な学習を工夫する

【教育委員会としての施策】

- (ア) 外国語指導助手（ＡＬＴ）の配置及び地域英語ボランティアなどの人材活用への支援
- (イ) 外国語教育の研修や指導計画の作成、小中連携による指導研究への支援

- (ウ) パソコンや視聴覚機器など、実感的で具体的な理解を図るための教育設備の充実
- (エ) 市内在住の外国人や海外姉妹都市との交流体験活動への支援
- (オ) 中学生の海外(エストニア共和国及びモンゴル国)研修や、両国の子どもたちの受入れによる交流体験活動の推進
- (カ) 武道、和楽などを学ぶ環境や伝統芸能に触れる機会の充実

7 地域を知り、地域を愛する子どもの育成

～地域の「ひと・もの・こと」との触れ合いを！～

【願う子どもの姿】

- (ア) 地域の先人の生き方や、文化、伝統について進んで学ぼうとする子ども
- (イ) 地域の文化や伝統の良さに気づき、その保存と継承に関われる子ども
- (ウ) 地域の「ひと・もの・こと」と進んで関わり、共に生きようとする子ども
- (エ) 地域に、そしてわがまち佐久に、誇りをもてる子ども

【学校における取り組み】

- (ア) 先人に関する読み物学習や地域教材、資料等を活用した学習を推進する
- (イ) 地域の行事や遺産等を通して地域の方々と関わり、地域の一員としての意識や態度を育てる
- (ウ) 学習ボランティアや見守り隊等の学校を支える各種団体を束ねて信州型コミュニティスクールへと移行を図る
- (エ) 佐久市コミュニティスクール等を活用し、地域の良さや佐久の良さについて積極的に学び、共有する機会をつくる

【教育委員会としての施策】

- (ア) 佐久の自然や地理、歴史、文化など地域素材の発掘への支援
- (イ) 佐久市コミュニティスクールに関する先進的な取り組みの市内共有と移行推進
- (ウ) 先人に関する読み物「佐久の先人」や小学校副読本「ゆめ・花・さくし」の学習への活用の推進
- (エ) 「ゆめ・花・さくし」の改訂、「佐久 わがまち市民講座」の推進
- (オ) 「市内文化施設巡り」など、子どもに夢を育む事業の推進
- (カ) 青少年健全育成や安全・防犯活動など、地域と連携した諸活動への支援
- (キ) 教育委員会ホームページを通した各種イベント・地域行事などの案内や子どもたちの姿の紹介

8 望ましい学習環境の整備 ～明るく、充実した環境のもとで！～

【学校における取り組み】

- (ア) 職員により、校舎内外の管理分担場所の月1回程度の安全点検を行うとともに、日頃より環境に注意を払い、危険箇所等がある場合には児童生徒の安全確保を図る
- (イ) 危険箇所や破損箇所等があったら直ちに教育委員会と連携して改善などの対応をする
- (ウ) 子どもが学校生活を安全安心に送るために改善が必要な環境等がある場合は、教育委員会と連携して改善などの対応をする

【教育委員会としての施策】

＜佐久市内の学校教育施設の充実に向けて＞

- (ア) 市内小中学校の耐震化の促進
- (イ) 老朽化等による危険箇所の修繕、児童・生徒のための環境改善
- (ウ) 児童・生徒用トイレの洋式化の推進
- (エ) 公共施設マネジメントの観点も踏まえた長寿命化計画策定

＜各学校における環境の充実＞

- (ア) 岩村田小学校全面改築事業（平成26年度～平成31年度予定）
 - 普通特別教室棟：平成28年10月完成
 - 屋外プール：平成29年6月完成
 - 管理特別教室棟・屋内運動場：平成31年3月完成予定
 - グラウンド：平成32年3月完成予定
- (イ) 臼田地区新小学校建設事業（平成31年度以降は予定）
 - 平成30年度：基本設計
 - 平成31年度：実施設計・造成工事
 - 平成33年度～：建築工事
- (ウ) トイレ洋式化事業
 - 平成29年度：小学校3校実施
 - 平成30年度：小学校3校、中学校2校実施

(3) 平成30年度重点目標

重点目標① すべての子どもが意欲をもって学習に参加し、ともに学び合う授業づくり

【実践内容】

- (ア) 一人一人の考えが尊重され、それぞれの思考の道筋を生かす授業の展開
- (イ) 付ける力と手立てを明確化した確かな教材研究
- (ウ) 子どもの追究意識（意欲）に基づいた学習問題の設定
- (エ) 自分の考えを言葉や図、式などで表現する時間や場の確保
- (オ) 互いの考えや思い、感動などを、伝え合い高め合う学習の工夫
- (カ) 一時間の学習を見返し、自らの学びの自覚化を図る評価活動の設定
- (キ) 友だちとの関わり合いが作りやすい、学習形態の工夫
- (ク) 学びの足跡が見えるノートや作品、まとめへの配慮

重点目標② 小から中へと学びをつなげていく教育の推進

【実践内容】

- (ア) 教科の特性を踏まえた、9年間の系統性ある指導内容の研究
- (イ) 発達段階に応じた「学習力」の向上を図る指導の研究と実践
- (ウ) 中学校区単位での小・中間の情報交換や授業研究・相互研修の推進
- (エ) 小から中、中から小への参加型体験学習や職員間の交流
- (オ) 小中の系統性を持った家庭学習のあり方、子どもが自分なりの家庭学習計画を立てられるといった学習の習慣化に関わる指導の共有化
- (カ) 保護者や地域住民の教育活動への参加など、開かれた学校づくりの工夫（佐久市コミュニティスクールの充実）

5 佐久市社会教育の目指す方向

(1) 佐久市社会教育の目指す市民像

「生涯にわたって学び続け、互いに支え合い高め合う市民」

(2) 基本目標

- ア 生涯にわたる多様な学習機会の提供と学習環境の整備を図る。
- イ 家庭・地域・学校・行政・関係団体が一体となって青少年の健全育成の推進を図る。
- ウ 地域公民館などの利用促進と生涯学習指導者の確保と育成を図る。
- エ 文化・芸術・スポーツ活動の支援と振興を図る。
- オ 人権尊重社会の推進を図る。

(3) 基本計画

ア 生涯学習活動の支援

- (ア) 関係機関との連携を図り、市民の多様なニーズに対応した学習プログラムや講座の開設など、市民の学習機会の拡充に努める。
- (イ) 市民の学習意欲の向上を図るため、生涯学習情報の提供と学習相談を充実させるとともに、指導者の養成と自主的学習グループの育成を図る。
- (ウ) 市民の生涯学習活動の拠点となる施設の充実と利用促進を図る。
- (エ) 多様化する市民の要求に応じた図書資料の収集、移動図書館車の巡回地域拡充などによる図書館サービスの充実に努め、合わせて市立図書館ネットワークシステムの有効活用や県立図書館を中心とした県内公立図書館の横断検索システムの活用などにより市民サービスの向上を図る。

イ 青少年の健全育成・人材育成

- (ア) 市民の理解と協力のもと、家庭・地域・学校・行政・関係団体が一体となった青少年健全育成のための活動や施策を推進する。
- (イ) 青少年の地域社会活動への参加を促進するとともに、各種研修事業を充実させ、青少年活動の指導者養成を推進する。

ウ 文化・芸術活動の支援

- (ア) 平成 24 年度に策定した文化振興計画に基づく文化振興施策の実施により、地域の文化・芸術活動の推進を図る。
- (イ) 文化・芸術関連諸施設間の連携を図るとともに、各施設の特色を活かした企画展、特別展、公募展を充実させ、施設利用者の増加に努める。

(ウ) 地元作家の育成や発掘、文化・芸術活動への支援を進める。

(エ) 伝統文化に対する市民の意識高揚を図るとともに、貴重な文化財や歴史・民俗資料の保護・保存と有効活用を推進し、広く一般に公開するための環境整備に努める。

エ 生涯スポーツ活動の支援

(ア) すべての市民がそれぞれの体力や年齢に応じ、生涯を通じてスポーツに親しめる環境整備に努め、生涯スポーツの実践がされることにより、市民の健康増進を図る。

(イ) 優れたスポーツ指導者の養成・確保及び、各種スポーツ団体の育成を図り、スポーツの幅広い普及を促進する。

(ウ) スポーツ施設の整備・充実を図る。

オ 人権尊重社会の推進

(ア) 差別や偏見のない明るい社会を実現するため、市民一人ひとりの人権意識の高揚を図る。

(イ) 人権教育の指導者を育成するため、各種研修会に参加し、地域ぐるみの人権教育を推進する。

IV 教育行財政

1 教育行政の歩み

平成17年

- 4月1日 佐久市：佐久市、南佐久郡臼田町、北佐久郡浅科村、望月町の4市町村の合併
小学校(19) 岩村田、平根、中佐都、高瀬、野沢、泉、岸野、中込、
佐久城山、東、田口、青沼、切原、臼田、浅科、本牧、
布施、春日、協和
中学校(7) 浅間、野沢、中込、東、臼田、浅科、望月
教育委員会事務局の機構を次のとおりとする。
教育長、教育次長、教育総務課、学校教育課、生涯学習課、体育課、文化財課、臼田教育振興課、浅科教育振興課、望月教育振興課、学校給食南部センター、学校給食北部センター、学校給食臼田センター、学校給食浅科センター、学校給食望月センター、公民館、中央図書館、近代美術館、天体観測施設、臼田文化センター、交流文化館浅科、五郎兵衛記念館、天来記念館、駒の里ふれあいセンター、望月歴史民俗資料館
- 4月5日 佐久市中学校入学式
4月6日 佐久市小学校入学式
8月29日 望月小学校起工式
9月16日 野沢中学校普通教室棟工事竣工
11月12日 県図書館大会（佐久創造館・東中学校）

平成18年

- 3月15日 青色回転灯パトロール車出発式
3月17日 佐久市中学校卒業式
3月22日 佐久市小学校卒業式
3月29日 図書館コンピューターネットワークシステムの稼動
4月1日 教育委員会事務局の機構を次のとおりとする。
教育長、学校教育部（学校教育部長、学校教育課、教育施設建築室、学校給食南部センター、学校給食北部センター、学校給食臼田センター、学校給食浅科センター、学校給食望月センター）、社会教育部（社会教育部長、生涯学習課、文化施設管理室、体育課、文化財課、公民館、中央図書館、近代美術館、生涯学習センター、中込学習センター、天体観測施設、鎌倉彫記念館、天来記念館、コスモホール、臼田文化センター、交流文化館浅科、望月歴史民俗資料館、五郎兵衛記念館）
- 4月5日 佐久市中学校入学式
4月6日 佐久市小学校入学式
4月26日 4小学校統合の望月小学校の校章が決まる
5月2日 小学校英語コミュニケーション事業始まる
7月14日 鎌倉彫記念館リニューアル
7月31日 野沢中学校屋内運動場工事竣工
10月1日 佐久市有害図書類等の規制に関する条例施行
10月31日 望月小学校管理・教室棟工事竣工
11月1日 小学校に英語指導助手を配置
11月20日 龍岡城排水口石垣修理工事着手

平成19年

- 3月16日 佐久市中学校卒業式
- 3月20日 佐久市小学校卒業式
- 4月1日 教育委員会事務局の機構を次のとおりとする。
教育長、学校教育部（学校教育部長、学校教育課、教育施設建築室、学校給食南部センター、学校給食北部センター、学校給食臼田センター、学校給食浅科センター、学校給食望月センター）、社会教育部（社会教育部長、社会教育部次長、生涯学習課、文化施設課、体育課、文化財課、公民館、中央図書館、近代美術館、生涯学習センター、中込学習センター、天体観測施設、鎌倉彫記念館、天来記念館、コスモホール、臼田文化センター、交流文化館浅科、望月歴史民俗資料館、五郎兵衛記念館
- 4月4日 佐久市中学校入学式
- 4月5日 佐久市小学校入学式
- 5月1日 エストニア共和国サク市と友好都市調印（2007年）
- 5月11日 野沢中学校竣工式
- 5月22日 望月小学校特別教室・屋内運動場等建設工事着手
- 6月1日 浅間中学校起工式
- 9月28日 浅科中学校創立50年記念式典
- 10月7日 龍岡城五稜郭築城140周年記念式典開催

平成20年

- 3月18日 佐久市小学校卒業式
- 3月19日 佐久市中学校卒業式
- 3月24日 龍岡城排水口石垣修理工事竣工
- 3月26日 望月小学校屋外プール工事竣工
- 3月31日 本牧・布施・協和・春日小学校閉校
- 4月1日 望月小学校開校
教育委員会事務局の機構を次のとおりとする。
教育長、学校教育部（学校教育部長、学校教育課、教育施設課、学校給食課）、社会教育部（社会教育部長、社会教育部次長、生涯学習課、文化施設課、総合文化会館整備推進室、体育課、文化財課、公民館、中央図書館、近代美術館、生涯学習センター、中込学習センター、天体観測施設、鎌倉彫記念館、天来記念館、コスモホール、臼田文化センター、交流文化館浅科、望月歴史民俗資料館、五郎兵衛記念館）
- 4月3・4日 佐久市小・中学校入学式
- 4月6日 サングリモ中込図書館オープン
- 4月11日 望月小学校開校式、入学式
- 7月24日 浅間中学校管理特別教室棟改築工事竣工
- 8月4日 モンゴル国ウランバートル市スフバートル区と友好都市調印（2008年）
- 8月19日 望月小学校特別教室・屋内運動場等工事竣工
- 9月26日 望月小学校竣工式
- 11月1日 望月小学校校歌発表会
- 11月27日 中部横断自動車道（仮称）臼田トンネル内で古型マンモスの化石発見
- 12月1日 佐久市中込学習センター廃止
- 12月10日 川村吾蔵記念館起工式

平成21年

- 3月17日 小学校卒業式（17日 13校、19日 1校、20日 1校、23日 1校）
- 3月18日 中学校卒業式
- 4月1日 教育委員会事務局の機構を次のとおりとする。
教育長、学校教育部（学校教育部長、学校教育課、教育施設課、学校給食課）、社会教育部（社会教育部長、社会教育部次長、生涯学習課、文化施設課、総合文化会館整備推進室、体育課、文化財課、公民館、中央図書館、近代美術館、生涯学習センター、中込学習センター、天体観測施設、鎌倉彫記念館、天来記念館、コスモホール、臼田文化センター、交流文化館浅科、望月歴史民俗資料館、五郎兵衛記念館）
- 4月3日 小中学校入学式（13小学校、6中学校）
- 4月6日 小中学校入学式（3小学校、1中学校）
- 6月1日 教育委員会事務局の機構を次のとおりとする。
教育長、学校教育部（学校教育部長、学校教育課、教育施設課、学校給食課）、社会教育部（社会教育部長、生涯学習課、文化施設課、総合文化会館整備推進室、体育課、文化財課、公民館、中央図書館、近代美術館、生涯学習センター、中込学習センター、天体観測施設、鎌倉彫記念館、天来記念館、コスモホール、臼田文化センター、交流文化館浅科、望月歴史民俗資料館、五郎兵衛記念館）
- 7月2日 臼田中学校・泉小学校起工式
- 7月30日 川村吾蔵記念館建設工事竣工
- 9月8日 龍岡城跡黒門西側石垣修理工事着手

平成22年

- 3月17日 小学校卒業式（17日 11校、18日 1校）
- 3月18日 中学校卒業式（17日 1校、18日 6校）
- 3月30日 川村吾蔵記念館開館
- 4月1日 教育委員会事務局の機構を次のとおりとする。
教育長、学校教育部（学校教育部長、学校教育課、教育施設課、学校給食課）、社会教育部（社会教育部長、生涯学習課、文化振興課、総合文化会館整備推進室、体育課、文化財課、公民館、中央図書館、近代美術館、生涯学習センター、天体観測施設、鎌倉彫記念館、天来記念館、コスモホール、臼田文化センター、交流文化館浅科、望月歴史民俗資料館、五郎兵衛記念館、川村吾蔵記念館）
- 4月5日 小中学校入学式（12小学校、7中学校）
- 4月6日 小学校入学式（4校）
- 7月16日 臼田中学校管理特別教室棟工事竣工
- 9月2日 浅間中学校屋内運動場工事竣工
- 11月14日 佐久市総合文化会館建設の賛否を問う住民投票の結果、建設中止が決定

平成23年

- 3月16日 小学校卒業式（16日 1校、19日 15校）
中学校卒業式（16日 1校、17日 6校）
- 3月22日 浅間中学校竣工式
- 4月1日 教育委員会事務局の機構を次のとおりとする。
教育長、学校教育部（学校教育部長、学校教育課、教育施設課、学校給食課）、社会教育部（社会教育部長、社会教育部次長、生涯学習課、文化振興課、体育課、文化財課、公民館、中央図書館、近代美術館、生涯学習センター、天体観測施設、鎌倉彫記念館、天来記念館、コスモホール、臼田文化センター、交流文化館浅科、望月歴史民俗資料館、五郎兵衛記念館、川村吾蔵記念館）
- 4月5日 小中学校入学式（11小学校、7中学校）

- 4 月 6 日 小学校入学式（5校）
- 5 月 7 日 浅間中学校創立50年記念式典
- 6 月 14 日 浅科小学校創立30年記念式典
- 7 月 28 日 臼田中学校普通教室棟工事竣工
- 8 月 31 日 泉小学校校舎棟工事竣工

平成24年

- 3 月 16 日 中学校卒業式
- 3 月 17 日 小学校卒業式
- 4 月 1 日 教育委員会事務局の機構を次のとおりとする。
教育長、学校教育部（学校教育部長、学校教育課、教育施設課、学校給食課）
社会教育部（社会教育部長、生涯学習課、文化振興課、体育課、文化財課、公民館、中央図書館、近代美術館、生涯学習センター、少年センター、天体観測施設、鎌倉彫記念館、天来記念館、コスモホール、臼田文化センター、交流文化館浅科、望月歴史民俗資料館、五郎兵衛記念館、川村吾蔵記念館）
- 4 月 4 日 中学校入学式（3中学校）
- 4 月 5 日 小中学校入学式（16小学校、4中学校）
- 7 月 27 日 臼田中学校屋内運動場工事竣工
- 8 月 24 日 泉小学校屋内運動場工事竣工
- 11月19日 望月ふれあい図書館閉館
- 11月23日 臼田中学校創立50周年記念式典
- 12月25日 佐久市立新小学校名案を「佐久平浅間小学校」に決定

平成25年

- 3 月 10 日 望月図書館 望月支所2階へ移転・開館
- 3 月 16 日 小学校卒業式（11小学校）
- 3 月 18 日 小学校卒業式（5小学校）
- 3 月 19 日 中学校卒業式（7中学校）
- 3 月 21 日 泉小学校竣工式
- 3 月 28 日 臼田中学校竣工式
- 4 月 1 日 佐久総合運動公園陸上競技場オープン
- 4 月 4 日 小中学校入学式（15小学校、7中学校）
- 4 月 5 日 小学校入学式（1小学校）
- 7 月 19 日 （仮称）佐久平浅間小学校起工式
- 7 月 31 日 望月中学校管理普通教室棟工事竣工
- 10月29日 （仮称）佐久平浅間小学校の通学区が決定
- 12月24日 （仮称）佐久平浅間小学校の校章が決定

平成26年

- 3 月 18 日 小中学校卒業式（11小学校、3中学校）
- 3 月 19 日 小中学校卒業式（5小学校、4中学校）
- 4 月 1 日 主幹指導主事が学校教育課に配置
- 4 月 3 日 中学校入学式（1中学校）
- 4 月 4 日 小中学校入学式（15小学校、6中学校）
- 4 月 5 日 小学校入学式（1小学校）
- 4 月 26 日 浅科・望月学校給食応援団が設団
- 5 月 14 日 第1回臼田地区小学校施設整備検討委員会を開催
- 7 月 8 日 市民創練センター（仮称）起工式

- 7月12日 市立図書館読書通帳事業開始
- 7月26日 望月図書館 望月の光と風と緑 読書に心地よい椅子コンテスト開催(～9月28日)
- 10月6日 岸野小学校屋内運動場改築工事起工式
- 11月17日 望月中学校特別教室棟竣工

平成27年

- 1月15日 第5回臼田地区小学校施設整備検討委員会で臼田地区4小学校を1校に統合する方針が出される
- 1月21日 検討委員会の方針を尊重し教育委員会で臼田地区4小学校を1校に統合することを決定
- 3月14日 岩村田小学校分離式
- 3月18日 小中学校卒業式(11小学校、3中学校)
- 3月19日 小中学校卒業式(5小学校、4中学校)
- 4月1日 教育委員会事務局の機構を次のとおりとする。
教育長、学校教育部(学校教育部長、学校教育課、教育施設課、学校給食課)
社会教育部(社会教育部長、生涯学習課、文化振興課、体育課、公民館、中央図書館、近代美術館、生涯学習センター、少年センター、天体観測施設、鎌倉彫記念館、天来記念館、コスモホール、臼田文化センター、交流文化館浅科、望月歴史民俗資料館、五郎兵衛記念館、川村吾蔵記念館)
- 4月1日 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が施行
国で新教育委員会制度がスタート
- 4月3日 中学校入学式(1中学校)
- 4月4日 小中学校入学式(15小学校、6中学校)
- 4月5日 小学校入学式(1小学校)
- 4月9日 佐久平浅間小学校開校式・入学式
- 4月28日 第1回総合教育会議
- 5月18日 新教育委員会制度に移行
- 6月26日 学校給食臼田応援団設団
- 6月30日 大工原朝代記念基金 入学祝金支給
- 7月16日 岩村田小学校改築工事起工式
- 7月23日 佐久平浅間小学校竣工式
- 7月25日 旧中込学校防災修理工事竣工式
- 8月2日 市民創練センター竣工式
- 11月26日 第2回総合教育会議

平成28年

- 1月27日 岸野小学校屋内運動場竣工式
- 1月31日 Saku Kids メディア Safety設立
- 2月3日 大工原朝代記念基金 中込小学校「大工原朝代文庫」設置
- 3月1日 第16回臼田地区小学校施設整備検討委員会で新小学校の建設候補地を「コスモホールの西側」とする方針が出される
臼田地区新小学校の建設場所について検討継続の署名1,687名分が提出される
- 3月7日 臼田地区小学校施設整備検討委員会の高橋会長から新小学校の建設候補地の選定について報告を受ける
- 3月9日 第3回総合教育会議
佐久市教育大綱策定
- 3月16日 臼田地区新小学校の建設場所について検討継続の署名2,435名(最終)になる
小中学校卒業式(4小学校、2中学校)
- 3月17日 小中学校卒業式(7小学校、5中学校)
- 3月19日 小中学校卒業式(6小学校)
- 3月22日 教育委員会臨時会で臼田地区新小学校の建設場所について協議
- 3月23日 検討委員会の方針を尊重し教育委員会で臼田地区新小学校の建設場所を「コスモホールの西側」に決定

- 4月1日 市費理科支援員4名を4小学校に配置
- 4月5日 小中学校入学式（6小学校、4中学校）
- 4月6日 小中学校入学式（11小学校、3中学校）
- 6月28日 佐久市教育振興基本計画（H28～H33）策定
- 6月29日 臼田地区4小学校各学区で新小学校への通学路検討部会を設立
- 7月9日 浅間会館改築工事起工式
- 7月14日 学校給食佐久応援団が設団
- 8月5日 第1回キッズ・サーキット in SAKU開催
- 9月10日 泉小学校50周年記念式典
- 9月22日 臼田地区新小学校づくりワークショップが開催（2月まで全6回）
- 10月16日 第1回Saku 子ども メディアサミット開催
- 11月10日 岩村田小学校普通特別教室棟竣工
- 11月26日 望月中学校50周年記念式典

平成29年

- 1月27日 望月中学校竣工
- 2月17日 臼田地区新小学校づくりワークショップから臼田地区新小学校建設基本計画に向けた提言が提出される
- 3月15日 中学校卒業式（1校）
- 3月16日 中学校卒業式（6校）
- 3月18日 小学校卒業式（17校）
- 4月2日 中込会館開所式
- 4月5日 小中学校入学式（3小学校、2中学校）
- 4月6日 小中学校入学式（14小学校、5中学校）
- 4月22日 第50回記念佐久市強歩大会開催（～4月23日）
- 6月5日 文化財事務所が中込に移転開所
- 7月8日 特別企画展「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダンアートの楽しみ方」展開催
- 7月11日 臼田地区新小学校建設地域協議会設立（2月まで全5回）
- 7月20日 武論尊氏より給付型奨学金制度創設のための総額4億円の寄附目録贈呈
武論尊100時間漫画塾開催のための協定締結
- 7月26日 岩村田小学校屋外プール竣工（プール部分6月26日竣工、6月27日引渡し式）
- 7月29日 佐久市ふるさと創生人材育成事業中学生海外研修エストニア共和国（～8月5日）
- 7月31日 佐久市ふるさと創生人材育成事業中学生海外研修モンゴル国（～8月7日）
- 8月10日 第1回総合教育会議
- 8月11日 文化財事務所考古遺物展示室オープン
- 8月27日 宝くじスポーツフェア はつらつママさんバレーボールin佐久開催
- 9月2日 浅間会館開館
- 9月26日 あすチャレ！スクールを田口小学校、岸野小学校、望月中学校、望月高等学校で開催
- 11月18日 龍岡城築城150周年記念事業開催
- 11月19日 佐久市青少年健全育成市民集会開催（武論尊氏講演）
- 11月23日 オリンピアンや世界大会で活躍するトップアスリートと交流しよう【陸上編】開催
- 12月14日 第2回総合教育会議

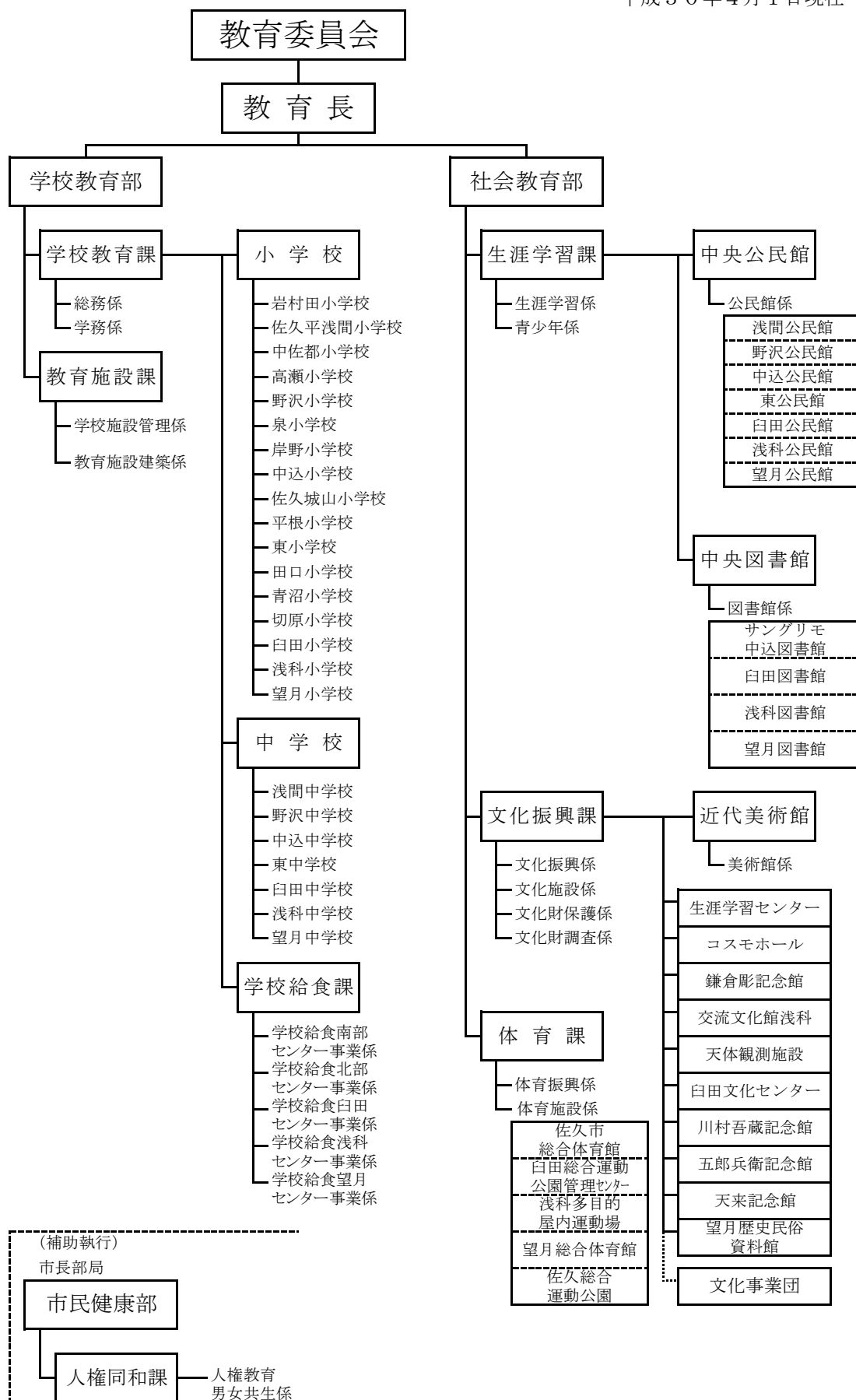
平成30年

- 1月26日 第3回総合教育会議
- 2月21日 臼田地区新小学校建設基本計画を策定
- 3月2日 第4回総合教育会議
- 3月15日 中学校卒業式（7校）
- 3月17日 小学校卒業式（13校）

- 3月20日 小学校卒業式（4校）
- 4月4日 新移動図書館「草笛号」運行開始
- 4月4日 中学校入学式（1中学校）
- 4月5日 小中学校入学式（17小学校、6中学校）
- 4月14日 給付型奨学金「SAKUコスモス育英基金奨学金」第1期生へ給付決定
- 4月15日 「武論尊100時間漫画塾」開塾
- 6月24日 特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会開催
- 7月13日 特別企画展「一葉師寺と平山郁夫の縁一玄奘三蔵と仏教伝来」開催
- 7月14日 パラスポーツ体験フェスティバル開催
- 7月17日 第1回総合教育会議
- 7月30日 佐久市ふるさと創生人材育成事業中学生海外研修エストニア共和国（～8月6日）
- 佐久市ふるさと創生人材育成事業中学生海外研修モンゴル国（～8月6日）
- 8月8日 2018信州総文祭文芸部門開会式
- 8月13日 夏休み期間に学校閉庁日を設定（～8月16日）
- 8月18日 S O M P O ボールゲームフェスタin佐久開催
- 8月29日 第2回総合教育会議
- 9月8日 オリンピアンや世界大会で活躍するトップアスリートと交流しよう【スケート編】開催
- 9月16日 小学校運動会開催日の分散化（6月2日 1小学校、9月16日 8小学校、9月18日 1小学校、9月23日 3小学校、10月2日 4小学校）
- 10月6日 読書通帳表彰式

2 平成30年度教育委員会機構図

平成30年4月1日現在



3 平成30年度佐久市教育委員会事務局等職員数

(平成30年4月1日現在) 単位:人

区 分		正規職員				再任用 職員	非常勤 特別職	嘱託・ 臨時等	計
		事務職員	給食職員	庁務職員	技術職員				
教 育 長		1							1
学 校 教 育 部	事 務 局	学校教育部長	1						1
		学校教育課	11				5	15	31
		教育施設課	2		8				10
		学校給食課	2						2
	教 育 機 関	学校給食南部センター	1	4		1		15	21
		学校給食北部センター	1	5				18	24
		学校給食臼田センター	1	3				7	11
		学校給食浅科センター		1		1		6	8
		学校給食望月センター	1	2				8	11
		小 学 校			2	3		100	105
		中 学 校	1		2			30	33
		計	21	15	4	8	5	199	257
社 会 教 育 部	事 務 局	社会教育部長	1						1
		生涯学習課	7				6	1	14
		文化振興課	7						7
		(文化財事務所)	9						9
		体 育 課	7					1	8
	教 育 機 関	公 民 館	11			2	7	2	22
		中央図書館	11				1	7	19
		近代美術館	4				1	3	8
		生涯学習センター	※指定管理 ※指定管理 (正規職員派遣3人) ※指定管理 ※指定管理						
		コスモホール							
		鎌倉彫記念館							
		交流文化館浅科							
		天体観測施設	2						2
		臼田文化センター						2	2
		川村吾蔵記念館					1	2	3
		五郎兵衛記念館					1	2	3
		天来記念館	1			1		2	4
		望月歴史民俗資料館	1				1	2	4
		計	61	0	0	0	3	18	106
補助執行	市民健康部 人権同和課	3					1		4
合 計		86	15	4	8	8	24	223	368

- (注) 1 少年センターについては、社会教育部長が所長を、生涯学習課長が次長を、生涯学習課職員が係員を兼務
- 2 文化振興課長が臼田文化センター館長を兼任 (他の館長は非常勤特別職に含む)
- 3 天来記念館職員1名が望月歴史民俗資料館職員を兼務、臨時職員2名についても兼務
- 4 文化振興課付で3名の職員が(財)佐久市文化事業団に派遣(外数)

4 教育委員会及びその附属機関等

(1) 関係各種委員会等

(平成30年4月1現在)

審議会・協議会等の名称	根拠（法令・条例・要綱等）	委員数 （組織）	任期
佐久市教育委員会	地方教育行政の組織及び運営に関する法律	委員4人	4年
佐久市就学支援委員会	佐久市就学支援委員会条例	委員15人以内	2年
佐久市不登校等対策連絡協議会	佐久市不登校等対策連絡協議会設置要綱	委員10人以内	2年
佐久市奨学資金選考委員会	佐久市奨学基金に関する条例 佐久市奨学資金の管理及び運営に関する規則	委員5人以内	2年
学校評議員	佐久市立小・中学校学校評議員規則	1校6人以内	2年
佐久市新小学校建設地域協議会	佐久市新小学校建設地域協議会設置要綱	委員15人以内	2年
給食センター運営委員会	佐久市学校給食センター条例施行規則	校長、PTA会長、学校医、薬剤師等	1年
佐久市社会教育委員会 議	社会教育法第15条 佐久市社会教育委員条例 佐久市社会教育委員会議運営規則	委員の定数10人	2年
佐久市生涯学習懇話会	佐久市生涯学習懇話会要綱	委員15人以内	2年
佐久市生涯学習推進本部	佐久市生涯学習推進本部規程	部課長級職員	-
佐久市青少年健全育成 審議会	佐久市有害図書類等の規制に関する条例 佐久市有害図書類等の規制に関する条例 施行規則	委員20人以内	2年
佐久市少年センター運 営協議会	佐久市少年センター条例 佐久市少年センター条例施行規則	委員25人以内	2年
佐久市臼田文化セン ター運営委員会	佐久市臼田文化センター条例施行規則	委員10人以内	2年
佐久市天体観測施設運 営委員会	佐久市天体観測施設条例 佐久市天体観測施設条例施行規則	委員10人以内	2年
佐久市五郎兵衛記念館 運営委員会	佐久市五郎兵衛記念館条例 佐久市五郎兵衛記念館条例施行規則	委員10人以内	2年
佐久市立天来記念館協 議会	博物館法第20条 佐久市立天来記念館条例 佐久市立天来記念館条例施行規則	委員10人以内	2年
佐久市立望月歴史民俗 資料館協議会	佐久市立望月歴史民俗資料館条例 佐久市立望月歴史民俗資料館条例施行規則	委員10人以内	2年
佐久市川村吾蔵記念館 協議会	佐久市川村吾蔵記念館条例 佐久市川村吾蔵記念館条例施行規則	委員10人以内	2年

佐久市佐久の先人検討委員会	佐久市佐久の先人検討委員会設置要綱	委員10人以内	任務終了まで
佐久市文化振興推進企画委員会	佐久市文化振興推進企画委員会設置要綱	委員10人以内	2年
佐久市スポーツ推進審議会	スポーツ基本法第31条 佐久市スポーツ推進審議会条例	委員10人以内	2年
佐久市スポーツ推進委員会	スポーツ基本法第32条 佐久市スポーツ推進委員規則 佐久市スポーツ推進委員選考基準に関する要綱	委員30人以内	2年
佐久市文化財保護審議会	文化財保護法第190条 佐久市文化財保護条例	委員10人以内	2年
資料館協議会	佐久市重要文化財旧中込学校及び資料館条例	委員10人以内	2年
佐久市国史跡龍岡城跡保存整備委員会	佐久市国史跡龍岡城跡保存整備委員会設置要綱	委員12人以内	2年
佐久市国史跡龍岡城跡保存管理計画策定委員会	佐久市国史跡龍岡城跡保存管理計画策定委員会設置要綱	委員12人以内	2年
佐久市公民館運営審議会	社会教育法第29条 佐久市公民館条例 佐久市公民館運営審議会規則	委員20人以内	2年
佐久市立図書館協議会	図書館法第14条 佐久市立図書館条例 佐久市立図書館条例施行規則	委員10人以内	2年
佐久市子ども読書活動推進懇話会	佐久市子ども読書活動推進懇話会設置要綱	委員15人以内	2年
佐久市立近代美術館協議会	博物館法第20条 佐久市立近代美術館条例 佐久市立近代美術館条例施行規則	委員10人以内	2年
佐久市人権同和教育推進協議会	佐久市人権同和教育推進協議会要綱	委員20人以内	2年
佐久市解放子ども会運営委員会	佐久市解放子ども会運営委員会要綱	委員20人以内	1年

(2) 関係専門員等の配置状況

名 称	根拠（法令・条例・要綱等）	配置人員	任期
佐久市就学支援専門員	佐久市就学支援委員会条例	5人	1年
スクールメンタルアドバイザー	佐久市スクールメンタルアドバイザー設置要領	6人	1年
佐久市社会教育指導員	佐久市社会教育指導員規則 佐久市社会教育指導員服務規程	3人 (生涯学習課2人、 人権同和課1人)	1年
佐久市少年センター専門補導委員	佐久市少年センター条例 佐久市少年センター条例施行規則	3人	2年
佐久市少年センター補導委員	佐久市少年センター条例 佐久市少年センター条例施行規則	地区選出80人 学校選出33人	2年
佐久市少年センター育成推進員	佐久市少年センター条例 佐久市少年センター条例施行規則	各地区から 選出247人	2年
佐久市人権同和教育推進員	佐久市人権同和教育推進員規則	20人	2年

5 平成30年度教育委員会事務局等の事務分掌

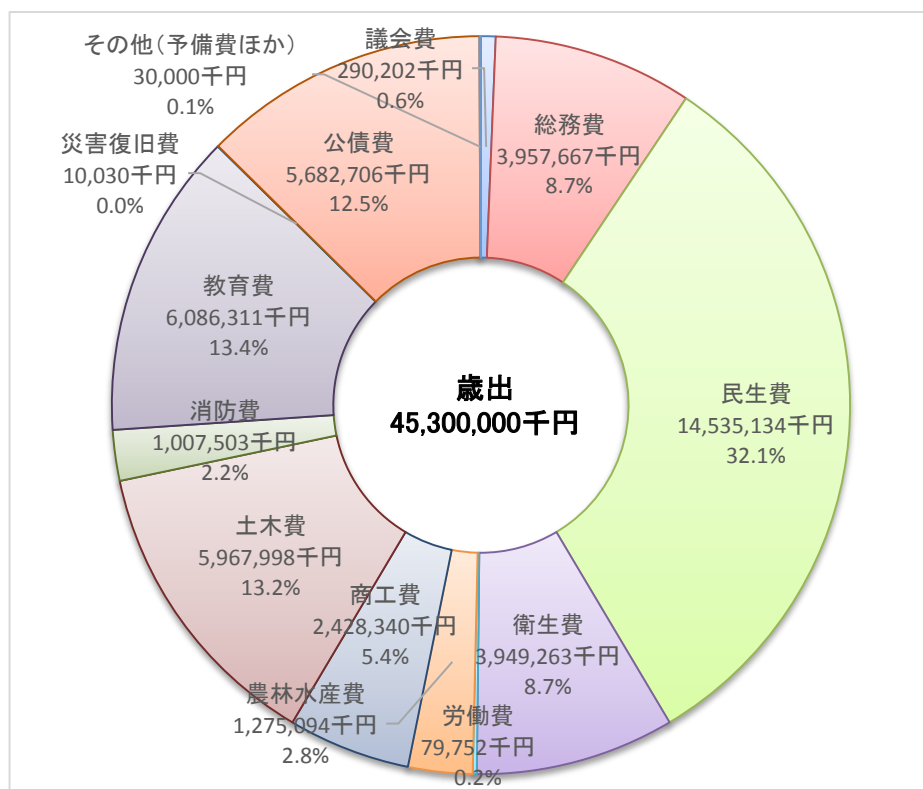
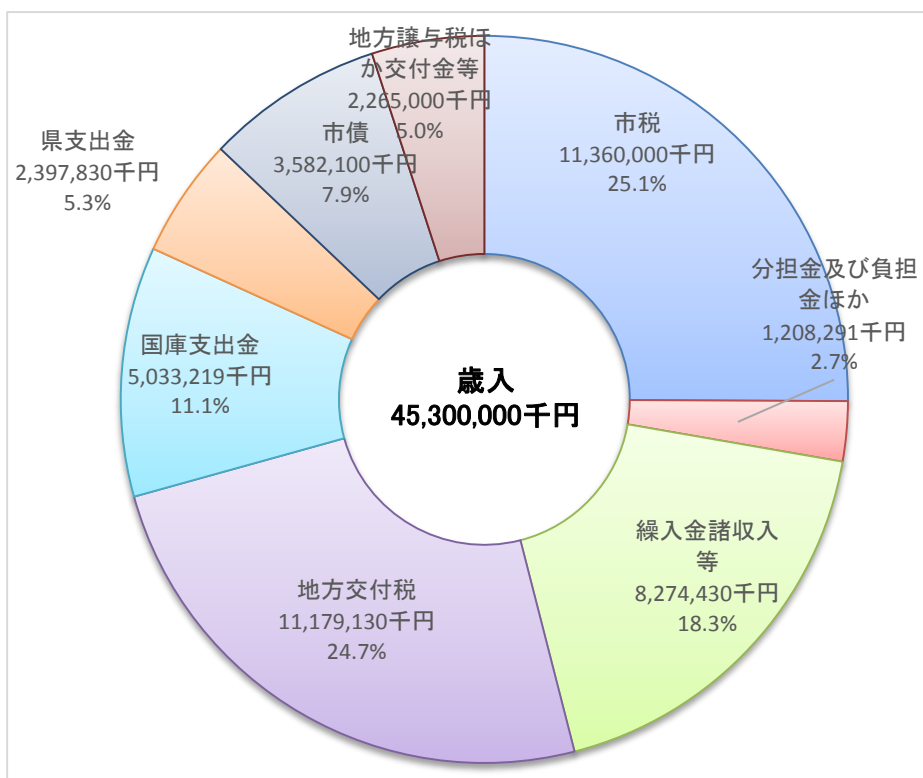
課 名 等		事 務 分 掌
学校教育課 (62-3478)	総務係	(1)部の庶務及び調整に関する事。 (2)教育施策の企画立案に関する事。 (3)学校施設の設置及び廃止に関する事。 (4)部の建設工事請負人等選定委員会に関する事。 (5)事務局及び教育機関の連絡調整に関する事。 (6)教育長の日程調整に関する事。 (7)公印の管守に関する事。 (8)教育委員会の会議に関する事。 (9)県教育委員会及びその他関係機関、団体事務局等との連絡調整に関する事。 (10)教育委員会規則等の制定又は改廃に関する事。 (11)教育委員会に係る事務の管理及び施行の状況の点検及び評価並びにその公表に関する事。 (12)事務局及び教育機関に置かれる職員（県費負担教職員を除く。）の研修及び福利厚生に関する事。 (13)教育に係る調査及び統計に関する事。 (14)私立学校（幼稚園を除く。）に関する事（大学誘致に関する事を除く。）。 (15)奨学金に関する事。 (16)教育行政に係る相談に関する事。 (17)他の部課等に属さない事。
	学務係	(1)学齢児及び学齢生徒の就学に関する事。 (2)学校の組織編成及び教育課程に関する事。 (3)教科書及び教材教具に関する事。 (4)就学時の健康診断に関する事。 (5)児童、生徒及び教職員の保健、安全及び福利厚生に関する事。 (6)通学区の設定及び変更に関する事。 (7)県費負担教職員の内申その他の人事に関する事。 (8)学校教職員の研修に関する事。
	学校施設管理係	(1)教育財産の管理に関する事。 (2)施設台帳の整理保管に関する事。 (3)学校施設、設備及び備品に関する事。 (4)教職員住宅に関する事。 (5)学校の環境衛生に関する事。
	教育施設建築係	(1)教育委員会の所管に係る施設の営繕に関する事。 (2)教育委員会の所管に係る施設の建築設計業務及び監理業務に関する事。
学校給食課 (62-3493)	給食センター	(1)学校給食の物資の購入、調理及び配送に関する事。 (2)学校給食用器具の管理及び整備に関する事。 (3)学校給食の調理の研究及び調査に関する事。 (4)学校給食の会計の事務に関する事。 (5)給食センターの設置及び統廃合に関する事。 (6)前各号に掲げるもののほか、給食センターの運営に必要な事。

課 名 等			事 務 分 掌
社会教育部	生涯学習課 (62-0671)	生涯学習係	(1)部の庶務及び調整に関すること。 (2)部の建設工事請負人等選定委員会に関すること。 (3)社会教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。 (4)社会教育委員等の委嘱及びこれらの会議に関すること。 (5)社会教育に係る調査及び統計に関すること。 (6)生涯学習の振興に関すること。 (7)生涯学習推進本部に関する計画及び会議に関すること。 (8)ユネスコ活動に関すること。 (9)視聴覚教育に関すること。 (10)生涯学習資料の刊行、情報交換、調査研究に関すること。
		青少年係	(1)青少年の育成に関すること。 (2)青少年のための社会環境浄化に関すること。 (3)青少年関係団体の育成に関すること。 (4)少年センターに関すること。 (5)子ども交流に関すること。
	文化振興課 (62-5535)	文化振興係	(1)文化の振興に関すること。
		文化施設係	(1)事務局及び教育機関内の他の課等の所管する文化施設以外の文化施設の管理及び運営に関すること。 (2)文化施設の整備に関すること。
	文化財事務所 (63-5321)	文化財保護係	(1)文化財保護審議会等に関すること。 (2)文化財の保護及び活用に関すること。 (3)指定文化財に関すること。 (4)旧中込学校の管理及び運営に関すること。 (5)島崎藤村旧宅の管理及び運営に関すること。 (6)市町村誌に関すること。
		文化財調査係	(1)文化財の調査に関すること。
	体育課 (62-2020)	体育振興係	(1)社会体育に関すること。 (2)スポーツ推進委員会及びスポーツ推進審議会に関すること。 (3)体育団体の指導育成に関すること。
		体育施設係	(1)社会体育施設の整備計画に関すること。 (2)体育施設の貸出しに関すること。
	中央公民館 (66-0551)	公民館係	(1)公民館の庶務に関すること。 (2)公印の管守に関すること。 (3)公民館運営審議会に関すること。 (4)佐久市民会館の施設及び設備の維持管理及び利用に関すること。 (5)佐久市市民創錬センターの施設及び設備の維持管理及び利用に関すること。 (6)佐久市駒の里ふれあいセンターの施設及び設備の維持管理及び利用に関すること。 (7)公民館、地区館及び地域公民館内の連絡調整に関すること。 (8)学級、講座及び展示会の開催に関すること。 (9)図書、資料等の整備及び利用に関すること。 (10)社会教育団体、学習グループ等の育成に関すること。
			(11)広報活動に関すること。

課 名 等			事 務 分 掌
社会教育部	中央図書館 (67-2111)	図書館係	(1) 図書館の管理に関する次の事業。 ① 図書館の運営、企画、広報及び宣伝に関すること。 ② 関係機関との連絡及び協力に関すること。 ③ 施設及び設備の維持管理に関すること。 ④ 図書館資料の選択、収集及び購入に関すること。 ⑤ 図書館資料の保管及び整理に関すること。 ⑥ 佐久市立図書館協議会に関すること。 ⑦ ①から⑥までに掲げるもののほか、図書館の管理に関し必要と認められること。 (2) 図書館奉仕に関する次に掲げる事業。 ① 地域資料に関すること。 ② 個人貸出し及び団体貸出しに関すること。 ③ 読書案内、読書相談及び参考事務に関すること。 ④ 移動図書館の運営に関すること。 ⑤ 読書会、研究会、講演会、講習会等の開催に関すること。 ⑥ 図書館の利用に係る統計の作成に関すること。 ⑦ ①から⑥までに掲げるもののほか、図書館奉仕に関し必要と認められること。
	近代美術館 (67-1055)	美術館係	(1) 美術品及び美術に関する模写、模型、文献、写真、フィルム等（以下「美術品等」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。 (2) 美術に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。 (3) 美術に関する講演会、講習会、映写会、研究会、美術作品公募展等を開催すること。 (4) 美術品等の利用に関し必要な助言及び指導を行うこと。 (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の目的を達成するため必要な事業。

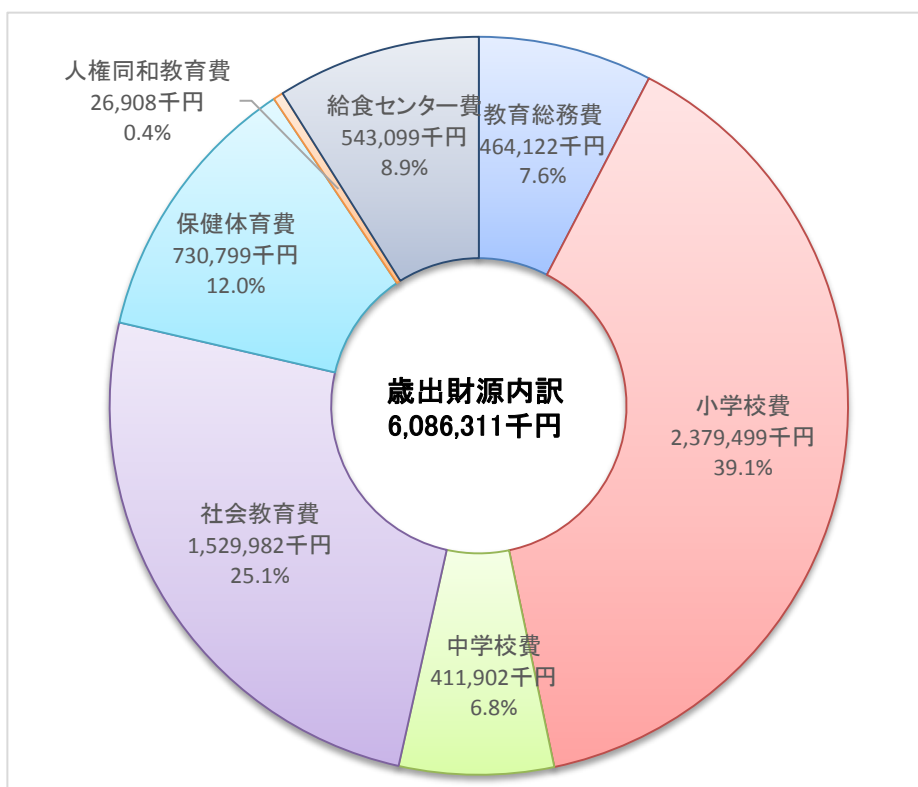
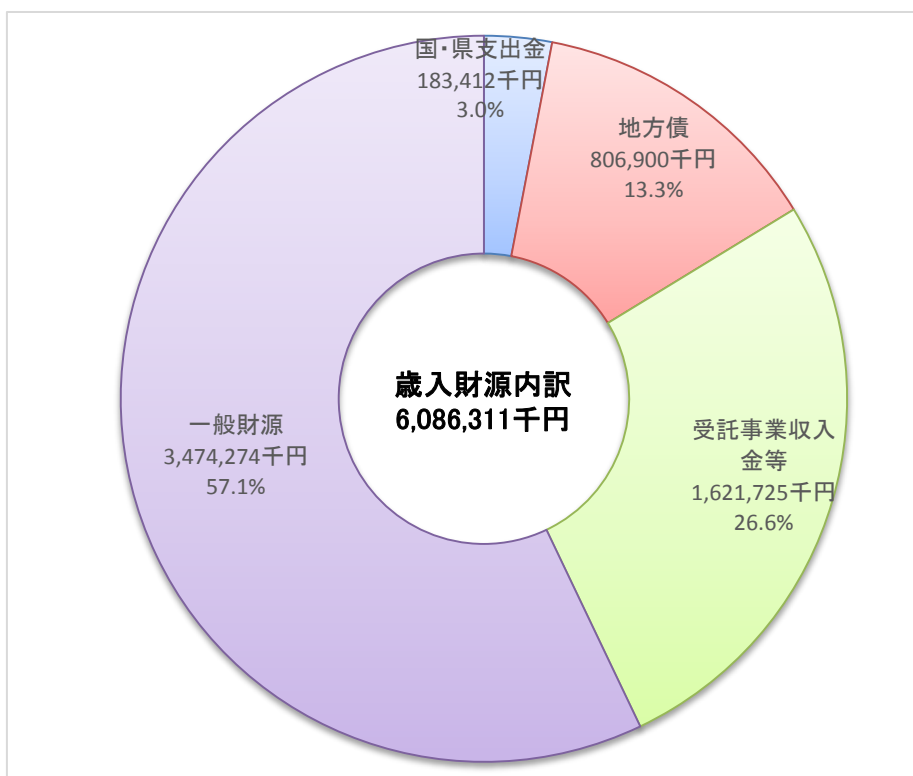
6 平成30年度佐久市一般会計予算の状況

平成30年4月1日現在



7 平成30年度教育費予算の状況

平成30年4月1日現在

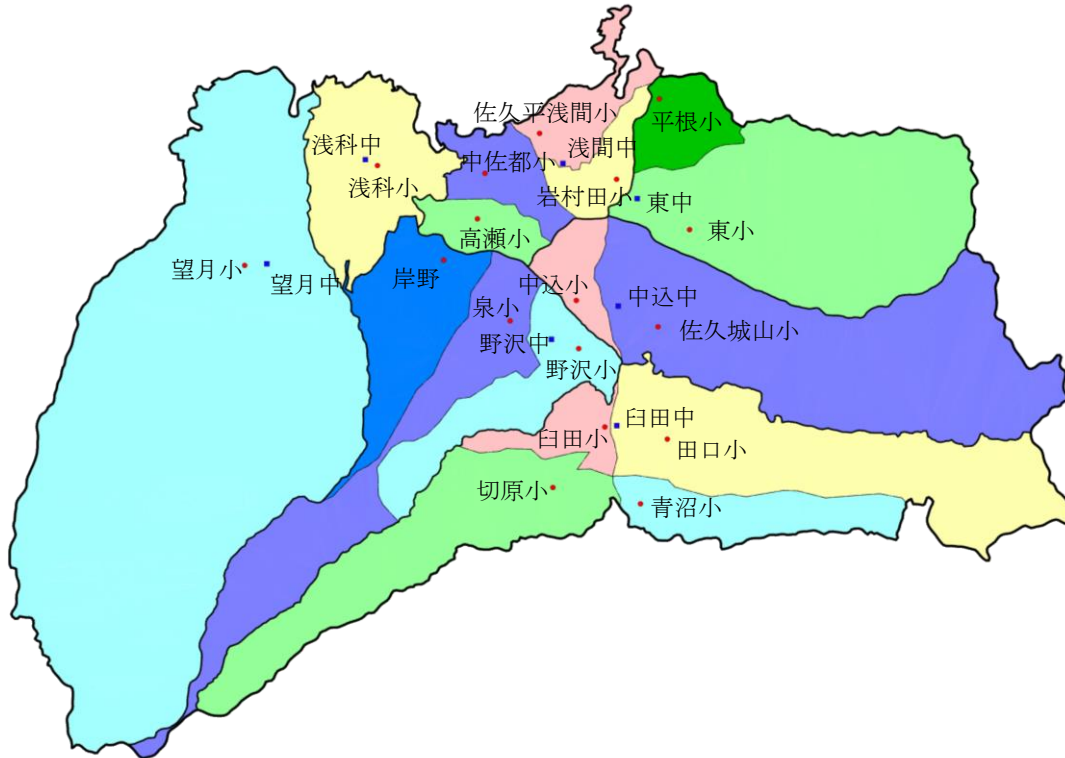


8 平成30年度教育費予算対比表

項 目	30年度予算額	29年度予算額	増減	対前年比
	千円	千円	千円	
1 教育総務費	464,122	360,356	103,766	128.8%
(1) 教育委員会費	4,317	4,093	224	105.5%
(2) 事務局費	459,805	356,263	103,542	129.1%
2 小学校費	2,379,499	747,490	1,632,009	318.3%
(1) 小学校管理費	199,504	192,558	6,946	103.6%
(2) 小学校教育振興費	256,274	244,302	11,972	104.9%
(3) 小学校施設費	1,923,721	310,630	1,613,091	619.3%
3 中学校費	411,902	410,538	1,364	100.3%
(1) 中学校管理費	103,899	105,443	△ 1,544	98.5%
(2) 中学校教育振興費	155,839	159,313	△ 3,474	97.8%
(3) 中学校施設費	152,164	145,782	6,382	104.4%
4 社会教育費	1,529,982	1,684,839	△ 154,857	90.8%
(1) 社会教育総務費	68,095	66,519	1,576	102.4%
(2) 青少年対策費	17,949	17,586	363	102.1%
(3) ふるさと創生費	7,800	7,600	200	102.6%
(4) 文化振興総務費	378,404	359,729	18,675	105.2%
(5) 天体観測施設費	4,341	4,608	△ 267	94.2%
(6) 臼田文化センター費	2,575	2,592	△ 17	99.3%
(7) 五郎兵衛記念館費	7,442	8,618	△ 1,176	86.4%
(8) 天来記念館費	9,382	8,060	1,322	116.4%
(9) 望月歴史民俗資料館費	7,128	6,039	1,089	118.0%
(10) 川村吾蔵記念館費	10,461	9,415	1,046	111.1%
(11) 佐久平交流センター費	61,426	16,000	45,426	383.9%
(12) 公民館費	141,435	122,975	18,460	115.0%
(13) 市民会館費	102,267	473,762	△ 371,495	21.6%
(14) 市民創錬センター費	11,973	11,882	91	100.8%
(15) 駒の里ふれあいセンター費	113,304	60,378	52,926	187.7%
(16) 文化財費	311,523	238,494	73,029	130.6%
(17) 図書館費	176,303	163,488	12,815	107.8%
(18) 美術館費	98,174	107,094	△ 8,920	91.7%
5 保健体育費	730,799	277,323	453,476	263.5%
(1) 保健体育総務費	81,991	75,968	6,023	107.9%
(2) 体育施設費	648,808	201,355	447,453	322.2%
6 人権同和教育費	26,908	26,519	389	101.5%
(1) 人権同和教育費	26,908	26,519	389	101.5%
7 学校給食センター費	543,099	525,865	17,234	103.3%
(1) 学校給食センター総務費	543,099	525,865	17,234	103.3%
合 計	6,086,311	4,032,930	2,053,381	150.9%

V 学校教育

1 小・中学校名および所在地、学校長名、通学区



(1)所在地、学校長名

学 校 名	所 在 地	学校長名	電話番号
岩村田小学校	岩村田 2 6 4 1 番地 2	神津 利信	6 7 - 3 3 0 9
佐久平浅間小学校	長土呂 1 7 1 7 番地	神津 長生	6 6 - 1 7 1 7
中佐都小学校	塚原 8 0 8 番地	小林 英明	6 7 - 3 4 1 8
高瀬小学校	鳴瀬 1 3 5 0 番地 1	野澤 博文	6 7 - 2 4 5 9
野沢小学校	取出町 4 7 2 番地 3	小林 勉	6 2 - 0 1 0 9
泉小学校	三塚 2 7 3 番地 1	土屋 哲章	6 2 - 0 3 9 4
岸野小学校	伴野 1 7 2 5 番地	大西 孝一	6 2 - 0 3 8 4
中込小学校	中込 4 9 1 番地	井上 靖子	6 2 - 0 0 6 5
佐久城山小学校	平賀 5 3 2 5 番地 1	溝口 純永	6 2 - 0 3 5 6
平根小学校	上平尾 9 3 6 番地	新海 吉永	6 7 - 3 5 3 9
東小学校	志賀 6 1 2 8 番地 1	大平 尚幸	6 8 - 6 8 2 9
田口小学校	田口 3 0 0 0 番地 1	砥石 順一	8 2 - 2 3 3 1
青沼小学校	入澤 1 5 2 番地 1	鳥川 正一	8 2 - 2 1 8 1
切原小学校	中小田切 1 0 0 番地 1	木内 理枝子	8 2 - 2 0 7 9
白田小学校	白田 2 6 4 番地 3	今井 一弘	8 2 - 2 0 2 4
浅科小学校	甲 2 0 0 3 番地 1	渡邊 秀二	5 8 - 2 1 0 2
望月小学校	協和 5 2 2 9 番地	柳澤 礼子	5 3 - 2 2 0 8
浅間中学校	岩村田 1 3 6 1 番地	羽毛田 和彦	6 7 - 2 4 1 0
野沢中学校	野沢 3 3 5 番地 1	田中 好文	6 2 - 0 3 6 0
中込中学校	平賀 2 3 1 3 番地	海野 善弘	6 2 - 0 7 2 5
東中学校	新子田 1 3 9 6 番地 1	鈴木 茂	6 7 - 2 3 9 2
白田中学校	下越 2 8 6 番地 1	浅川 桂	8 2 - 2 1 3 9
浅科中学校	八幡 1 5 0 番地	中川 満英	5 8 - 2 1 0 1
望月中学校	協和 6 9 2 5 番地	中嶋 徳彦	5 3 - 3 1 0 1

(2)通学区

学校名	区 域
岩村田小学校	岩村田（長土呂、住吉町区及び西本町区を除く。）及び猿久保
佐久平浅間小学校	長土呂、佐久平駅北、佐久平駅東、佐久平駅南、岩村田のうち長土呂区、住吉町区及び西本町区、岩村田北1丁目並びに小田井
中佐都小学校	塚原、常田、平塚及び根々井
高瀬小学校	鳴瀬、今井、三河田及び横和
野沢小学校	野沢、原、鍛冶屋、高柳、取出町、本新町、跡部及び大沢
泉小学校	三塚、桜井、小宮山及び前山
岸野小学校	伴野、根岸及び東立科
中込小学校	中込、中込1丁目、中込2丁目及び中込3丁目
佐久城山小学校	瀬戸、平賀、太田部、常和及び内山
平根小学校	横根、上平尾、下平尾及び安原のうち紅雲台区
東小学校	香坂、安原（紅雲台区を除く。）、新子田及び志賀
田口小学校	田口、清川、下越及び三分
青沼小学校	入澤及び平林
切原小学校	湯原、上小田切、中小田切及び北川
臼田小学校	下小田切、勝間及び臼田
浅科小学校	塩名田、御馬寄、甲、八幡、蓬田、桑山及び矢島
望月小学校	望月、印内、茂田井、布施、春日及び協和
浅間中学校	長土呂、佐久平駅北、佐久平駅東、佐久平駅南、岩村田、岩村田北1丁目、猿久保、小田井、塚原、常田、平塚、根々井、鳴瀬、今井、三河田及び横和
野沢中学校	野沢、原、鍛冶屋、高柳、取出町、本新町、跡部、三塚、桜井、伴野、根岸、東立科、小宮山、前山及び大沢
中込中学校	中込、中込1丁目、中込2丁目、中込3丁目、瀬戸、平賀、太田部、常和及び内山
東中学校	横根、上平尾、下平尾、香坂、安原、新子田及び志賀
臼田中学校	田口、清川、下越、三分、入澤、平林、湯原、上小田切、中小田切、北川、下小田切、勝間及び臼田
浅科中学校	塩名田、御馬寄、甲、八幡、蓬田、桑山及び矢島
望月中学校	望月、印内、茂田井、布施、春日及び協和

2 小・中学校別児童・生徒数、学級数一覧（平成30年5月1日現在） （小学校）

学 校 名		学年別児童数							計
		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	特支（内数）	
岩村田小学校	児童数	69 (5)	94 (4)	74 (2)	75 (1)	87 (7)	91 (2)	(21)	490
	学級数	2	3	3	3	3	3	3	20
佐久平浅間小学校	児童数	123 (7)	152 (5)	113 (4)	129 (5)	90 (1)	104 (4)	(26)	711
	学級数	4	5	4	4	3	3	4	27
中佐都小学校	児童数	51 (2)	54 (2)	53 (1)	56 (1)	54 (2)	52 (2)	(10)	320
	学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
高瀬小学校	児童数	27 (2)	33 (2)	21 0	23 (2)	29 (1)	30 (1)	(8)	163
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
野沢小学校	児童数	89 (6)	85 (2)	85 (3)	91 (4)	104 (8)	96 (1)	(24)	550
	学級数	3	3	3	3	3	3	4	22
泉小学校	児童数	49 (3)	54 (5)	51 (4)	51 0	41 (2)	49 (1)	(15)	295
	学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
岸野小学校	児童数	36 (1)	27 0	33 (1)	26 0	24 (1)	30 0	(3)	176
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
中込小学校	児童数	55 (2)	60 (2)	55 (3)	61 (1)	63 (1)	64 (1)	(10)	358
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	14
佐久城山小学校	児童数	63 (4)	74 (6)	58 (4)	67 (1)	65 (4)	59 (6)	(25)	386
	学級数	2	2	2	2	2	2	4	16
平根小学校	児童数	25 (3)	25 (3)	31 (3)	37 0	37 0	43 (3)	(12)	198
	学級数	1	1	1	2	2	2	3	12
東小学校	児童数	47 (5)	54 (8)	49 (4)	52 (3)	54 (2)	61 (1)	(23)	317
	学級数	2	2	2	2	2	2	4	16
田口小学校	児童数	34 (3)	38 (1)	47 0	40 (3)	46 (1)	46 (1)	(9)	251
	学級数	1	2	2	2	2	2	2	13
青沼小学校	児童数	8 0	6 0	9 0	10 0	4 0	15 0	0	52
	学級数	1	1	1	1	1	1	0	6
切原小学校	児童数	16 0	19 0	17 0	10 (1)	23 (2)	17 0	(3)	102
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
臼田小学校	児童数	37 (1)	38 (1)	23 (1)	29 (1)	33 (2)	28 (1)	(7)	188
	学級数	2	2	1	1	1	1	2	10
浅科小学校	児童数	47 (3)	54 (1)	53 (5)	51 0	47 (2)	68 (2)	(13)	320
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	14
望月小学校	児童数	57 (4)	55 (6)	69 (2)	55 (4)	61 (1)	78 (2)	(19)	375
	学級数	2	2	2	2	2	3	4	17
計	児童数	833 (51)	922 (48)	841 (37)	863 (27)	862 (37)	931 (28)	(228)	5,252
	学級数	31	34	32	33	32	33	45	240

（中学校）

学 校 名		学年別生徒数				計
		1 学年	2 学年	3 学年	特支（内数）	
浅間中学校	生徒数	250 (3)	257 (4)	260 (9)	(16)	767
	学級数	7	8	8	2	25
野沢中学校	生徒数	150 (3)	209 (7)	192 (9)	(19)	551
	学級数	5	6	6	3	20
中込中学校	生徒数	117 (3)	119 (4)	137 (4)	(11)	373
	学級数	4	4	4	2	14
東 中 学 校	生徒数	72 (3)	81 (3)	72 (3)	(9)	225
	学級数	2	3	2	2	9
臼田中学校	生徒数	104 (1)	107 (7)	112 (3)	(11)	323
	学級数	3	3	4	2	12
浅科中学校	生徒数	39 (1)	40 (2)	66 (4)	(7)	145
	学級数	2	2	2	2	8
望月中学校	生徒数	69 (5)	60 (1)	76 (2)	(8)	205
	学級数	2	2	3	2	9
計	生徒数	801 (19)	873 (28)	915 (34)	(81)	2,589
	学級数	25	28	29	15	97

3 小・中学校別教職員数一覧

(平成30年5月1日現在)

平成30年6月1日現在																		
学 校 名		教 員 数							職 員 数									
		校長	教頭	教諭	養護	栄養	講師	計	事務		市費 学力 向上	栄養士 県	図書館 司書	給食 調理員	用務員	市費 支援員	計	
									県	市								
岩村田小学校	男	1	1	12				14	1						1		2	
	女			9	1		4	14		1	1		2			5	9	
佐久平浅間小学校	男	1	1	14			1	17							1		1	
	女			16	1		2	19	1	1	1		2			6	11	
中佐都小学校	男	1	1	7			1	10	1		1				1		3	
	女			9	1		3	13					2			2	4	
高瀬小学校	男	1	1	2			2	6	1						1	1	3	
	女			8	2		1	11					1			2	3	
野沢小学校	男	1	1	9			1	12							1		1	
	女			13	1		1	15	1	1	1		2			5	10	
泉 小 学 校	男	1	1	7			2	11							1	1	2	
	女			10	1		2	13	1				2			4	7	
岸野小学校	男	1	1	2			1	5							1		1	
	女			6	1		3	10	1				1			1	3	
中込小学校	男		1	4			2	7	1						1		2	
	女	1		14	1		1	17		1			2			4	7	
佐久城山小学校	男	1	1	4			2	8							1		1	
	女			14	1		2	17	1				2			3	6	
平根小学校	男	1	1	6				8							1		1	
	女			6	1		1	8	1				2			3	6	
東 小 学 校	男	1	1	9				11							1		1	
	女			10	1		1	12	1		1		2			4	8	
田口小学校	男	1	1	4			1	7							1	1	2	
	女			9	1		3	13	1				2			4	7	
青沼小学校	男	1	1	3				5							1		1	
	女			3	1		2	6	1				1			2	4	
切原小学校	男		1	4			1	6							1		1	
	女	1		4	1		1	7	1				1			1	3	
臼田小学校	男	1	1	4			1	7	1						1	1	3	
	女			8	1		1	10					1			3	4	
浅科小学校	男	1		6			2	9			1				1		2	
	女		1	10	1	1	2	15	1				2			2	5	
望月小学校	男		1	8				9							1		1	
	女	1		11	1		2	15	1	1	1		2			4	9	
計	男	14	16	105	0	0	17	152	5	0	2	0	0	0	17	4	28	
	女	3	1	160	18	1	32	215	12	5	5	0	29	0	0	55	106	

注1 栄養教諭は、教員数欄の栄養に記載

注2 市費職員は、嘱託、臨時、パート含む

注3 職員数欄の図書館司書は、司書教諭及び市費の学校司書の合計人数

学 校 名		教 員 数							職 員 数								
		校長	教頭	教諭	養護	栄養	講師	計	事務		市費 学力 向上	栄養士 県	図書館 司書	給食 調理員	用務員	市費 支援員	計
									県	市							
浅間中学校	男	1	1	41			2	45							2		2
	女			15	2	1	3	21	2	1			3				6
野沢中学校	男	1	1	19				21							2		2
	女			12	1		3	16	1	1	1		3			1	7
中込中学校	男	1	1	16			2	20			1				2		3
	女			6	1		1	8	1	1			2			1	5
東中学校	男	1	1	8			1	11	1						1		2
	女			5	1			6			1		3			1	5
臼田中学校	男	1	1	12			1	15							1		1
	女			6	1		1	8	1	1	1		4			2	9
浅科中学校	男	1	1	9			1	12							1		1
	女			2	1		3	6	1				1			1	3
望月中学校	男	1	1	10				12							1		1
	女			5	1		1	7	1		1		1			1	4
計	男	7	7	115	0	0	7	136	1	0	1	0	0	0	10	0	12
	女	0	0	51	8	1	12	72	7	4	4	0	17	0	0	7	39
合計	男	21	23	220	0	0	24	288	6	0	3	0	0	0	27	4	40
	女	3	1	211	26	2	44	287	19	9	9	0	46	0	0	62	145

注1 栄養教諭は、教員数欄の栄養に記載

注2 市費職員は、嘱託、臨時、パート含む

注3 職員数欄の図書館司書は、司書教諭及び市費の学校司書の合計人数

4 小・中学校別建物等保有状況

平成30年7月1日現在

	建物面積				校地面積		プール保有面積
	校舎		屋内運動場		建物敷	運動場敷	
	必要(㎡)	保有(㎡)	必要(㎡)	保有(㎡)	保有(㎡)	保有(㎡)	
岩村田小学校	5,888	8,486	1,258	1,208	14,975	8,026	大 25 × 15 = 375㎡ 小 15 × 8 = 120㎡ (FRP)
佐久平浅間小学校	7,485	8,554	1,552	1,397	14,881	9,839	大 25 × 15 = 375㎡ 小 15 × 8 = 120㎡ (FRP)
中佐都小学校	4,896	4,545	1,258	1,092	10,144	7,637	大 25 × 15 = 375㎡ 小 15 × 7 = 105㎡ (FRP)
高瀬小学校	3,222	3,965	922	1,000	7,808	9,633	大 25 × 15 = 375㎡ 小 15 × 7 = 105㎡ (FRP)
野沢小学校	5,840	5,948	1,258	1,081	13,518	9,150	大 25 × 16 = 400㎡ 小 15 × 8 = 120㎡ (ステンレス)
泉小学校	4,909	5,798	1,258	1,256	11,906	9,631	大 25 × 15 = 375㎡ 小 15 × 7.5 = 112㎡ (FRP)
岸野小学校	3,222	3,899	922	1,183	6,202	7,220	大 25 × 14 = 350㎡ 小 15 × 7 = 105㎡ (ステンレス)
中込小学校	5,200	5,600	1,258	1,022	14,976	10,848	大 25 × 16 = 400㎡ 小 10 × 10 = 100㎡ (ステンレス)
佐久城山小学校	5,629	4,998	1,258	1,264	8,625	8,416	大 25 × 16 = 400㎡ 小 15 × 7 = 105㎡ (ステンレス)
平根小学校	3,437	3,923	922	1,092	4,735	9,259	大 25 × 15 = 375㎡ 小 13 × 8 = 104㎡ (FRP)
東小学校	5,414	4,671	1,258	1,092	9,549	11,123	大 25 × 15 = 375㎡ 小 15 × 7 = 105㎡ (FRP)
田口小学校	3,688	3,187	1,092	1,111	10,420	10,209	大 25 × 13 = 325㎡ 小 10 × 7 = 70㎡ (ステンレス)
青沼小学校	1,771	2,556	922	923	4,421	8,635	大 25 × 13 = 325㎡ 小 14 × 5 = 70㎡ (ステンレス)
切原小学校	3,033	3,170	922	968	6,099	12,470	大 25 × 13.6 = 340㎡ 小 10 × 10 = 100㎡ (FRP)
臼田小学校	3,033	4,734	922	1,045	9,674	12,696	大 25 × 15 = 375㎡ 小 11 × 7 = 77㎡ (鉄板)
浅科小学校	4,441	4,218	1,258	1,321	12,257	14,443	大 25 × 15 = 375㎡ 小 7 × 5 = 35㎡ (アルミニウム)
望月小学校	5,099	7,544	1,258	1,230	15,671	9,220	大 25 × 12 = 300㎡ 小 7 × 6 = 42㎡ (FRP)

	建物面積				校地面積		プール保有面積
	校舎		屋内運動場		建物敷	運動場敷	
	必要(㎡)	保有(㎡)	必要(㎡)	保有(㎡)	保有(㎡)	保有(㎡)	
浅間中学校	8,044	9,728	1,511	1,833	14,744	17,439	大 25 × 25 = 625㎡ (FRP)
野沢中学校	6,921	7,938	1,511	1,511	19,355	15,849	大 50 × 20 = 1,000㎡ (コンクリート)
中込中学校	5,510	6,920	1,237	1,384	14,412	17,503	大 50 × 20 = 1,000㎡ (FRP)
東中学校	4,041	5,468	1,237	1,237	13,501	17,686	大 50 × 15 = 750㎡ (FRP)
臼田中学校	5,047	7,086	1,237	1,526	12,983	15,997	大 25 × 21 = 525㎡ (FRP)
浅科中学校	2,968	4,340	1,162	1,506	20,056	18,144	大 25 × 15 = 375㎡ (ステンレス)
望月中学校	3,746	6,360	1,162	1,804	18,483	16,679	大 25 × 17 = 425㎡ (FRP)

5 教職員住宅一覧

平成30年5月1日現在

所在地	構造	面積(㎡)	建築年度	家賃(円)
取出町485-5	木造・平家・1戸建	60.45	昭和55	10,200
取出町485-23	木造・平家・1戸建	50.02	昭和57	10,800
上平尾1007-3	木造・平家・1戸建	76.18	昭和58	13,300
平賀3617-1	木造・平家・1戸建	59.62	昭和59	12,800
中込1849-3	木造・平家・1戸建	60.65	昭和61	13,400
中込1849-3	木造・平家・1戸建	60.65	昭和61	14,100
塚原786-1	木造・平家・1戸建	60.45	昭和62	14,700
取出町485-3	木造・2階・4戸建	44.30	昭和63	14,200
取出町485-3	木造・2階・4戸建	44.30	昭和63	14,200
取出町485-3	木造・2階・4戸建	44.30	昭和63	14,200
取出町485-3	木造・2階・4戸建	44.30	昭和63	14,200
鳴瀬1282-1	木造・平家・1戸建	60.45	平成 元	16,000
伴野1757-8	木造・平家・1戸建	52.17	平成 2	16,100
岩村田3193-3	木造・平家・1戸建	57.96	平成 3	17,100
岩村田3194-5	木造・平家・1戸建	57.96	平成 4	17,700
岩村田3125-2	PC造・2階・4戸建	38.30	平成 5	17,000
岩村田3125-2	PC造・2階・4戸建	38.30	平成 5	17,000
岩村田3125-2	PC造・2階・4戸建	38.30	平成 5	17,000
岩村田3125-2	PC造・2階・4戸建	38.30	平成 5	17,000
志賀5957-1	木造・平家・1戸建	72.87	昭和58	13,000
臼田1014-2	木造・平家・1戸建	79.91	平成11	23,900
臼田1014-2	木造・平家・1戸建	79.91	平成11	23,900
臼田1014-2	木造・平家・3戸建	39.75	平成11	20,900
臼田1014-2	木造・平家・3戸建	39.75	平成11	20,900
臼田1014-2	木造・平家・3戸建	39.75	平成11	20,900
田口2338-29	木造・平家・2戸建	39.75	平成14	22,800
田口2338-29	木造・平家・2戸建	39.75	平成14	22,800
中小田切95-3	木造・平家・1戸建	65.83	平成14	25,800
入沢234-4	木造・2階・1戸建	65.42	平成14	25,800
甲967-2	木造・平家・1戸建	66.24	平成 7	20,300
甲967-2	木造・平家・1戸建	66.24	平成 7	20,300
協和5178-1	木造・平家・2戸建	52.17	昭和60	12,800
協和5178-1	木造・平家・2戸建	52.17	昭和60	12,800

6 学校給食施設一覧

(1) 施設の名称及び位置等

名称	位置	設置年月日・建物面積	給食する学校
学校給食 南部センター TEL 0267-62-0617 FAX 0267-63-1249	佐久市原 563番地 1	平成5年4月1日 1,239.53m ² 平成25年10月1日 31.71m ² 増築 平成29年9月29日 18.15m ² 増築 総延べ床面積 1,289.39m ²	野沢中学校、中込中学校 野沢小学校、泉小学校 岸野小学校、中込小学校 佐久城山小学校
学校給食 北部センター TEL 0267-67-5694 FAX 0267-66-3450	佐久市長土呂 64番地22	平成15年1月5日 1,753.91m ²	浅間中学校、東中学校 岩村田小学校 佐久平浅間小学校 平根小学校、中佐都小学校 高瀬小学校、東小学校
学校給食 臼田センター TEL・FAX 0267-82-2547	佐久市田口 6450番地	昭和56年4月1日 649.97m ²	臼田中学校、臼田小学校 田口小学校、青沼小学校 切原小学校
学校給食 浅科センター TEL・FAX 0267-58-2103	佐久市甲 2003番地1	昭和57年4月1日 279m ²	浅科中学校、浅科小学校
学校給食 望月センター TEL 0267-53-8180 FAX 0267-53-8188	佐久市協和 6925番地	平成16年4月1日 749.45m ²	望月中学校、望月小学校

(2) 給食業務に従事する職員数

平成30年5月1日 現在

施設名称	事務職員				栄養士	調理職員等		計
	課長	係長	企画員	嘱託職員		正職員	嘱託等職員	
学校給食課	1		1					2
(南部センター)		1			1 (2)	5	15	22(2)
(北部センター)		1			1 (2)	5	18	25(2)
(臼田センター)		1			1 (1)	3	7	12 (1)
(浅科センター)				1	1 (1)	2	5	9 (1)
(望月センター)		1			1 (1)	2	8	12 (1)
計	1	4	1	1	5 (7)	17	53	82 (7)

※()内は、県費職員で外数

※北部センターの1名は栄養教諭

※浅科センターの1名は栄養教諭

(3) 主食の調理方式及び給食の運搬

施設名称	主食の調理方式			給食の運搬
	米飯	パン	麺	
南部センター	委託方式	委託方式	委託方式	委託方式
北部センター	委託方式	委託方式	委託方式	委託方式
臼田センター	委託方式	委託方式	委託方式	委託方式
浅科センター	センターで調理	委託方式	委託方式	センターで配送
望月センター	センターで調理	委託方式	委託方式	センターで配送

(4) 給食の実施状況

平成29年度実績

	南部センター	北部センター	臼田センター	浅科センター	望月センター	計
給食学校数(校)	7	8	5	2	2	24
給食学級数(学級)	90	108	42	18	20	278
給食人数(人)	2,915	3,483	1,039	522	637	8,596
年間延給食数(食)	581,600	690,402	206,335	103,401	125,588	1,707,326
年間給食費総額(円)	164,930,250	195,551,707	58,662,475	29,245,314	35,590,840	483,980,586
給食費 平成29年度 小学校 中学校	1食当り (円)	270	270	270	270	
	1食当り (円)	310	310	310	310	

(注)・教職員、調理員等の分を含む。

7 各種施策の推進

(1) 学力向上事業

ア 市内小中学校学力検査の実施

市内小学校の4年生から6年生までの全児童に対して国語、算数、理科、中学校全学年の全生徒に国語、数学、理科、英語、の教研式標準学力検査（C R T）を年1回実施している。各教科の検査結果を、全国平均との比較も踏まえて分析し、学校における学習指導に活用する。

イ 小学校における教科制の重視

学習のつまづきが指摘される算数と理科を中心に、県から配置される少人数学習集団編成のための加配教員と市で配置する学力向上支援加配職員などを活用して、教科担任制を取り入れている。各小学校では、複数の教員による授業（ティームティーチング）を行うなど児童一人一人の学習段階に応じたきめ細かな指導を進めている。

ウ 指導主事及び学校運営支援員による学校訪問

県教委派遣の指導主事及び教職経験のある学校運営支援員が日常的に各小中学校を訪問して学校運営及び学習・生徒指導全般の支援にあたっている。

(2) 体力向上事業

ア 市内小中学校の体力・運動能力の把握

文部科学省の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」により、小学校では5年生、中学校では2年生が実施し、市内の小中学生の体力・運動能力の把握に努めている。検査項目は、身長、体重の他、筋力、柔軟性、敏捷性を測定するため、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20メートルシャトルラン、50メートル走、立ち幅とび、ソフトボール投げとなっている。

(3) 生徒指導事業

ア スクールメンタルアドバイザーの配置と活動

(ア) 概要

配置人数：6名

相談場所：市役所南棟3階教育相談室又は相談者の希望する場所

相談日及び時間：毎週月曜から金曜日（祝日を除く）午前8時30分から午後6時

電話：0267-62-2918（直通）

(イ) 活動内容

学校訪問や、相談室での面談・電話での相談を通して、児童生徒・保護者・教職員の抱える問題の解決に向けて関係機関と連携しながら助言等を行う。

イ 不登校等対策連絡協議会

市不登校等対策連絡協議会設置要綱により設置され、年3回の協議会を開催する。委員は、小・中学校、高等学校の教職員の代表、医師、保健師、親の会代表など各関係団体などから選出され、それぞれの立場からの情報共有や、不登校やいじめ問題など様々な課題への対応策について検討し提言等を行う。

ウ 中間教室

(ア) 概要

名 称：佐久市チャレンジ教室 ～ふれあい登校支援～

開設場所：〒385-0043 佐久市取出町183番地 野沢会館内 電話 0267-62-9127

指 導 者：適応指導員2名

開設日及び時間：毎週月曜日から金曜日（祝祭日を除く）午前9時から午後3時

(イ) 活動内容

不登校児童生徒の学校復帰に向けて、学校・家庭と連携を取りながら、集団適応指導、学習指導、教育相談等の指導援助を行う。

エ 就学支援委員会専門員の活動

5名の就学支援専門員が、障害のある就学予定者及び児童生徒の早期からの就学相談、一貫した教育支援を行い、家族の願う就学の実現及び入学後の円滑な学校生活が送れるよう支援をしている。専門員は、小中学校をはじめ幼稚園、保育所、療育支援センター、関係機関・施設を巡回訪問し、各関係者と連携して情報交換や相談・調査活動を行っている。

また、保護者からの相談にも常時応じており、子どもたち一人一人にとって、もっとも適切な就学と支援のあり方を共に考え合意形成を図っている。

オ 特別支援教育

障がいのある児童生徒が小中学校で個々に応じた適切な教育を受けることができるよう特別支援教育を行っている。市就学支援委員会の判断で、知的障害学級や自閉症・情緒障害学級に入級することが一般的であるが、通常学級での学習を希望した場合には、状況に応じて特別支援教育支援員を配置し支援している。各学校では、特別支援教育コーディネーターが中心となって校内での特別支援教育を推進している。

最近の傾向として、発達障害の傾向を持つ児童生徒への対応のあり方が全国的に議論され、社会的な関心が高まり、通常学級における支援を充実させることが課題になっている。

カ 相談事業

(ア) コスモス相談

a 教育相談

スクールメンタルアドバイザーによる教育相談。概要は、「(3) 生徒指導事業 ア スクールメンタルアドバイザーの配置と活動」のとおり。

教育全般に関する幅広い相談に応じて就学支援委員会専門員や福祉・保健など関係者・関係機関と連携して対応する。

b 就学相談

就学支援委員会専門員による子どもの発達や障害、就学に関する教育相談。市役所南棟3階教育相談室で受付けている。相談内容に応じて、スクールメンタルアドバイザーや医療・福祉など関係者・関係機関と連携して対応する。

(イ) ハートフルフレンド事業

家庭に引きこもりがちな児童生徒の自宅を訪問して悩みや思いを聞き、話し相手になることで徐々に目を外に向けさせ、中間教室への通室、最終的には学校への復帰を促す。ハートフルフレンドは、子どもの心に関して理解の深い3名に依頼している。

(4) 教師等の力量向上事業

ア 市校長会、市教頭会の開催

市の教育施策を学校現場に適切に周知・徹底して市全体の教育水準の向上を図るため、市教育委員会も出席してそれぞれ年数回開催している。会議では、教育委員会からの指示・伝達のほか、学校からの要望や意見も踏まえて活発な議論が交わされている。

校長会・教頭会は教育委員会と学校的意思疎通と連携を深める場として大切な会となっている。

イ 短期県外研修の実施

昭和43年から旧佐久市で実施し、合併後も引き継がれている市独自の教員研修である。本年度で51回目、平成29年度までに派遣された教員は延べ257名にのぼる。市内小中学校の教員を県外の教育施策先進自治体の小中学校に派遣して研修成果を市内の全小中学校に広める取り組みである。研修者は、研修成果を市学事職員会の場などで他校の教職員に直接発表する。市教育委員会では、研修者全員の報告書を取りまとめ、全小中学校に配布して成果の浸透を図っている。

ウ 各種専門研修の開催

(ア) いじめ不登校等担当者会

いじめ・不登校・問題行動など学校生活への不適応の早期発見・早期対応には、日頃から各学校で取り組んでいるが、教員の共通理解とチーム体制づくりには、コーディネーター役が重要であることから、各学校のいじめ防止や不登校対策に係わる担当教員を集めた担当者会を実施している。

各学校での改善事例発表やスクールメンタルアドバイザーからの報告、グループ別研究等を通して、情報共有や自校の実践見直しなどいじめ防止や不登校対策の更なる充実を目指す。

(イ) 特別支援教育研修

障がいのある児童生徒の学習など学校生活を支援する特別支援教育支援員は、近年、任用数が大幅に増加している。一方、学校現場や保護者から支援員に寄せられる期待や要望は、年々多様化・専門化しているため支援員の資質の向上が必要になっている。市教育委員会では、1学期と2学期に市内小中学校に勤務する支援員全員を対象に研修会を実施している。研修会では、支援員が、発達障害等の障害についての知識、実際に支援する際の心構え・子どもとの関係の作り方など幅広い内容を習得できるよう指導を行っている。

また、発達障害には含まれていないものの、適切な対応が求められている場面緘黙症等についても、研修会を通じて理解を深めている。

一方、各学校では特別支援教育のコーディネーターを担う教員を指名し、校務分掌に位置付けている。特別支援教育コーディネーターは、各学校における特別支援教育の推進のため、主に、校内委員会・校内研修の企画・運営、関係諸機関・学校との連絡・調整、保護者からの相談窓口などの役割を担っている。そのため、市教育委員会でも、特別支援教育コーディネーターを対象に研修会を実施している。

さらに、支援が必要と考えられるお子さんへの関わり方などを考える機会として、市民を対象に、特別支援教育説明会を実施している。

(ウ) 外国語活動研修

新学習指導要領の移行措置により、小学校3・4年生において年15時間の外国語活動が実施されることに伴い、市教育委員会では、ALTの配置や学校からの要請により、指導方針に関する相談などの支援を行っており、学校においては校内で指導用資料の活用や英語研修を実施している。

(エ) 情報教育研修

各小中学校で児童生徒にパソコンなどの情報機器の使用法やインターネットに接続する際の注意事項等を正しく指導する必要があるため、教職員も情報機器の取り扱いや情報管理について正確な知識を得ることが必要である。市教育委員会では、専門的な知識と技術を有するICT支援員を各校に派遣して、情報機器の取り扱い

や操作方法、授業での活用法、適切な情報管理のあり方等について支援を進めている。また、多くの小中学校でも独自に情報管理などの研修会を実施している。

(オ) 人権同和教育研修

児童生徒一人ひとりが人権意識をしっかりと身につけ、差別をなくしていこうとする心を育んでいけるよう、指導にあたる教職員に対する様々な人権同和教育に関する研修を行っている。全小中学校では、授業研究会などの校内研修を年数回行い、それぞれ実績報告をし、全小中学校で研修成果の共有を図っている。

また、市内の全教職員を対象とする人権同和教育研修会を実施して、教職員の意識及び指導力の向上を図っている。

(カ) 市内文化施設見学研修

新規採用教員及び佐久市に初めて着任した教職員を中心に、地域を知り、地域への愛着を育むことを目的に実施している。学校運営支援員の案内で、市内の主な施設や史跡を3回に分けて見学し、館長・学芸員等から説明を受けて理解を深め、適切な形で児童・生徒への還元が図られるようにしている。

(5) 国際理解教育

事業方針

より望ましい国際感覚を身につけるためには、自国文化理解の基に、他の国や地域の文化・宗教・価値観等に触れることを通して、それぞれかけがえのない尊さをもつ存在であることを理解し、その上で良好な関係を築いていくコミュニケーション能力を育成することが必要である。このことから、英語に親しむ外国語活動を中心に、あらゆる教科学習、活動を通して国際理解教育を推進している。

ア 外国人英語指導助手の配置

英語によるコミュニケーション能力の育成及び異文化理解の促進を目的として、本市の公立小中学校に外国語指導助手を配置している。小学校の外国語活動及び中学校の英語の授業における指導のほか、学校生活や行事等においても児童生徒と交流し、異文化理解、コミュニケーション能力の向上を図っている。

イ 地域英語コミュニケーション事業

小学校において、新学習指導要領の移行措置に伴い、英語に堪能な地域の方にボランティアとしてご協力をいただき、学校の要望に応じて、3年生から6年生の外国語活動の中で、子どもたちが興味・関心のあるメニューを取り入れながら、体験的に英語に親しむ活動を行っている。

(6) 健康・安全

学校保健安全法に基づき、児童・生徒・教職員が健康を保持し安全・快適な学校生活を送ることができるよう、健康教育を推進していく。また、児童・生徒を取り巻く環境がめまぐるしく変化している中で、児童・生徒教職員の健康管理、健康推進事業はより一層重要なものとなっている。

平成26年度より、健康の保持増進と疾病予防のために、健康相談や保健指導の実施、生活習慣を見直す啓発活動、運動習慣への意識の向上を図る「新しい保健」を実施している。

ア 児童・生徒・教職員健康推進事業

児童・生徒

- ・学校医による検診（全学年対象）
- ・尿検査（全学年対象）
- ・心臓病（心電図）検診（小学校1年・4年、中学校1年対象）
- ・貧血検査・脂質検査（小学校4年・6年、中学校全学年）
- ・血糖値検査（小学校6年、中学校全学年）

教職員

- ・健康づくり事業団による集団一般検診
- ・35歳以上の希望する教職員への胃・大腸集団検診
- ・各学校の学校医の中より健康管理医の委嘱
- ・健康管理医による「長時間勤務による健康障害防止のための面接」の実施

イ 児童生徒の身体発育状況

区分	項目	身長（cm）		体重（kg）	
		男子	女子	男子	女子
小学校	1年	116.1	115.4	21.1	20.8
	2年	122.8	121.4	24.3	23.3
	3年	127.8	126.5	27.2	25.6
	4年	133.6	133.7	31.6	30.0
	5年	138.5	139.1	34.1	33.9
	6年	145.0	146.3	38.4	39.0
中学校	1年	151.9	151.0	44.6	44.3
	2年	159.8	154.4	49.0	47.8
	3年	165.0	156.4	54.2	50.7

ウ 視力の状況

区分	項目	受検者数 (人)	1. 0未満			視力矯正 者 (%)
			視力矯正 者 (人)	視力未矯 正者 (人)	計 (人)	
小学校	男子	2,480	247	535	782	31.5
	女子	2,358	310	669	979	41.5
中学校	男子	1,008	349	316	665	66.0
	女子	792	472	308	780	98.5

エ う歯罹患状況

区分	項目	受検者数 (人)	う歯保有者			う歯罹患 率 (%)	処置完了 者数 (%)	歯周疾患 (人)
			処置完了 者数 (人)	未処置者 (人)	計 (人)			
小学校		5,227	1,135	1,357	2,492	47.7	45.5	198
中学校		2,595	500	238	738	28.4	67.8	134

※統計資料の出典：平成28年度佐久地区児童生徒体位及び疾病異常（小・中学校）

オ 学校災害状況

独立行政法人日本スポーツ振興センター災害給付負傷の種類別状況

平成29年度：日本スポーツ振興センター統計情報

項目	区分	小学校	中学校	計
骨 折		75	71	146
挫 傷・打 撲		109	59	168
靱帯損傷・断裂		18	21	39
切 傷		7	0	7
刺 傷		0	0	0
裂 傷		1	1	2
捻 挫		38	43	81
挫 創		29	6	35
脱臼		8	2	10
擦 過 傷		2	0	2
熱 傷・火 傷		2	1	3
歯 牙 破 折		4	0	4
そ の 他		1	0	1
計		294	204	498

(7) 教育扶助

ア 就学援助制度

事業計画

教育基本法第4条第3項並びに学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる児童及び生徒の保護者に対し学用品、通学用品費、学校給食費、修学旅行費等の費用を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。

(ア) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助者数

平成30年3月31日現在

区 分		準要保護	要保護	計	備 考
小学校	人 員	574人	0人	574人	小学校全児童数
	対全児童	10.90%	0.00%	10.90%	5,266 人
中学校	人 員	323人	1人	324人	中学校全生徒数
	対全児童	12.16%	0.04%	12.20%	2,656 人
計	人 員	897人	1人	898人	
	対全児童	11.32%	0.01%	11.34%	

備考の児童・生徒数はH29.5.1現在

(イ) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助費（平成29年度支給状況）

費目 区分	対象人員	新入学 児童生徒 学用品費	学用品 通学用品 費	学校給食費	修学旅行費	医療費
小学校	574人	93人	574人	569人	99人	50人
中学校	324人	93人	323人	315人	100人	4人

イ 特別支援教育就学奨励費

事業計画

特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学経費の一部補助をすることにより特別支援学級の普及奨励を図る。

(ア) 特別支援学級児童生徒就学奨励費扶助者数 平成30年3月31日現在

区分	児童・生徒数	扶助者数	扶助率
小学校	205	117	57.1%
中学校	87	50	57.5%
計	292	167	57.2%

※パーセントは、小数点第2位四捨五入

(イ) 特別支援学級児童生徒就学奨励費（平成29年度支給状況）

費目 区分	対象 人員	新入学 児童生徒 学用品費	学用品 通学用品 費	学校給食費	修学旅行費
小学校	117人	18人	104人	104人	11人
中学校	50人	16人	45人	48人	11人

(8) 奨学制度

1 貸与型奨学金

ア 貸与条件

- (ア) 佐久市に生活の本拠を有している者の子弟であること。
- (イ) 学業及び資質に優れ、かつ健康であること。
- (ウ) 経済的理由により修学困難と認められること。
- (エ) 独立行政法人日本学生支援機構その他これに類する団体から学資等の貸与を受けていないこと。
- (オ) 授業料が全額免除されていないこと。
- (カ) 親権者に市税等の滞納がないこと。

イ 貸与金額（無利子）

- (ア) 高等学校に在学する者 月額 公立 10,000 円以内、私立 15,000 円以内
- (イ) 高等専門学校に在学する者 月額 15,000 円以内
- (ウ) 大学、短期大学、専門学校に在学する者
月額 国公立 30,000 円以内、私立 40,000 円以内

ウ 免除制度

平成29年度以降、新規で償還が始まる奨学生に対し、償還期間（貸与を受けた期間の2倍の期間）、佐久市に居住し、かつ、就労した場合は償還額の1/3以内を免除する。

エ 貸与実績

平成30年6月30日現在

年度	高校		高等専門学校		専門学校		短期大学		大学		計	
	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規
26	0	0	0	0	9	7	2	1	30	23	41	31
27	0	0	0	0	7	4	2	1	49	18	58	23
28	0	0	0	0	8	7	1	2	57	25	66	34
29	0	0	0	0	9	6	2	3	55	10	66	19
30	0	0	0	0	9	0	2	1	43	9	54	10

2 給付型奨学金

ア 制度概要

漫画原作者の武論尊氏からの寄附金総額4億円を原資として、SAKU コスモス育英基金を設置し、平成30年度から10年間毎年10人を上限に大学に進学する学生に4年間にわたり毎年100万円の奨学金を給付する。

イ 給付条件

- (ア) 申請日以前6ヵ月間市内に住所を有し、在住していること。
- (イ) 高等学校在学中等の学業成績に関わる評点（5段階評価）の平均値が3.5以上であること。
- (ウ) 市町村民税の所得割が非課税の世帯であること。
- (エ) 佐久市貸与型奨学金の貸与を受けていないこと。
- (オ) 申請した翌年度の4月に大学に在学していること。
- (カ) 申請者及び親権者に市税等の滞納がないこと。

8 統計資料

(1) 学校別児童・生徒数の推移

学 校 名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
岩村田小学校	1,089	1,042	1,064	1,073	1,050	1,071	1,038	557	524	522	490
佐久平浅間小学校	-	-	-	-	-	-	-	552	587	662	711
中佐都小学校	306	301	326	334	331	333	345	333	329	326	320
高瀬小学校	223	227	214	208	212	207	206	194	182	176	163
野沢小学校	679	643	647	644	620	599	602	596	579	541	550
泉小学校	326	343	350	353	340	333	317	303	300	289	295
岸野小学校	204	199	195	193	175	177	169	162	167	160	176
中込小学校	500	489	496	459	445	434	420	416	377	369	358
佐久城山小学校	407	409	383	374	361	372	378	372	369	383	386
平根小学校	227	229	213	205	196	208	210	203	212	203	198
東小学校	396	393	399	387	363	368	362	348	332	323	317
田口小学校	295	277	281	259	249	250	256	251	257	259	251
青沼小学校	90	92	84	81	83	82	72	68	66	60	52
切原小学校	119	124	120	115	111	112	106	100	102	107	102
臼田小学校	300	279	260	249	238	217	211	201	188	184	188
浅科小学校	365	366	360	338	324	339	335	324	297	313	320
望月小学校	546	499	492	456	442	429	398	407	391	389	375
本牧小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
布施小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
春日小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
協和小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	6,072	5,912	5,884	5,728	5,540	5,531	5,425	5,387	5,259	5,266	5,252
浅間中学校	741	781	783	793	766	732	733	720	765	760	767
野沢中学校	574	579	573	574	577	600	585	564	553	587	551
中込中学校	426	436	445	451	456	426	404	381	394	381	373
東中学校	309	327	331	334	321	282	265	252	263	256	225
臼田中学校	460	452	467	429	404	390	370	360	344	331	323
浅科中学校	203	183	179	180	184	169	170	166	178	156	145
望月中学校	295	305	276	280	254	266	250	220	205	185	205
計	3,008	3,063	3,054	3,041	2,962	2,865	2,777	2,663	2,702	2,656	2,589
合 計	9,080	8,975	8,938	8,769	8,502	8,396	8,202	8,050	7,961	7,922	7,841
指 数	小学校	100.00	97.36	96.90	94.33	91.24	91.09	89.34	88.72	86.61	86.73
	中学校	100.00	101.83	101.53	101.10	98.47	95.25	92.32	88.53	89.83	88.30
	計	100.00	98.84	98.44	96.57	93.63	92.47	90.33	88.66	87.68	87.25

指数：平成20年度を100とした数値、基準日：平成30年5月1日

平成20年4月1日に本牧、布施、春日、協和小学校が統合し望月小学校が開校

平成27年4月1日に岩村田小学校から分離した佐久平浅間小学校が開校

(2)学級数の推移

学 校 名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
岩 村 田 小 学 校	36 (3)	34 (2)	36 (3)	36 (3)	35 (3)	36 (3)	35 (4)	21 (3)	20 (3)	20 (3)	20 (3)
佐久平浅間小学校	-	-	-	-	-	-	-	21 (2)	22 (2)	25 (4)	27 (4)
中 佐 都 小 学 校	13 (1)	13 (1)	13 (1)	13 (1)	13 (1)	14 (2)	14 (2)	14 (2)	14 (2)	14 (2)	15 (3)
高 瀬 小 学 校	10	10	10 (1)	10 (1)	9 (2)	10 (2)	10 (2)	10 (2)	10 (2)	9 (2)	8 (2)
野 沢 小 学 校	25 (4)	24 (4)	24 (3)	23 (2)	23 (2)	22 (2)	21 (2)	21 (2)	21 (2)	21 (3)	22 (4)
泉 小 学 校	14 (2)	14 (2)	14 (2)	14 (2)	14 (2)	14 (2)	14 (2)	14 (2)	14 (2)	15 (3)	15 (3)
岸 野 小 学 校	9 (1)	8 (1)	9 (2)	9 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)
中 込 小 学 校	20 (2)	20 (2)	19 (2)	18 (2)	17 (2)	16 (2)	15 (2)	15 (2)	14 (2)	14 (2)	14 (2)
佐久城山小学校	16 (2)	16 (2)	15 (2)	15 (2)	14 (2)	14 (2)	14 (2)	14 (2)	14 (2)	16 (4)	16 (4)
平 根 小 学 校	12 (2)	12 (2)	11 (2)	10 (2)	9 (2)	10 (2)	10 (2)	10 (2)	9 (1)	10 (2)	12 (3)
東 小 学 校	17 (2)	16 (2)	17 (3)	16 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	16 (4)	15 (3)	16 (4)
田 口 小 学 校	13 (1)	13 (1)	13 (1)	13 (1)	13 (1)	12 (1)	12 (1)	12 (1)	12 (1)	13 (1)	13 (2)
青 沼 小 学 校	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
切 原 小 学 校	6	7 (1)	7 (1)	7 (1)	7 (1)	7 (1)	7 (1)	7 (1)	7 (1)	7 (1)	7 (1)
臼 田 小 学 校	15 (3)	14 (2)	13 (2)	13 (2)	12 (2)	11 (2)	10 (2)	9 (2)	9 (2)	8 (1)	10 (2)
浅 科 小 学 校	15 (2)	15 (2)	15 (2)	15 (2)	15 (2)	15 (2)	15 (2)	15 (2)	14 (2)	14 (2)	14 (2)
望 月 小 学 校	21 (2)	19 (2)	19 (2)	18 (2)	17 (2)	17 (2)	16 (2)	16 (2)	15 (2)	16 (3)	17 (4)
本 牧 小 学 校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
布 施 小 学 校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
春 日 小 学 校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
協 和 小 学 校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	248 (27)	241 (26)	241 (29)	236 (28)	227 (29)	227 (30)	222 (31)	228 (32)	225 (32)	231 (38)	240 (45)
浅 間 中 学 校	23 (2)	23 (2)	23 (2)	24 (2)	26 (3)	24 (2)	24 (2)	25 (3)	26 (4)	27 (4)	25 (2)
野 沢 中 学 校	17 (2)	18 (3)	18 (3)	19 (3)	20 (3)	21 (3)	20 (3)	20 (3)	20 (3)	22 (4)	20 (3)
中 込 中 学 校	14 (2)	14 (2)	14 (2)	15 (2)	16 (2)	16 (2)	15 (2)	15 (3)	14 (2)	14 (2)	14 (2)
東 中 学 校	10 (1)	10 (1)	11 (2)	11 (2)	12 (2)	11 (2)	11 (2)	10 (2)	10 (2)	10 (2)	9 (2)
臼 田 中 学 校	16 (4)	16 (4)	17 (4)	16 (4)	15 (3)	14 (2)	14 (2)	14 (2)	13 (2)	13 (2)	12 (2)
浅 科 中 学 校	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)
望 月 中 学 校	11 (2)	11 (2)	10 (2)	11 (2)	11 (2)	11 (2)	11 (2)	10 (2)	10 (2)	9 (2)	9 (2)
計	99 (15)	100 (16)	101 (17)	104 (17)	108 (17)	105 (15)	103 (15)	102 (17)	101 (17)	103 (18)	97 (15)
合 計	347 (42)	341 (42)	342 (46)	340 (45)	335 (46)	332 (45)	325 (46)	330 (49)	326 (49)	334 (56)	337 (60)

注：（ ） 書きは特別支援学級で内数

平成 3 0 年度

小学校 1 7 校・中学校 7 校の

教 育 目 標

岩村田小学校

所在地 〒385-0022 佐久市岩村田2641-2

電話 67-3309 FAX 68-9765

E-mail iwamurada@sakushi.ed.jp



旧体育館で行う最後の音楽会。
保護者の方で満員のギャラリー席。

外側の円（青色）は素直な心をもった人間。三角はつとめを進んではたす人。白い円は内と外の円に接し、「岩」と「小」をつないでみんな仲良く手を取り合う様子。「小」は平和を象徴するハトの図案化。中心の丸（赤色）は太陽のように健全で生命力にあふれた人間を表している。（昭和33年制定）

1 学校教育目標

ひとりになれる ひとつになれる

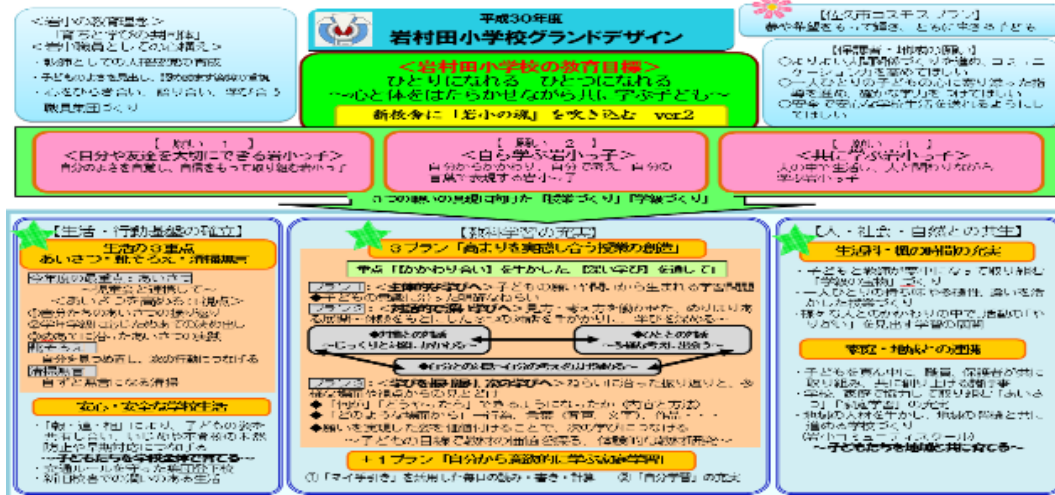
◇ひとりになれる（自立）

「場に応じて考え、自分の力を発揮できる子ども」

◇ひとつになれる（共生）

「力を結集すべき場・すべき時に主体的に関わり、活動を高めようとする子ども」

2 本年度の重点目標



3 特色ある教育活動

- (1) 3プラン「授業のねらいの明確化」「授業のめりはり」「授業のねらい達成の見とどけ」+1プラン
「マイ手引きを活用した自分学習の充実」を中核とした教科学習の充実
- (2) 子どもと教師が「専心」できる生活科・楓の時間（総合）の実践
- (3) 佐久平総合技術高校、地域学習ボランティア、岩村田商店街等、地域の教育力の積極的な活用
- (4) 「あいさつ」「靴そろえ」「清掃無言」を合言葉とした基本的な生活習慣の定着

4 施設等の特徴

明治5年、佐久の第一番学校として龍雲寺に開校された本校は、今年で開校146年を数える。明治22年に天神町に校舎を移したが、昭和47年、現在の校舎のある上の城跡に移転した。当時、ここは野球場であり、バックネット裏スタンド席をそのまま取り込んだ体育館には、当時の面影を見ることができたが、校舎改築に伴い、旧体育館もその役目を終えた。

校舎の老朽化、1000人を超える大規模校解消のため、平成27年4月に岩村田小と佐久平浅間小に分離し、新校舎の建設が進んだ。平成28年11月には普通教室棟が完成し、児童の学校生活の拠点は新校舎に移った。本年度は、2月下旬に管理特別教室棟、体育館等の完成をみた。平成31年中にはすべての改築事業が終了する予定である。



自分たちで育てた作物を岩村田商店街で販売、自分だけの一人一鉢栽培など、体験を通しての学びを大切にしている。

佐久平浅間小学校

所在地 〒385-0021 佐久市長土呂1717

電話 66-1717 FAX 67-7505

E-mail sakudairaasama@sakushi.ed.jp



「コスモスとバルーンのまち」佐久市。浅間山のよう
に雄大で志高く、子ども達が健やかに育ち、優しく
思いやりのある人材に育ってほしいことを願う。

「小」の文字は岩村田小学校からの分離新設校であ
るため、岩村田小学校の校章にある「小」を配置し、
両小学校のつながりを校章に生かした。また、「小」
の字の緑色は子ども達が若葉のように成長していく様
子を表わしている。バルーンの外側の青は佐久市が晴
天率が高く青空が広がっていることをイメージする。

1 学校教育目標

ひとりになれる ひとつになれる ～みんなの中でわたしになる～

めざす子どもの姿 ①心と体をはたらかせながら共に学ぶ子ども
②寛容の心を持ち誠実で笑顔あふれる子ども

2 本年度の重点目標

取り組みの重点 1 未来を切り拓く資質・能力（学力）を伸ばす学校づくりに向けて

- ① 問題の発見、解決の道筋を重視した「主体的・対話的で、深い学び」のある授業で伸ばす学習意欲や活用する力
- ② 言語活動の重視
 - ・言葉や図表で考えて書く活動の充実
 - ・「アイデア交換の時間」による話し合い活動の充実
- ③ コミュニケーションツールとしての英語や外国語活動の研究実施

取り組みの重点 2 将来の夢や憧れを育む「知恵の木科」の推進に向けて

- ① 子どもの心に夢の種を蒔く「お仕事ゼミ」の充実
- ② 友と共に地域の自然や文化、社会との関わりを深める「学級の宝」の活動の工夫と充実

取り組みの重点 3 「寛容」、「正直」、「笑顔」佐久平浅間小プライドの育成に向けて

- ① 「えがお宣言」の遵守 えがおで元気にハイタッチ挨拶
- ② 自治活動や学級の宝の時間を通して、他者や地域の役に立っている自分の発見
- ③ 笑顔、歌声、花いっぱい学校に
 - ・ハーモニーロードに広がる「歌の交流会」
 - ・参観日の歌のおもてなし
 - ・花いっぱいの美しい学校に

3 特色ある教育活動

- (1) 自ら学び、高まりを実感する授業構想
「学習問題」「見通し（学習課題）」「アイデア交換」「振り返り（ノートの工夫と充実）」をベーシックの授業スタイルとし、すべての学級で実践
- (2) 子どもと教師が「専心」できる「学級の宝」の推進
地域の各種団体との交流や動物の飼育、植物の栽培などを通して、問題解決型の学びを実践
- (3) 全校児童の心に夢の種を蒔く「お仕事ゼミ」
地域の33社の企業や事業所を迎え、キャリア教育の実践



お仕事ゼミの様子

4 施設等の特徴



広い校庭で行われた運動会「組体操」

平成27年4月、岩村田小学校の過大規模校解消のため、分離新設された本校は、岩村田小学校の教育理念を踏襲しつつ、新しい学校として、新たな一歩を踏み出した。北に浅間山、南に八ヶ岳、東に平尾山・荒船山、西に北アルプスを眺望する佐久平の中心に位置し、開放感ある学校となっている。校舎は、3階建て、南北2棟の配置となっている。内部は普通教室前に4mの広いワークスペースを備え、木材をふんだんに使った、明るい校舎である。児童数に合わせた広い校庭と体育館、集会活動などに使える多目的ホールを備えている。

中 佐 都 小 学 校

所在地 〒385-0025 佐久市塚原808番地

電 話 67-3418 FAX 67-3438

校 章

E-mail nakasato@sakushi.ed.jp



周囲に中佐都の「中」の文字と勉学を表すペンを配し、地の緑色に稲穂を添えて肥沃な米作地帯にあることを象徴させ、中央に小学校の「小」の文字を据えている。



学区に新幹線と高速道路が走り、新しいものと古い歴史が混在する中佐都

1 学校教育目標

『かがやかに』中佐都小

「な」かよく 「か」しこく 「さ」いごまで ふるさとと「と」もに

2 本年度の重点目標

(1) 友を思いやり、ともに高め合う仲間づくり ～なかよく～

- ① 明るくあいさつができる。
- ② 規範意識を育み、それを基盤とした人権教育、道徳教育を充実させる。

(2) 「分かる授業の創造」と「体力向上」 ～かしこく～

- ① 基礎的・基本的な学力と体力の向上を図り、子ども達を多面的にとらえ、伸びようとする力を一層伸ばすことができるようにする。
- ② 自分の考えや思いを、はっきり相手に伝えられるように、順序立てた表現が身につけられるようにする。
- ③ 体育学習や全校運動の中に、楽しみながら体力向上につながる運動を取り入れる。
- ④ 困り感のある児童・保護者との教育相談、就学支援、個別指導等の推進。

(3) 何ごとにも粘り強く本気で取り組む子ども達 ～さいごまで～

- ① 学校生活や毎日の学習に、めあてを持って粘り強くのぞみ達成した時のよさを感じ得できるようにする。
- ② しじみ清掃・整理整頓ができる。

(4) 中佐都を愛する心 ～ふるさととともに～

- ① 地域の方々との活動や交流を積極的に行う。
- ② 地域・家庭と連携したCSの推進。



地域の皆さまから学ぶ「わら細工講習会」

3 特色ある教育活動

<分かる授業・魅力ある教育課程・楽しい学校づくりに貢献する「中佐都小CS応援団」(コミュニティスクール)>

◎地域の教育力で自己肯定感、人間関係力を育む。

- ・学習支援ボランティアによる授業支援で子どもが生き生き。
- ・読み聞かせ・語りボランティアによる豊かな情緒の育み。
- ・育成会、地域講師による健全育成、伝統行事の継承。



健全育成会主催の伝統的行事「どろんこ祭」

4 施設等の特徴

- ワークスペースのある各教室
- プラネタリウムを備えた展望室
- マラソンコース
- 学校裏山の「カッテ石」(学習や遊びで活用)
- 中佐都郷土館(3階資料室)

高瀬小学校

所在地 〒385-0016 佐久市鳴瀬 1350-1

電話 67-2459 FAX 67-2482

E-mail takase@sakushi.ed.jp



<校章の由来>

養蚕を示す繭の形と稲作を表す米の形で「小」をつくり、豊かな高瀬の地を、またカタカナのタカセによって千曲川・湯川・滑津川を表現する。さらに、外円の8弁の図柄によって高瀬学区の8地区（今井・三河田・白山・横和・大和田・南岩尾・北岩尾・落合）を表現している。



1 学校教育目標



「かしこく つよく うつくしく」

「かしこく」学ぶ楽しさ・乗り越える楽しさを見いだす子ども（知性）

「つよく」ねばり強くやり抜くたくましい子ども（意欲）

「うつくしく」心身共に清々とした子ども（感性）

2 本年度の重点目標

(1) 習得・学び合い 生涯にわたって「生きて働く知識・技能の習得」

(2) 豊かさ・たくましさ 未知の状況に対応「思考力・判断力・表現力等の育成」

(3) ともに生きる 人生・社会に生かす「学びに向かう力・人間性の涵養」

3 特色ある教育活動

- (1) 「児童一人一人につけたい力」を明確にし、それが達成できる学習の創造。
 - ・児童一人一人の現状を把握した授業のユニバーサルデザイン化
 - ・体験学習の推進（交流活動、調査・体験活動など人との出会いから学ぶ学習の充実）
 - ・児童の意欲を大事にした活動を展開する「まなびの時間」
- (2) 子どもが進んで読みたくなる読書活動の充実
 - ・日課に位置づけた朝読書「本ごはん」の時間、親子読書の日の設定
 - ・職員、保護者、地域ボランティア等による読み聞かせ
 - ・教科等とリンクした読書活動、読書旬間の充実（児童会の活動・親子読書の充実）
- (3) 子ども理解・個別指導の充実
 - ・日課に位置づけた放課後「ゆとりの時間」での子どもと教師のふれあい、個別指導、運動遊びの奨励
- (4) 地域との共育をめざし、地域のひと・もの・ことと出会う「ふるさとこども学習」
 - ・地域の方を講師に、ふるさと高瀬の地域や文化にふれ、地域の人々との関わりの中に学ぶ

4 施設等の特徴

- (1) 雨が上がればすぐに使用できる水はけのよいグラウンド
- (2) 多目的の野外ステージ（学年、学級や管楽器クラブの発表、コンサート、遊びなどに利用）
- (3) 学区内にチョウゲンボウの飛来地
- (4) 学区内に「千曲川交流スポーツ広場」（佐久バルーンフェスティバル・佐久鯉まつり会場）

野 沢 小 学 校

所在地 〒385-0043 長野県佐久市取出町472-3

電話 0267-62-0109 FAX 0267-62-5198

E-mail nozawasho@sakushi.ed.jp



統合した際に、校歌と校章を募集し新しくした。新しい校章は校歌とも関連している。2つの三角形は、校歌「浅間蓼科仰ぎつつ」の浅間山と蓼科山を表し、また、「水面におどる鯉のように」の鯉の尾鰭の形でもある。校歌の最後に、「のびゆけ野沢小学校」とあるが、未来に向かってのびてゆく翼でもある。真ん中の桜の花は、昔から本校にある魯桃桜を表しこの花のように寒さや苦しさに負けない強い心と魯桃桜のようなやさしく美しい心の持ち主になってほしいとの願いでデザインされた。



1 学校教育目標

やさしく かしくく たくましく ～思いやりのある優しい子 気づき考えるかしこい子 粘り強くやりぬくたくましい子～

2 本年度の重点目標

★重点目標：なかまとの関わり合いによる「学び」の深まり

- ①心の醸成プラン「自分」も「周囲」も大切にできる子どもを育てます。
 - ・読書活動の充実
 - ・集会活動の充実
 - ・福祉体験・ボランティア活動の導入
 - ・道徳教育の充実
 - ・野沢小の宝「歌声」「音楽」
 - ・学級づくり
- ②学力向上プラン：基礎学力と思考力・表現力のある子どもを育てます。
 - ・「学習の約束」の徹底
 - ・授業のユニバーサルデザイン化
 - ・主体的、対話的で深い学びの追究
 - ・学力テストの結果分析を活かした授業
 - ・全校研究による授業改善
 - ・家庭学習の充実
- ③体力向上プラン：体力のある健康な子どもを育てます。
 - ・体力づくりの継続実施
 - ・体育学習の充実
 - ・外遊びの時間の確保
 - ・安全指導の徹底
- ④教師の専門性の向上：子どもを中心に据えた教育実践と職員研修の充実
- ⑤学校・家庭・地域の三者によるネットワーク：情報発信と家庭・地域との連携
 - ・野沢小コミュニティスクール
 - ・学校からの情報発信
 - ・「子どもを守る」安全指導の充実

野沢の鐘



3 特色ある教育活動

- * 児童理解を基盤としたどの子も「楽しい」「わかった」を実感できる授業づくり
 - －「わかった」と感じる授業構想の練り上げ、「楽しいな」と感じる授業場面の工夫、発表場面で「うれしいな」と感じる認め合える集団づくり、「やった」と感じる学習カード等による個々の学びの評価
- * 1時間の授業に言語活動（書く・話す・聞く）を位置づけた思考・表現の育成
- * 週3回の朝読書、読み聞かせの充実
- * 「学年一学級」を合言葉にした交換授業の実施と学年職員全員による深い児童理解
- * 体験活動を中心とした教育実践
 - －価値ある事柄にふれさせ意欲を引き出す取り組み、地域の人・もの・こととの交流活動
- * 道徳の時間の充実－心のふりかえり、立ち止まって考える子の育成
- * 人権教育・特別支援教育を基盤とした一人一人への支援の充実
 - －生活記録等を通した子どもとの対話、子どもの人間関係の確かな把握、人間関係づくりに視点を置いた学級経営等の充実、個別の支援計画の充実、複数の教師によるチーム支援体制の充実
- * 特色ある学校行事
 - －いなごとり集会、緑の少年団活動（大沢地区児童）、毎学期の「相談旬間」の実施
- * 自己に問いかけ、自己と向き合う6学年児童による朝清掃活動
- * PTA活動－「地域ふれあい祭り」、保護者・PTAによる「本の読み聞かせ活動」
- * 地域住民の自主参加による子どもたちの「安全見守り隊」の活動
- * 学校だより「や・か・た」の発行（地域、保護者への月1回の発信）
- * ぴんころ地蔵のある成田山参道で行われる山門市、地域の敬老会への参加

4 施設等の特徴

- * 野沢の鐘－子どもたちや地域の方々が愛着を持つ野沢小学校のシンボル、大切な行事に響く野沢の鐘
- * 県民グラウンドに隣接する豊かな学習環境や自然環境

泉 小 学 校

所在地 〒385-0055 佐久市三塚273-1

電 話 62-0394 FAX 62-7048

E-mail izumi@sakushi.ed.jp



校章の由来

二つの楕円と四本のペンを組み合わせ、中央に泉をあしらったもの。

楕円は円満・平和と四つの通学区、前山 桜井 泉 三塚 を表しています。



1 学校教育目標

清く・正しく・たくましく

- ① 素直で明るく、優しい心を持った子 (情)
- ② よく考えて正しく判断し、行動できる子 (知)
- ③ 丈夫な体と粘り強い心を持った子 (意) (体)

平成30年度 合言葉

笑顔であいさつ、すすんで学ぶ、泉の子

2 本年度の重点目標

めざす子ども像

しっかり聞いて、はっきり話す

自分で考えて、行動する

すすんで学び、力をのばす



学力向上

- 学習内容の確実な定着を図る
- 「前のめりに学ぶ」授業を創造

児童理解と心の居場所づくり

- 安心して学校・学級生活を送れるように
- いじめや不登校を生まない学校に

落ち着いた学校・学級づくり

- 児童が安心して過ごせるように、
落ち着いた雰囲気のある学校・学級にする

3 特色ある教育活動

- わかる授業
 - ・ 週に4日のドリルの時間を設け、復習・定着の機会を増やし、わかる・できるを増やす。
 - ・ 学習支援ボランティア「はなまる泉」による授業のサポートをしていただいている。
- 特色ある教育課程
 - ・ 3・4年で取り組む、佐久鯉をきっかけとした地域を知る活動。
 - ・ 「おはなしの泉」による金曜日の語り・読み聞かせのように地域の支援の充実。
 - ・ 市内小学校唯一の春に運動会、秋に音楽会を実施。
- 楽しい学校
 - ・ 兄弟学年を設定し、異年齢で班を作り、清掃活動や読書活動などに取り組む伝統。
 - ・ 児童会で工夫し、全校が楽しめるよう企画する全校集会の実施。

4 施設等の特徴

○ 本校には、昭和2年にアメリカのギューリック博士らから贈られ、県内に28体しか残っていない「青い目の人形」メアリーがいます。平成3年にギューリック博士のお孫さんからメアリーの妹としてアリスを贈っていただきました。2人の「青い目の人形」は、いずみっ子ホールで子ども達の成長を見守っています。



岸野小学校

所在地 〒385-0061 佐久市伴野1725

電 話 62-0384 FAX 62-0542

E-mail kishino@sakushi.ed.jp



旧佐久市のマークに3本の若竹の葉を添えて、中央に「岸野」の文字をデザインしたものである。



1 学校教育目標

～わか竹の伸びゆくごとく子どもらよ 眞すぐにのばせ身をたましひを～

- 節をつくって まっすぐに伸びよう
 - しっかり根を張って 支え合って伸びよう
 - しなやかに耐える力を養い たくましく伸びよう
- 自ら考え 支えあって たくましく生きる子



2 本年度の重点目標

かしこく やさしく たくましく

- (1) 自ら考え、仲間と学び合い、主体的に学習する
- (2) 明るく元気にあいさつをし、自分も友だちも大切にすること
- (3) めあてをもって活動し、やり遂げるよさを味わう

3 特色ある教育活動

- (1) 一人ひとりが安心して学習できる環境づくりを基盤とした学び合う授業
- (2) ねらいや振り返りの観点を明確にした「岸野式学習」に取り組み主体的な学習の推進
- (3) なかよし集会・読書・清掃・姉妹学級との交流活動などの異学年交流
- (4) 学習支援ボランティアによる算数等の個別支援や放課後学習を水曜日に実施
- (5) コスモス祭や敬老会などへの参加による地域との交流

4 施設等の特徴

- (1) 校外にマラソンコースを設け、朝マラソンやマラソン大会を実施している。
コース整備には地域の方の協力も得ている。
- (2) 広いオープンスペースを使い、グループ学習や異学年の交流を進めている。
- (3) 地域総合型スポーツクラブとしての「岸野スポーツクラブ」があり、子どもたちは様々なスポーツに親しんでいる。
- (4) 学区にある 虚空蔵山に、社会科学習やクラブ活動等で登る機会を設けている。

中込小学校

所在地 〒385-0051 佐久市中込491

電話 62-0065 FAX 62-6212

E-mail nakagomisho@sakushi.ed.jp



旧中込学校の開校と共に植えられた藤を表す。
学問追究・進取の精神を、藤の花のつるのように
長く受け継ぎ、文化の花の香りを伝えて欲しいと
の意が込められている。



1 学校教育目標

「かしこく ゆかしく たくましく」

願う子ども像 よく考える子ども（知）
思いやりのある子ども（徳）
ねばり強い子ども（体）

2 本年度の重点目標

「聴いて 考えて 動ける子ども」

- 子どもが主体となって学ぶための授業づくり
- 基礎的な学力の充実
- 児童理解向上のための校内外研修
- 目・耳・心を向けて、認め合い助け合える交流活動
- 挨拶・返事・友の呼称を通した人とのつながり
- 無言清掃への取り組み
- 自分の目標および集団の目標の実現に向けた取り組み
- 健全な心と体づくりの活動

3 特色ある教育活動

- 地域講師から学ぶ
「中込っこタイム」
- 基礎的な学力の充実を図る
ドリルタイム**「成知の時間」**
- 体力向上と異学年交流を図る
「中込サーキット」
- 姉妹学年の交流を深める
「なかよしタイム」「なかよし給食」
- 黙想で始まり、振り返りで終わる
「無言清掃」
- 児童一人一人と向き合うための
「教育相談週間」



中込っこタイム「インラインスケート」

4 施設等の特徴

- 校舎周辺に梅、栗、栃、どんぐりなど実のなる木が多く、「生活科」や「総合的な学習の時間」の学習材として活用されている。
- 本校の前身となる旧中込学校が近くにあり、開校記念行事への参加や清掃活動などを通して、本校の歴史に触れる場を設けている。
- 近くの成知公園では、子どもたちが学年を越え、関わり合いながら遊ぶ姿が見られる。

佐久城山小学校

所在地 〒385-0034 佐久市平賀5325-1

電話0267-62-0356

FAX0267-62-0118

E-mail: joyama@sakushi.ed.jp



コスモスの花の校章には「宇宙のように壮大な望みをかけ、調和のとれた学校を築こう」「誰にも負けないたくましさ 清純な心を育てよう」という願いが込められている。



1 学校教育目標

「自分の手足を動かし、頭を働かせ 心で感じとる」

手足を動かし ○全ての学習や学校生活で十分に体を使って動かす。○自分で体験し、共に学び合う。

頭を働かせ ○自分らしい考え方や、やり方ができる。○一人一人が自分を出し合って共に学び合う。

心で感じとる ○五感を使って自分らしい感じ方ができる。○自分が感じたことを自分らしく表せる。

2 本年度の重点目標

手足を動かし、友と考え合って、自らを表現できる子どもたち

(1) 地域と連携し、自ら動いて力を付ける学校

(2) 諸々を受け止めて、ともに学ぶ楽しい学校

(3) 心温かい笑顔や歌声いっぱいの学校

以上三点を本年度の重点とし、その具現に向けて取り組んでいる。

3 特色ある教育活動

○ 学力向上に向けた取り組み

- ・ 伝えあい・学びあいを大切にした授業作り
- ・ ドリルの時間などを活用した基礎・基本の定着
- ・ 学習ボランティアの皆さんによる「学びと学習」

○ 安心できる人間関係づくり

- ・ 全員参加できるやさしい学級活動
- ・ 子どもと向き合う時間の確保 児童相談日の実施

○ 豊かな自然と人に学ぶ学習

- ・ 地域の人から学ぶ菜の花見学、野菜栽培、コロケバーガー作り、桜草見学、稲作、竹太鼓 等
- ・ 自然環境を生かした滑津川遊び、地域探検
- ・ 読書ボランティアの皆さんによる全校読み聞かせ

○ 地域との連携による健康・安全・安心のための取り組み

- ・ 家庭、地域と共に進める食育・眠育・情報教育
- ・ 全校での体力づくり（城山サーキット）
- ・ 見守り隊の皆さんによる登下校時の安全の確保



3年生 ジャがいも栽培



6年生 愛の郷交流学習

4 施設等の特徴

本校は、昭和56年、旧平賀小学校と内山小学校が統合され誕生した。北に浅間山、南に八ヶ岳・蓼科山の連邦を仰ぎ、東に山岳信仰の荒船山をひかえた山紫水明の地に位置している。学区内には、内山の奇岩怪石、コスモス街道、サクラソウ群生地や菜の花畑があり、季節には多くの観光客でにぎわっている。

平 根 小 学 校

所在地: 〒385-0002 佐久市上平尾936

電話 67-3539 FAX 67-9085

E-mail hirane@sakushi.ed.jp



近くの平尾富士山にちなみ、富士山のような高い志を持つ子どもの育成を期して昭和40年に制定



卒業までに何回も平尾山へ

1 学校教育目標

聴く・明るく・たくましく

すべての子どもが主体的に学び、心通わせながら ともに生きる力を育む学校

2 本年度の重点目標

ひ・・・「ひたむき」に勉強し

ら・・・自分「ら」しさを大切に友だちのよさをみとめながら

ね・・・「ねばり」強く活動する

「ひらね」の子

①分かる授業 ～主体的・対話的で深い学びの実践～

②楽しい学校 ～健やかな心と身体・他学年とのふれあい～

③地域と結ぶ ～地域を学ぶ・地域で学ぶ・地域に学ぶ～

3 特色ある教育活動

【分かる授業】

- ◇授業改善に向けて
 - ・主体的な学び
 - ・対話的な学び
 - ・深い学び
- ◇検査結果を生かす
 - ・諸検査結果の分析と改善
- ◇ドリル学習の充実
- ◇校内研修（OJT）の実施
- ◇同僚間における学び合い
- ◇新学習指導要領への確かな移行・実施

【楽しい学校】

- ◇健やかな心と身体
 - ・マラソン・外遊び
 - ・本に親しむ
 - ・”しじみ”清掃
 - ・活動量計による調査実施
- ◇他学年とのふれあい
 - ・縦割清掃・なかよし集会
 - ・姉妹学年給食・スマイル
- ◇あいさつ運動
 - ・児童会による朝の活動

【地域と結ぶ】

- ◇明るいあいさつ
 - ・あいさつ運動（校内・地域）
- ◇地域を学ぶ・地域で学ぶ
 - ・地域に学ぶ
 - ・総合的な学習の時間の充実
 - ・平尾山もみじマラソン
 - ・平尾山全校登山遠足
 - ・平根水力発電所
- ◇平根っ子応援隊の取り組み
 - ・信州型コミュニティスクール

4 施設等の特徴

- 保護者の学習参加・・・朝の読み聞かせ、米づくり
- 学校で毎日使う電気は平根水力発電所からの送電
- 平尾山もみじ祭りへの参加・学童マラソン大会
- 徒歩で行かれる地元のパラダでのスキー教室を1年生から実施
- 地域行事に積極的に参加・・・敬老会・運動会・もみじ祭り



東小学校

所在地 〒385-0006 佐久市志賀6128-1

電話 68-6829 FAX 68-6931

E-mail higashisho@sakushi.ed.jp



平成3年制定。市花コスモスと校名を中央に配し、周りをかつての湖を表す赤い円が囲む。右上の青は香坂川、下が志賀川。合流して西に流れ、また、青色全体でeastのEを、さらに宇宙を行く宇宙船の形を模している



1 学校教育目標

「豊かな心をもち、よく考え、自分の力で生きぬく子ども」

- 自分や他の人を大切にする子（つながろう）
- 自分の考えをもち学び続ける子（考えよう）
- 健やかでがんばりのきく子（きたえよう）

2 本年度の重点目標

- 「人と人のところをつなぐ挨拶やあったか言葉を広げよう」（つながろう）
家族、友だち、先生方、地域の方、お客様に自分から進んであいさつができる子。
- 「読み、書き、聞いて、考えよう」（考えよう）
学び方の基本モデル「聞き方あいうえお」話し方の基本「東っ子の学び方」
ペアやグループ、異年齢集団の学習活動の充実。ノートや学習カードの活用。
- 「めあてをもって黙々そうじをし、心をきたえよう」（きたえよう）
そうじに向かう自分の心作りとめあてを確認するための「黙想の時間」
一心に掃除に取り組む姿。

3 特色ある教育活動

旧志賀小と旧三井小が統合した東小創立時の建学の精神や地域の方の願いを大切にする～地域の方々との交流、史跡の見学、栽培・飼育活動などの体験を通して学ぶ～

【各学年の活動例】

- 1 学年 アサガオの栽培、来入児との交流
- 2 学年 ヤギとのふれあい、大豆作り、乗り物遠足
- 3 学年 地域探検、関伽流山登山、シルバーランドみついの交流
- 4 学年 野菜作り、東公民館との交流、長野社会見学
- 5 学年 稲作学習（田植え、稲刈り、脱穀、収穫祭）、わら細工
蓼科山登山・キャンプ。富士重工社会見学
- 6 学年 児童会、花いっぱいプロジェクト、修学旅行（東京）

【地域ボランティアとの連携】

見守り隊、交通安全教室、読み聞かせ、花壇作り 他

4 施設等の特徴

(1) 学校校舎内

- ①各学年にある広いワークスペース ②多目的ルーム

(2) 学校敷地内

- ①グラウンドの築山 ②グラウンド周辺のマラソンコース

(3) 学校近隣の施設等

- ①旧志賀小学校 ②志賀の神津家 ③雲興寺、安養寺、明泉寺 ④つついの池
- ⑤権現山 ⑥関伽流山・小倉観音堂 ⑦大塚古墳 ⑧茨城牧場長野支場
- ⑨志賀川・香坂川 ⑩シルバーランドみつい ⑪こまば学園 ⑫香坂新田の碑



佐久市立田口小学校

所在地 佐久市田口3000-1

電話 82-2331 FAX 82-2408

E-mail taguchi@sakushi.ed.jp



明治末に制定。設計図をアレンジした五稜郭の中に、城内に咲く約500本の桜の花弁を配置。中央の「小」の文字は、お堀にかけられた3カ所の橋のアーチを思わせる左右対称のデザイン。



1 学校教育目標

「五稜郭の 輝く 子ども」
～明日も きたくなる 楽しい 田口小学校～

- ・かしこい人（智）
- ・思いやりのある人（徳）
- ・ねばり強い人（体）
- ・ふるさと田口に学ぶ人（情）



2 本年度の重点目標

「授業改善と学力の向上」

◆日々の授業改善◆学習ルールの確立◆考える力・表現力の育成◆学ぶ意欲

「豊かな人間関係の育成」

◆一人一人が安心して生活できる学級集団作り◆あいさつ指導

「最後までやり抜く子の育成」

◆めあてを持って最後までやり抜く力を育てる（「しじみ清掃」の徹底）

「ふるさとを愛し、ふるさとから学ぶ子の育成」

◆五稜郭を通した学び（クリーン大作戦）◆地域の良さを知る体験学習

3 特色ある教育活動

○日々の授業改善を目指した重点研究会の運営や職員研修におけるOJTの活用

○「気づき 考え 実行する」（JRC具体目標）に基づいた活動

- ・防災教育やVS活動
- ・JRC加盟校との交流
- ・児童会が主体となって進めるあいさつ運動や交流活動

○たくましい心を育てる運動会や田口峠マラソン

○ふるさとの姿を身近に感じ学び合うふるさと学習（五稜郭学習）

○健康の保持増進を進める健康教育の充実

○田口っ子応援団（信州型CS）による支援

- ・田口っ子見守り隊
- ・クラブ活動支援
- ・ごりよう読み聞かせ
- ・体験活動支援（米、りんご、豆腐等）
- ・行事支援（遠足、マラソン等） 等

4 施設等の特徴

国の史跡「五稜郭」の中に位置する本校は、「お台所」を始めとして、敷地全体が子どもたちの歴史学習の場となっている。また、近隣の「杣形」「新海三社神社」など数々の文化財や、隣接する「であいの館」、五稜郭公園内の「川村吾蔵記念館」等『歴史と伝統の中で育つ子ども』の育成に恵まれた環境となっている。

青沼小学校

所在地 〒387-0621 佐久市入澤152番地1

電話 82-2181 FAX 82-0304

E-mail aonuma@sakushi.ed.jp



上下左右に4本の剣と、対角に4本のペンを組み合わせ、8方位の中心に青沼の青が据えてある。明治年間にできたと伝えられるが、『文武両道に、秀でる』という人々の願いが、今も脈々と息づいている。



1 学校教育目標

かしこく やさしく たくましく

[めざす子ども像]

- (1) 感じ・考え、判断し、意欲的に学び合い、行う子ども（かしこく）
- (2) 友だち・学校・郷土や自然を愛し、大切に思いやりのある子ども（やさしく）
- (3) 最後までねばり強くがんばりぬく子ども（たくましく）
- (4) 健康・安全に心がけ、心身をきたえる子ども（たくましく）

2 本年度の重点目標

- | | | |
|-----------------------|----------------------|---------------|
| (1) 授業の充実 | (2) 心と体を鍛える | (3) 家庭との連携 |
| ○解決の見通しがもてる授業（ねらい） | ○自他の良さを認め合う | ○学習習慣の定着 |
| ○一人で考える、友だちと考える（めりはり） | ○安心できる居場所作り | ○自主学习への取り組み |
| ○「振り返り」を黒板に明示（見とどけ） | ○良い姿勢 | ○新津靖文庫の活用 |
| | ○時間を守る | ○家庭読書 |
| | ○先生や友だちにあいさつ、返事、語先後礼 | ○早寝、早起き、朝ご飯 |
| | ○時間いっぱい取り組む清掃 | ○履き物をそろえる |
| | | ○家族や地域の方にあいさつ |

3 特色ある教育活動

【地域の人、もの、ことと関わる体験活動】

- (1) 交流活動（臼田地区4小学校の交流・保育園・あおぬまの家との交流）
- (2) 地域の講師に学ぶ活動（青沼共有学習会・ドッジボール・クラブ活動・栽培活動）
- (3) 青沼の自然を生かした活動（谷川での活動・田んぼリンク）

4 施設等の特徴



青沼郷土資料館
地域の歴史や暮らしを学ぶ



新津靖文庫（図書館内）
読書活動の充実



田んぼリンク
佐久スケートの伝統を受け継ぐ

切原小学校

所在地 384-0305 佐久市中小田切100-1

電話 0267-82-2079 FAX 0267-82-0292

E-mail kieihara@sakushi.ed.jp



三つの山型は上が蓼科山を表し、両側は小田切・湯原の山を示し、これらの山に囲まれた扇状地の中央に小学校がある。山は気高い心を表わす。切は桐に同音で、桐は高く上品な木である。三つになっているのは切車と言って車のよう回転していきいきと発展していく意味を持っている。まわりの二本の線は片貝川を示し、青い色は清き流れ、清き心を示している。



1 学校教育目標

学 校 教 育 目 標

明るく 正しく 仲よく

学校長の願い

- ・調和のとれた自立した子ども
- ・切原の良さを心に刻み、ふるさとを愛する子ども

2 本年度の重点目標

重点：学び続ける子どもの

- 豊かな心を育む学級づくり（仲良く）
- 確かな学力に向けた授業改善（正しく）

毎日できるようにしよう

- 1 進んであいさつ、気持ちのよい返事
- 2 くつをそろえよう
- 3 ろうかは歩こう

3 特色ある教育活動

- わかる授業・・確かな学力に向けた授業改善
 - ・「めあて」と「まとめ」を板書計画に位置づける
 - ・見通しを持った授業展開と振り返りの工夫
 - ・対話によるグループ学習、ペア学習の充実
 - ・伝え合う力（聞く、話す、書く）の育成
- 魅力ある教育課程
 - ・授業のユニバーサルデザイン化
 - ・各教科の合科・関連的な指導
- 楽しい学校
 - ・裏山の自然に学ぶ活動
 - ・地域の方を招いてのふれあい交流集会



グループ活動の様子



ふれあい交流集会

4 施設等の特徴

- ・地権者の好意により借用している学校北側の裏山
- ・湯原神社「式三番叟」（長野県無形文化財） ・滝観音

臼田小学校

所在地 〒384-0301佐久市臼田264-3

電話 82-2024 FAX 82-5134

E-mail usudasho@sakushi.ed.jp



明治41年に制定。ナデシコの花がデザインされている。

冬の寒さに耐え、荒れ地に根を張り、美しい花を咲かせるこのナデシコのように、やさしく清らかに、たくましく育てほしいという願いが込められている。



1 学校教育目標

一人ひとりが大地の星に

「かしの木のように根をはって」

「なでしこの花のようにほほえんで」

2 本年度の重点目標

○やさしく ○かしこく ○たくましく

＜やさしく＞思いやりのある子

- ・気持ちのよいあいさつ
- ・名前の呼び方や言葉づかいを大切に
- ・一人一人の良さや違いを認める
- ・姉妹学級、縦割り活動、交流学习の充実

＜かしこく＞すすんで学ぶ子

- ・一人一人が生きる授業
- ・主体的に取り組む家庭学習の工夫

＜たくましく＞体と心をきたえる子

- ・黙って時間いっぱい取り組む掃除
- ・体力の向上
- ・基本的生活習慣の定着

3 特色ある教育活動

(1)「コスモスプラン」「授業がもっとよくなる3観点」を大切にした授業づくり。

(2)授業改善研究テーマ「自分で考え、自信を持って、相手に伝える児童の育成」

(3)「書く」「説明する」活動を取り入れた、言語活動の充実。

(4)花いっぱい活動

- ・地域の施設や商店街へのプランター配布。

(5)地域の方を講師とした学習活動

- ・クラブ活動、読み聞かせ、米作り、有機野菜栽培、習字。

(6)佐久平総合技術高校や老人介護施設などとの交流活動

- ・高校生との栽培活動。小満祭への金管バンドの参加。
- 老人介護施設との交流活動。



4 施設等の特徴

(1) 体育の学習や社会体育で活用している2つの体育館。

(2) 総合的な学習の時間や生活科などの栽培活動でお世話になっている水田や農園。

(3) 校内音楽会の会場としてお借りしているコスモホール。

浅科小学校

所在地：〒384-2104
佐久市甲 2003-1

電話：58-2102 Fax：58-3213
E-mail：asashinasho@sakushi.ed.jp



雄大な浅間山、蓼科連峰に囲まれた豊かな
田園の中で、仲良く逞しく育つ学び舎、浅
科小学校を表している。

1 学校教育目標

夢や憧れに向かって学び合う子どもたち ～あいさつ・歌声・清掃～

2 本年度の重点目標

(1) 主体的な学びの構築

- ・子どもたちが主体的に学習や活動に参加する授業を目指す。
- ・生活科、総合的な学習の時間を軸とした学級経営を行い、思考力や判断力、自分の思いを自分のことばで表現する力の育成を図る。

(2) 豊かな心の育成

- ・あいさつができる子を育成するとともに、特別支援教育の充実や、差別のない心を育むための道徳教育、人権教育を充実させる。

(3) 豊かなつながりを生み出す学級・学年経営

- ・子どもと係わる時間を確保し、児童理解を深める。
- ・個を生かす教育を大切にするとともに、特別支援教育を充実させる。

(4) みんなでつくりあげる楽しい学校

- ・カリキュラムマネジメントによる魅力的で特色あるな教育活動を提供する。
- ・命や健康を大事にするとともに、信頼感の熟成を図る。

3 特色ある教育活動

(1) フラワーロードの活動

- ・地域の方々のご指導、協力を得ながら国道沿いに花を植え、育てる活動を通して、地域を愛し、地域に貢献しようとする心情を育てる。

(2) 米作りにかかわる学習

- ・社会科学習や米作りの学習等を通して、市川五郎兵衛をはじめとする先人の努力を知るとともに、友と支え合い、学び合う喜びを体得する。

(3) 様々な交流活動

- ・小諸養護学校、浅科老人クラブ、あさしな保育園、学校給食応援団の方々など地域内外の様々な人々との交流を通して、自分が住む浅科地区のことやそこに住む人々について知り、人に対する思いやりの心や、自ら考え、行動する力を育む。

(4) 地域講師によるクラブ活動

- ・様々な分野で活躍する地域の方々を講師に迎えてクラブ活動を行い、体験的な学習を通して興味や関心を追究し、地域の方や異年齢集団での交流を深める。

4 施設等の特徴

(1) みなこいランド

- ・木々に囲まれ、自然を体感できる場所。水が流れ、子どもたちの豊かな活動を支える遊び場となっている。

(2) 五郎兵衛用水

- ・学校のすぐわきを流れ、4年生の社会科学習、5年生の米作り活動を支えている。

望月小学校

所在地 〒384-2204 佐久市協和5229番地

電話 53-2208 FAX 51-1118

E-mail mochizukisho@sakushi.ed.jp



「駒の里である望月の歴史と伝統を馬蹄の形に」「バックの緑色は自然豊かな望月の山々」そして「若木のように伸びやかに育つ子どもたち」「文字の水色は望月の美しい水と空」をイメージしました。



望月小学校全景

1 学校教育目標

かしこく やさしく たくましく

めざす子どもの姿

- ①かしこく：「よく聴き・考え・表現する」子ども…知
- ②やさしく：「人を大切にする」子ども…徳
- ③たくましく：「挑戦する」子ども…体

2 本年度の重点目標

- ・心を動かして学び、確かな力をつける教育活動の実践
- ・すべての子どもが学びに参加し、自己肯定感を高められる環境づくり
- ・保護者や地域とともに育つ学校づくり

3 特色ある教育活動

- (1) 公開学習研究会：すべての子どもが学習に参加し、学ぶことの喜びを感じる授業づくりをめざし、佐藤学先生を中心とした指導者を招いて学習指導研究を行っている。

- (2) 親子林道整備作業
- (3) 望月教育プラットフォームとの連携
- (4) PTAとの連携（バザー、読み聞かせ等）
- (5) もちっこ応援団（信州型CS）による支援
 - ①川や田など野外活動への支援や環境整備
 - ②書道、裁縫、外国語・クラブ活動などの外部講師
 - ③学習支援ボランティア・託児ボランティア
 - ④「もちっこ笑顔見守り隊」の発足



親子林道整備作業

4 施設等の特徴

- (1) 開かれた学校づくりの一環として、教室はオープンスペースとなっている。
- (2) 各学年を一つのユニットとして仕切り、学年室をユニットの中央に配置してある。
- (3) 各学年のユニットには、学習・集会活動に使える多目的室が配置されている。
- (4) メディアセンター（図書館）、体育館ステージバック、職員室の壁がガラス張り。
- (5) 校舎と校舎の間に子どもたちが遊べるスペース（一輪車広場）がある。
- (6) 体育館の向かいに子どもたちが自由に遊んだり、集会をしたりすることができるスペース（駒の子広場）がある。
- (7) 校庭からは、北に浅間山、南に八ヶ岳を望むことができる。
- (8) 比田井天来記念館、望月郷土資料館等があり、普段の学習に利用している。
- (9) 徒歩圏内に、川遊び場（鹿曲川）や協和の森など、豊かな自然に触れられる場がある。

浅間中学校

所在地 〒385-0022 佐久市岩村田 1361 番地

電話 67-2410 FAX 67-2411

E-mail asamachu@sakushi.ed.jp



校章は、昭和 37 年 1 月 15 日、浅間中学校実質統合を前にして、浅間中学校を象徴する品位を持ち、地方色豊かな図案を一般より募集した作品から選ばれた。その意味するものは、蓼科・八ヶ岳・浅間の山々に取り囲まれたわが浅間中学校に学ぶ子どもたちが、希望に燃え、互いに励まし、情操高く知を深くして、やがて巣立ちゆくその姿を象徴したものである。



1 学校教育目標 情操高く 知は深く ～郷土の山 浅間山 のような～

○誇り高き 浅間中学生 ○熱く燃える 浅間中学生 ○美しき 浅間中学生

2 本年度の重点目標 キーワード ～律する・徹する・極める～

学習活動：「表現力を高めながら、確かな学力をつける分かる授業づくり」を行う。

生徒会活動：生徒自らの手でよりよい浅間中学校を創造する。

部活動：「自分に克つ 勝負に勝つ」を目標に掲げ、部活動を通して人格形成を図る。

※目指す生徒像

①相手の立場に立ち、よりよい人間関係をつくろうと努める生徒（あいさつが響き合う学級や学校）

②自分の考えを持ち、友と関わり合って学び、振り返って確かめる生徒（学習、道徳、合唱）

③浅間中生としての誇りと気品を持ち、自らを高める生徒（通学、清掃、身支度）

3 特色ある教育活動

(1) 学習指導

①確かな学力を身につけるために、「約束」を徹底し、生徒が「学びを実感できる授業」をめざす。

・「授業の 4 つの約束」を徹底する

i) チャイム前着席と授業の準備

ii) 心を込めて「お願いします」のあいさつ

iii) 指名されたら「はい」という返事

iv) 発言は、大きな声ではっきりと

・「学びを実感するために」

i) 授業のめあての確認・把握

ii) 集中した追究（一人で・学び合って）

iii) 生徒自身のめあての振り返りと評価・支援

②事柄や事実を整理する、解決の方法や手順を明らかにする、根拠をもとに理由を説明する等、「教科の言葉」を使って表現する学習を全教科で積極的に取り組む。

③学び合い（ペア・グループ）の活動を位置づけ、学力と人間関係力の 2 つの向上を同時に図る。

④授業の最後の 10 分間のふりかえり（取り組みをふりかえる、大事なことは何かまとめる、練習問題を解いてたしかめる）の時間を確保する。

⑤学習の手引き「文武両道」の活用や「学力アップの時間」を確保して、学力の定着を図る。

(2) 自分に克つ 勝負に勝つ部活動の充実

①部風を確立する。

②あいさつ・礼儀・マナーなど社会人として必要なものを身につける。

③人間尊重の精神に基づく指導。

④保護者、地域と共に築き上げる部活動。

(3) 生徒会による校風づくり 生徒会スローガン「真価 ～一人ひとりが本物になるために～」

①あいさつ運動を常時活動にし、あいさつがとびかう明るい学校。

②清掃に打ち込み校舎を磨くことで、自分自身の心も磨く清掃。

③日常生活の活動をより充実させ、気持ちのよい学校生活を送り、地域に誇れる浅間中学校を創り上げる。

④熱く燃える「第 46 回浅岳祭」を実現する。

⑤地域貢献活動を行う ○浅間中西交差点地下道の清掃 ○体育館北から浅間中西交差点間の花壇作り。

(4) 楽しい学校

①自主的な係活動を取り入れ、団結や克己心、友だちへの思いやりを深める学年行事「臨海学習（1 年）」
「北アルプス山麓学習（2 年）」「奈良・京都修学旅行（3 年）」。

②互いに認め合い、支え合える人間関係づくりを大事にした開かれた学級や学校づくり。

4 施設等の特徴

50 周年記念事業で植栽した校門から職員室西側の緑地帯も葉を茂らせ花を咲かせている。平成 24 年度より地域の方々への潤いを目指し、信州ふるさと道ふれあい事業に参加し、体育館北から浅間中西交差点までの間の花壇作りを行っている。また、プランタでの花の栽培等、潤いのある環境作りに取り組んでいる。

（写真は、平成 30 年度 中体連県陸上 東信大会壮行会の様子）



野沢中学校

所在地 〒385-0053 佐久市野沢335-1

電話 62-0360 FAX 62-2401

E-mail nozawachu@sakushi.ed.jp



・校地周辺の水田に繁茂する「おもだか」の花と葉をデザインしたもの。

・素朴で単調な葉、清楚な白い小花をつける「おもだか」は、苦難に耐えて黙々と生き、見栄、へつらいを知らず、たくましくこの地に育つ。



1 学校教育目標

- 「ゆたかに」・・・相手を思いやり大切にする
「たしかに」・・・目標に向かって努力する
「たくましく」・・・粘り強く最後までやり抜く

2 本年度の重点目標

保護者、地域から信頼される学校

確かな学力と豊かな人間性
を育み、
魅力ある野沢中学

〈学力・体力の向上〉

【目標】 友と関わりあいながら、学習を深めていける野沢中生
★主体的な学び、対話的な学び、深い学びのできる生徒の育成

〈おもだか清掃〉

【目標】 感謝の念を持ち、場を清めるとともに、自己を鍛える「学びの場」「学びの時間」として清掃に取り組む野沢中生
★時間いっぱい ★身支度 ★黙想で気持ちをつくる

〈あいさつ向上〉

【目標】 あいさつが自慢できる野沢中生
★来校者、保護者、地域の方々、先生、生徒への場に応じたあいさつのできる生徒の育成

〈生徒会活動〉

【目標】 自主性、社会性、共同的な心を育てる
★支え合い鍛え合う仲間づくり
★地域や社会への貢献

〈部活動〉

【目標】 部活動を通して、心を磨き、身体を成長させる
★豊かな人間性の伸長、専門知識や技能の向上、人間関係の育成、自主性の向上

3 特色ある教育活動

総合的な学習の時間を使っての体験学習

- ・1年 地域の短詩系文学愛好の皆さんとの交流による俳句の創作や地域の産業・文化を講座に別れて学ぶふさと学習
- ・2年 地域の企業での職場体験学習
- ・3年 福祉関係事業所での福祉体験学習

地域の中の学校

- (1) 生徒会活動を通じた充実した学校生活の実現と地域貢献
 - ・アルミ缶回収による資金で車椅子を福祉施設に寄贈
 - ・生徒会によるゴミ拾い活動
- (2) 地域との交流活動(PTAバザー、吹奏楽・合唱コンサート等)
- (3) 学習支援ボランティアによる放課後の補充学習

4 施設等の特徴

【新校舎改築】平成15年4月 管理棟特別棟起工式 平成17年9月 生徒棟引き渡し
平成19年5月 野沢中学校改築事業竣工式

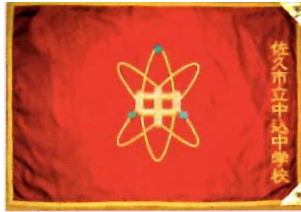
〈周辺〉 近くにはピンコロ地蔵が祭られている成田山薬師寺や藤村の旧宅のある貞祥寺、「おどり念仏」の西方寺などがある。稲作が盛んで、水田が広がり、鯉や鮒の養殖も盛んな地域である。校区内に酒造所が二カ所ある。

中 込 中 学 校

所在地 佐久市平賀 2 3 1 3 番地

電 話 0267-62-0725 FAX 0267-62-2876

E-mail nakagomichu@sakushi.ed.jp



3つの楕円は、太陽を中心として運動する太陽系の軌道をかたどり、永遠の生命を表しています。また、原子の姿をも表し、科学を象徴している。私たちの学習が、科学を探究し、合理性の美を愛し、円満な人格をつくって立派な社会人になるよう努めることを表しています。また、合併前の旧三カ町村が、一つの理想のもとに永遠に活動していく姿をも表しています。



1 学校教育目標

笑顔があふれ、学びと活動がある学校

2 本年度の重点目標

(1) **【笑顔】**他者とのよりよい人間関係の構築(人権意識)

(2) **【学び】**生きる力となる確かな学力(授業改善)

(3) **【活動】**目標を持った主体的活動
(部活動、学友会活動)

○毎時間のねらいを明確に(基礎・基本の定着を図る授業づくり)
○小中連携による「学習の手引き」の活用
○生徒の自主性を活かした「秋桜祭」の実施
○地域の声や学校評価をいかした学校づくり

3 特色ある教育活動

地域とかかわり、地域から学ぶ中込中学校

(1) 学友会による活動

資源物回収で得た基金を使い、総合的な学習の時間でお世話になっている地域の福祉施設へ車いすや簡易ベッドなどを贈っています。

(2) 総合的な学習の時間 ～ふるさと佐久学習～

1年「佐久を知る ～知っているようで知らない身近な地域を探求する～」、2年「佐久で働く ～地域での職業体験学習を通して、働くことを考える～」、3年「佐久に貢献する～ボランティア活動を通して感謝の意を表し、地域で生きる自分を考える～」をテーマに地域とのつながりの中で、「自らの生き方を考える」学習を行っています。

(3) 生徒の企画・運営を中心に行う秋桜祭

学友会を中心として体育祭・音楽会・フリーステージなど生徒が中心となって企画・運営し、全校が協力して進めています。また、意見文発表では、発表に対してフロアから意見を述べ合うなど、双方向での活動となっています。

一昨年より、秋桜祭の中に「地域との交流講座」を立ち上げました。今年度も地域の様々な技能を持つ方を講師に招き、全校生徒が17の講座に別れて、地域の方とともに学び、楽しく交流できました。

4 施設等の特徴

(1) 旧中込学校

明治時代に建てられた、現存する最も古い西洋風学校建築の一つで、重要文化財に指定されています。社会科の授業で学習します。

(2) 佐久市宮陸上競技場

学区内にある全天候型競技場です。本校陸上部も放課後や休日の練習で利用しています。



【地域との交流講座 ～書道体験～】

東 中 学 校

所在地 〒385-0007 佐久市新子田1396-1

電 話 67-2392 FAX 67-2415

E-mail higashichu@sakushi.ed.jp



郷土より産出する二枚貝化石をデザインして、歴史的な意義を示している。三枚の葉は、カシの葉で向学心を表している。



1 学校教育目標

【切 磋 琢 磨】

＜鍛え・磨き・高め・輝く自分＞

～心豊かに人や地域と関わり合いながら たくましく生きていく生徒の育成～

2 本年度の重点目標

- (1) 相手を意識し、気持ちを伝える自己表現
- (2) 気配りを育てる「気づき清掃」
- (3) どこでも、だれとでもできる挨拶



3 特色ある教育活動

教科学習や総合的な学習の時間を通して、地域のひと・もの・ことと関わり、生徒自ら考え、学ぶ意欲を高め、生きる力を伸ばす学習を行う。

(1)「郷土に学ぶ」

①この地域の良さに触れ、それを実感できるような内容や展開を工夫する。

(2)「生き方に学ぶ」・「いのちを学ぶ」

①人としてよりよく生きるために、必要な基礎的・基本的な内容を学ぶ。特に地域の方や専門的な立場の方から学ぶ機会を設けると共に、体験的な学習を進める。

②主なテーマ

- ・1年「臨海学習(上越・谷浜)」「6年生と交流会をしよう」「性教育」「尺八」
- ・2年「八ヶ岳登山(根石岳・硫黄岳)」「自然・地域のよさ」「職業体験学習」「性教育」
- ・3年「修学旅行(広島・京都・奈良)」「性教育」「赤ちゃんふれあい体験」「保育実習」

4 施設等の特徴

- 校舎に、郷土の民話や歴史・自然などを題材にしたレリーフやモニュメントが設置されている。
- 屋根は寄棟の日本瓦で、隣接する長野支場の牧歌的雰囲気を表現し、校歌にも歌われている「薨あかく そびえて建てり」を基に赤褐色の瓦を使用している。
- 50mプール等体育施設が充実。東社会体育館が隣接し、教育活動に活用されている。

臼田中学校

所在地 〒384-0414 佐久市下越286-1

電話 82-2139 FAX 82-2217
E-mail usudachu@sakushi.ed.jp



校章の由来：昭和37年、全国から1,086点応募、審査の結果、大阪の国賀恵美子さんが入選した。全体の形が、旧臼田町の地形と鳥のはばたきを型どり、若人の雄飛を象徴している。



1 学校教育目標

信頼される人になる

- | | |
|--------------------------|------|
| (1) 疑問を大切にし、学力を身につけよう | (知育) |
| (2) 優しさを大切にし、思いやりの心を育てよう | (徳育) |
| (3) 継続を大切に、強い心と体をつくろう | (体育) |

2 本年度の重点目標

- | |
|---|
| (1) 規範意識を高め、粘り強く物事に取り組める生徒の育成 |
| (2) よさを認め合い、気づきを生かして自分たちの学習課題に立ち向かう生徒の育成 |
| (3) 友だち・家族・先生など、人を思いやり、美しさ、豊かさを追求できる生徒の育成 |

3 特色ある教育活動

- (1) 「豊かに自分の考えを表現できる生徒の育成」を研究テーマにすえ、(1)友とのかかわり(2)伝える力 を手掛かりに日々の授業改善を試み、さらに本年度は、「一人一公開」を実施し、教授行為の向上にも務めています。
- (2) 「学校支援ボランティア」等で地域との連携を深め、地域行事にも積極的に参加して交流、親睦を深めています。
- (3) 毎朝10分間読書を行うことで、落ち着いた1日のスタートができるようにしています。

4 施設等の特徴



現在の新校舎は創立50周年を迎えた平成25年に完成し、北に雄大な浅間山、南に八ヶ岳をのぞんだ新しい環境の中で、生徒たちは日々の学校生活をのびのびと過ごしています。

千曲川河畔の田園風景によく似合う美しい校舎と体育館が、毎朝登校する生徒を温かく迎え、暖かい日には中庭で、語り合う生徒の姿が多く見られます。

浅科中学校

所在地 〒384-2106 佐久市 八幡 150

電話 58-2101 F A X 58-3206

E-mail asashinachu@sakushi.ed.jp



学問を象徴するペン先に稲穂を配する校章は、先人の名を冠する五郎兵衛米の産地である浅科で、この稲穂のように実り多い学校生活を送り、英知にあふれる心豊かな人間に育ってほしいという願いが込められています。

開校の際に制定され、昭和35年の旺文社主催全国校章コンクールで三位に入賞しました。



1 学校教育目標

「志高錬成」 志を高くもち、よりよい成果を得るために、ねばり強く、自分を鍛える

【めざす生徒像】

自ら考え判断し、明るく豊かな生活を創り上げていく生徒 (創造力)

【目指す生徒像に迫るためのつける力】

1 生徒自ら予想や課題を持ち、主体的に追究する力 (主体性)

2 仲間のよさから学び、互いに高め合うための関わり合う力 (共生力)

2 本年度の重点目標

○ 一人一人を大切にした指導

1 自立する心の育成 : 凡事徹底を合言葉に

授業に集中できる環境を作るための重点活動

「挨拶」挨拶ができる仲間なら、信頼をして歌声を響かせ合う仲間になれる。

「歌声」歌声を響かせ合う仲間なら、一人になって清掃を真剣に行える仲間になれる。

「清掃」清掃を真剣に行える仲間ならば、心を開いて食事を楽しみながら食べる仲間になれる。

「食事」楽しみながら食事ができる仲間ならば挨拶をし合う仲間となれる。

2 学力の向上

①導入時の驚きのある教材研究 (学習問題が生徒の発言・活動から生まれる場面の設定)

②既習内容・活動を生かせる学習展開の工夫(学習課題が生徒から生まれる場面の設定)

③ペア・グループ学習での生徒同士で相談・活動する場面の設定

④展開時に生徒の発言によって知識・活動の共有化を図る場面設定

⑤「学習の心構え」を授業の基本とする授業規律の確立

3 特色ある教育活動

○ 見合う授業 … 年3回の見合う授業を設定し、部内で互いに授業を公開する。

○ 小中連携の信州型コミュニティースクール

・様々な伝統・技能・文化等を知り、地域の方から生き方を学ぶ。

・共生の精神を培い、地域の施設でのボランティア体験や障がい者の方から学ぶ体験学習を行う。

【1年】 福祉体験学習 ・老人会の方々との交流

【2年】 職業体験学習 (浅科地域を中心にして市内各事業所にて)

【3年】 福祉施設体験学習 (市内福祉施設にて) 【全校】 学習支援サポート 10月から

【2・3年総合的な学習】 地域文化の継承「中山道宿場太鼓」等

【支部生徒会】 地域清掃 【小中連携】 英語活動 天文観測

○ 人権同和教育の充実…教育活動全領域で日常的に行う。

4 施設等の特徴

浅科中学校は、昭和33年4月、東西二つの中学校が統合され出発しました。昭和62年に現在の場所に移築され、広い廊下と大きな窓、天文台を持つ校舎が誕生。北に浅間、南に蓼科を望み、緑豊かな早苗から黄金色の稲穂へと四季折々色彩が変化する風光明媚な環境の中にあります。最も環境の良い場所で理想的な充実した中学校生活をとという地域の思いと期待が受け継がれています。

望月中学校

所在地 〒384-2204 佐久市協和6925

電話 53-3101 FAX 53-3102

E-mail mochizukichu@sakushi.ed.jp



若芽色の三角形は蓼科山・若さを表し、赤い三角形は浅間山・情熱を表す。また黒線の三角と三条の線は学区内を流れる川・愛を、白い円は望月・円満・平和を表している。「中」は中学生を花の蕾に喩えた形である。



1 学校教育目標

- 1 学校目標 「自主・自律・愛他」
- 2 教育目標 「相手を意識しながら、自分の考えを持って、自ら動く生徒」
- 3 めざす生徒像 「豊かな心を持ち(心力)、自ら学び続ける(知力)、考えを表現し実践する(行動力)生徒」
 - ① 他人を思いやる心や感謝するする心、自己を愛し、意志決定できる強い心を持つ生徒
 - ② 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、解決していける生徒
 - ③ 自分の考えを持ち、主体的に実践できる強い心と身体を創る生徒

2 本年度の重点目標

- 1 安全で安心な学校ーいじめのない明るい学校、安全で安心して学べる学びの環境づくり 挨拶の励行
- 2 楽しく、分かる授業ー学ぶことが楽しいと実感できる授業の実践
- 3 生徒が主人公ー生徒の手によって運営される行事・生徒会活動
- 4 信頼される開かれた学校ーPTA・保護者・地域住民との連携を大切にした教育活動、コミュニティースクールの推進、積極的な授業公開、生徒の体験学習やボランティア活動の推進

3 特色ある教育活動

- 「かかわり・つながりによって思考を広げ、深める」ことへの指導・支援(教科)
 - ・「学びの共同体」作りの取組みを通し、生徒同士が関わり合う授業の推進。
 - ・朝読書、家庭学習等の学びの機会を充実し、学習習慣の習得。
- 「人の生き方について学び合う」ことへの指導・支援(道徳)
 - ・教師と生徒が、より良い生き方を求め、共に考え、共に語り合う指導。
- 「自ら課題を持って課題追究できる力を育む」ことへの指導・支援(総合の学習)
 - ・課題解決等に主体的、創造的に取り組み、自己の生き方を考えさせる。
- 「集団生活を通して、自己を生かす能力を養う」ことへの指導・支援(学級活動)
 - ・学級・学校生活に適応し、のびのびと明るく仲良く学習にいそませる。
 - ・個性の伸長を図り、将来に意欲的に立ち向かう生き方の創造をさせる。
- 「体力、精神力、忍耐力、表現力とうの育成」への指導・支援。(部活動)
 - ・趣味や特技を発見し、生涯学習への基礎づくりをさせる。

4 施設等の特徴

望月地域の皆さんの願い・支援に支えられ歩んできた本校は、平成23年度から5期5年にわたり進められてきた校舎の全面改築工事が、平成28年度竣工した。みんなが憩う広く、明るく、開放的な中庭を中心に校舎が周りに配置され、全校生徒が集える若駒ホールや多目的ルーム、複数の相談室等、充実した施設の中で、生徒たちは学習できることに感謝し、日々の学習活動に励んでいる。

VI 社会教育

1 生涯学習

(1) 社会教育事業

事業方針

ア 社会教育委員の設置（10名）

社会教育に関する諸計画・実績に対して会議を開き、助言を行うほか、教育委員会の諮問に応じてこれに対し意見を述べるとともに必要な研究調査を行う。

イ 社会教育指導員の設置（3名）

社会教育に関する特定な事項の指導や学習相談、社会教育団体の育成に関する事務に従事するとともに生涯学習推進のための研究調査を行う。

(2) 生涯学習推進事業

事業方針

社会全体が大きな転換期を迎え、地域の変容とともに市民の価値観や学習に対するニーズの多様化が進む中、生涯を通じて健康で生きがいのある心豊かな生活を求める気運が高まっている。

誰もが社会の中で生き生きと自分を活かせるようにするためには、「いつでも」「どこでも」学ぶことができ、その成果を発揮できる場が必要である。

このような現状を踏まえ、平成28年6月に「佐久市教育振興基本計画」、平成29年3月に「第二次佐久市総合計画」が策定され、目指す市民像として「生涯にわたって学び続け、互いに支え合い高め合う市民」を掲げ、生涯学習事業を推進している。心豊かに充実した人生を送ることができる活力ある社会の実現に向けて、生涯にわたる多様な学習機会の提供と学習環境の整備等に取り組んでいる。

ア 学習情報の集約管理

(ア) 生涯学習情報「マナビィさく」

生涯学習課が集約管理している市の生涯学習関連情報のうち、開催日が近い情報を紙ベースで、市役所本庁・南棟・支所、中央公民館・地区館、各図書館、職員常駐の4体育施設の計22施設に掲示するとともに佐久市ホームページに掲載している。

イ 生涯学習活動を充実・発展させる機会の提供

(ア) 生涯学習活動の支援

生涯学習に関するアンケート調査を実施し、生涯学習懇話会委員等から意見を伺い、市民の多様なニーズに対応した学習プログラム・講座の提案など学習機会を拡充する。

(イ) 生涯学習市民のつどい「まちじゅう音楽祭」の開催

平成30年度で24回目となる音楽祭。会場は日陰対策をし、次世代を担う子どもたちが音楽に親しむことができるように童謡・唱歌と交互に子どもたちの歌や演奏などの発表をプログラムに入れて開催。

日時：平成30年9月23日（日）正午～午後3時

場所：市民交流ひろば（雨天時：佐久平交流センター）

（ウ）生涯学習市民のつどい「秋のイベント」の開催促進

県の生涯学習月間である11月を中心に開催される生涯学習振興に関連するイベントを、生涯学習市民のつどい「秋のイベント」として位置づけ、各種の講演会、展覧会等の開催を促進する。

（エ）「武論尊 100 時間漫画塾」の運営支援

佐久市出身の漫画原作者、武論尊氏が主催する漫画塾について、共催団体として佐久市及び佐久市教育委員会は運営を支援するため、生涯学習課は運営委員会事務局を担当する。

（3）少年センター事業

事業方針

ア 青少年の健全な育成及び非行化の防止を図るため、佐久市少年センターを設置。

佐久市少年センター運営協議会を年2回開催し、事業計画説明、事業報告及び研修会を行う。

イ 少年センター情報誌「佐久っ子だより」を年4回発行し、市内幼稚園、保育園、小学校の各家庭や公共施設に配布する。

ウ 子どもたちを対象とした地域のイベントや育成活動、学校での体験活動やボランティア活動を支援するため、情報を提供し、指導者の紹介やコーディネートをする。

（4）青少年健全育成事業

事業方針

次代を担う青少年の生きる力を育み、意欲と思いやりのある心を身につけ、心身ともに健やかでたくましく育つよう「明るい家庭づくり」「心豊かなたくましい青少年づくり」「健全な社会環境づくり」を基本とし、広く市民の理解と協力を得ながら、家庭・学校・地域・関係諸団体が連携して、地域に根ざした活動の展開を図る。

ア 明るい家庭づくり

家庭は、青少年が基本的な生活習慣や社会マナーを身につけ、豊かな情操を育み、健康な体をつくるなど、人間形成の基礎を培う重要な役割と責任を担っている。

しかし、今日の家庭は、親子関係の希薄化、教育力の低下、児童虐待など様々な問題が指摘されている。このため、家庭での会話やふれあいにより親子の信頼を高め、家庭の教育力の向上を支援する。

（ア）青少年をいちばん身近で支える家庭、学校、地域、青少年団体等の関係者が一堂に会し、青少年と家庭のあり方を考える「佐久市青少年健全育成市民集会」を開催。

日時：平成30年11月18日（日）午後1時

場所：市民創錬センター

内容：「CAP おとなワークショップ」と題してCAPながのの講演・市内中学生8人による「意見発表」・佐久市子どもとメディア作品コンクール2018表

彰式・長野県警の「薬物乱用防止広報車」によるキャンペーン実施

(イ) 親子の絆やふれあいを深め、温もりある家庭づくりを推進するため、広報・ホームページで「家庭の日」(毎月第3日曜日)、「いい育児の日」(11月19日)の普及啓発に努める。

イ 心豊かなたくましい青少年づくり

子どもたちに様々な生活体験や活動体験の機会を提供することにより、豊かな感性や社会性、自主性、創造性を培い、社会変化の著しい時代にふさわしい、地域のリーダーを育成する。

(ア) 佐久市ジュニアリーダー研修の実施

平成30年6月2日(土)～平成31年1月26日(土) 15回実施

(イ) ジュニアリーダー研修学生ボランティアスタッフの募集・養成

中学生から大学生を対象にボランティアスタッフを募集し、ジュニアリーダー研修の運営に参加し、小学生とともに活動することで将来指導者としての資質を取得する。

(ウ) 佐久市子ども交流事業の実施

銀河連邦子ども留学交流事業

日時：平成30年7月27日(金)～7月29日(日) 2泊3日

場所：宮城県角田市

ウ 健全な社会環境づくり

(ア) 環境浄化活動

a 美化活動の実施

日時：平成30年9月22日(土)

場所：千曲川河川敷

少年センター育成推進協議会理事・補導委員協議会理事、ジュニアリーダー研修生によるゴミ拾い等の美化活動を実施

(イ) メディアリテラシー(メディアからの情報を正しく受け取る能力)の向上

スマホ等でインターネット上の有害情報へアクセスして、事件に巻き込まれることのないように、佐久市まちづくり講座・佐久市子どもまつりの開催等に併せて啓発パンフレットの配布や啓発用DVDを上映し啓発する。

(ウ) 青少年の社会参加活動

青少年が地域社会の一員として誇りと責任を自覚するとともに地域の連帯感を醸成し、社会活動への積極的な参加を促す。

a 「佐久市子どもまつり」の開催

目的：ものづくりを通して、親子の絆を深めるとともに指導者と子どもたちとの世代間交流を図る。

日時：平成30年7月8日(日) 午前9時50分～午後2時

場所：野沢会館(16のブースを設置し、おもちゃ作り等の体験機会を設ける)

(エ) 少年センター育成推進員の活動

地域の特性を活かした青少年健全育成事業を担い、青少年健全育成会や地区子ども会等とともに文化活動、スポーツ活動、郷土の伝承文化を継承する活動、奉仕活動やレクリエーション活動等の体験活動を推進する。

(5) 青少年補導活動事業

事業方針

専門補導委員 3 名、補導委員 113 名（地区選出 80 名・小学校 17 名・中学校 8 名・高等学校 8 名）の体制で、街頭補導活動や少年相談、少年を取り巻く環境浄化活動等青少年の健全育成のために活動する。

ア 街頭補導活動

青少年が集まりやすい場所を重点的に巡回して、不良行為少年等を早期に発見し、適切な注意や声かけをすることにより、少年の非行化を未然に防止し、健やかな成長の支援を行う。

(ア) 毎週 5 回（月・火・水・木・金）街頭補導活動を実施

青少年への「声かけ」や「対話」を積極的に行い、子どもたちと関わりを持つ。

休日や夜間等も状況に応じて実施。

(イ) 小学校・中学校・高等学校への学校訪問を計画的に実施

(ウ) 学校職員・PTA（保護者）との合同街頭補導の実施

イ 少年相談活動

専門補導委員は、少年が抱く悩みや家庭・地域が抱えている青少年に関する問題の相談に応じ、注意・助言を行う。ケースによっては、より専門的な関係機関に引き継ぎ、問題の解決を図る。

ウ 環境浄化活動

平成 18 年 10 月 1 日の「佐久市有害図書類等の規制に関する条例」の施行と、地域の「有害自動販売機を置かせない運動」により、市内の有害自動販売機は平成 19 年 2 月 25 日全てが撤去された。今後も、有害な図書類等を収納した自動販売機を設置させない運動を進める。また、有害雑誌やアダルトビデオは、精神的に未発達な青少年に強い性的刺激を与えたり、暴力的、残虐的風潮を助長したりすることも考えられる。このことから、好ましくない社会環境から青少年を守るため、有害環境の監視的役割として有害環境チェック活動等を行う。

(ア) アダルトビデオや有害図書類等を収納した自動販売機を設置させない運動の推進

a 区長会へ「有害自動販売機を置かせない運動について」のチラシを配布し、有害自動販売機を設置させない（土地を提供しない）よう協力を依頼する。

b 「有害自動販売機 NO（ノー）運動」のチラシを全戸に回覧し協力を依頼する。

(イ) 「佐久市有害図書類等の規制に関する条例」の施行

青少年の健全な育成を阻害する恐れのある有害な図書類等を規制することにより、市内の社会環境を整備し、青少年の保護及び健全な育成を図ることを目的としている。その目的を達成するために、青少年の保護及び育成に関する重要事項を調査審議する。

(ウ) 青少年健全育成審議会の設置

「佐久市有害図書類等の規制に関する条例」を適正に施行していくため、青少年健全育成審議会を設置している。

- a 審議会は青少年の性的感情を著しく刺激し、粗暴性または残虐性を助長し、健全な育成を阻害するおそれのあると認められる図書類やがん具類を有害図書類と指定（個別指定）する。
- b 有害図書類やがん具類の撤去を命ずる時は、審議会から意見を聴いて行う。
- c 必要に応じて図書類やがん具類の自動販売機設置場所に立ち入り、関係者に質問するほか資料の提出を求めることができる。

(エ) 有害環境チェック活動の実施

「青少年の非行・被害防止全国強調月間（７月）」「子ども・若者育成支援強調月間（１１月）」「有害環境浄化活動強化月間（７・１１・２月）」には重点的に実施。特に青少年に刺激の強い図書類を取扱う市内の店舗に、青少年健全育成協力店の依頼を行う。

(オ) 美化活動の実施

日時：平成３０年９月２２日（土）

場所：千曲川河川敷（佐久大橋～野沢橋間）

少年センター補導委員協議会理事・育成推進協議会理事、ジュニアリーダー研修生によるゴミ拾い等の美化活動を実施。

エ 啓発活動

日々変化する子どもたちを取り巻く環境を速やかに把握し、関係機関と連携を図りながら青少年のためのよりよい社会環境づくりを推進する。

また、市民が青少年健全育成に理解と認識を深めるよう広報等で啓発する。

(ア) ７・１１・２月を広報・ホームページに掲載

補導活動・薬物・喫煙・飲酒の危険性、万引防止、インターネットで守りたい約束についてなどの青少年を取り巻く問題や環境について掲載

(イ) 青少年健全育成のぼり旗の設置（７・１１・２月の強調月間）と街頭啓発の実施

(ウ) メディアの危険性についてのＤＶＤの上映や補導活動等のパネル展示

(エ) 薬物乱用防止広報車を活用し、薬物の恐さの啓発

(オ) 「長野県子どもを性被害から守るための条例」（平成２８年６月制定）を市民に周知するため、ホームページに掲載

(カ) 「信州あいさつ運動」の実施

家庭や地域でお互いにあいさつをすることで、みんながつながり地域を元気にして、地域ぐるみで子どもの育ちを応援するため、７・１１・２月にＪＲ岩村田駅やイオン佐久平店周辺にて実施。また、毎月１１日は「信州あいさつの日」とされているため「少年センターだより」や情報誌「佐久っ子だより」等の中で普及啓発に努める。

(6) ふるさと創生人材育成事業

事業方針

佐久市では、平成元年度の国から交付された「ふるさと創生資金」を原資に『佐久市ふるさとづくり基金』を創設し積み立てその資金の活用により、次代の佐久市を担う人材を育成するため『佐久市ふるさと創生人材育成事業』を実施する。

ア 中学生海外研修（モンゴル国）の実施（研修生 7 名）

佐久市は平成 20 年 8 月にモンゴル国スフバートル区と友好都市の調印締結をした。そこで、次代を担う青少年の人材育成事業の一環として、佐久市の中学生がモンゴル国の一般家庭やゲルでのホームステイ、子ども交流会を通して相互理解を深め、モンゴル国の風土や文化を肌で感じることで国際的視野を広げることを目的として実施する。

(ア) 研修地

モンゴル国ウランバートル市スフバートル区ほか

(イ) 研修期間

平成 30 年 7 月 30 日（月）～8 月 6 日（月）8 日間（現地は 7 泊 8 日間）

(ウ) 研修の主な内容

- a 一般家庭や遊牧民のゲルでのホームステイ、子ども交流会を通してモンゴルの子どもたちとの交流
- b スフバートル区表敬訪問
- c ゲル作りや乗馬体験
- d 歴史、文化関連施設の見学

（13 世紀モンゴル村・日本人墓地公園・スフバートル広場など）

イ 中学生海外研修（エストニア共和国）の実施（研修生 8 名）

佐久市は平成 19 年 5 月にエストニア共和国サク市と友好都市の調印締結をした。また平成 28 年 1 月に子ども交流の協力覚書の調印も行う。そこで、次代を担う青少年の人材育成事業の一環として、佐久市の中学生がエストニア共和国の一般家庭でのホームステイ、キャンプでの子ども交流会を通して相互理解を深め、エストニア共和国の風土や文化を肌で感じることで国際的視野を広げることを目的として実施する。

(ア) 研修地

エストニア共和国サク市ほか

(イ) 研修期間

平成 30 年 7 月 30 日（月）～8 月 6 日（月）8 日間（現地は 6 泊 7 日間）

(ウ) 研修の主な内容

- a ホームステイを通じた一般家庭との交流
- b キャンプ地での現地学生との交流
- c サク市表敬訪問
- d エストニア国内見学

ウ スフバートル区子ども交流研修の実施

佐久市とモンゴル国ウランバートル市スフバートル区の友好都市の調印締結を機に、スフバートル区の中学生等を佐久市に受入れ、ホームステイや中学校体験入学などの体験を通して、日本の文化・風俗・習慣を理解し、友好関係を深めることを目的として実施する。

(ア) 受入研修生 8 名 (中学生等)

(イ) 研修期間

平成 30 年 11 月 2 日 (金) ～ 9 日 (金) 8 日間

(ウ) 研修の主な内容

- a ホームステイを通して日本の一般家庭との交流
- b 佐久市表敬訪問
- c 中学校体験入学
- d 小学校との交流
- e 日本文化体験

エ エストニア共和国サク市子ども交流研修の実施

佐久市と友好都市エストニア共和国サク市の子どもの交流に関する「協力覚書」調印を機に、サク市の中学生等を佐久市に受入れ、ホームステイや中学校体験入学などの体験を通して、日本の文化・風俗・習慣を理解し、友好関係を深めることを目的として実施する。

(ア) 受入研修生 8 名 (中学生等)

(イ) 研修期間

平成 30 年 10 月 22 日 (月) ～ 29 日 (月) 8 日間

(ウ) 研修の主な内容

- a ホームステイを通して日本の一般家庭との交流
- b 佐久市表敬訪問
- c 中学校体験入学
- d 小学校との交流
- e 日本文化体験

2 文化振興

(1) 文化振興事業

事業方針

「佐久市文化振興計画（平成 24 年 8 月策定）」に基づき文化振興を図る事業を実施する。「佐久市文化振興基金」の運用益を活用し、鑑賞型、体験参加型、支援型の文化振興事業を実施する。佐久市文化振興推進企画委員会を組織し文化振興の推進等について検討する。

「佐久市『佐久の先人』検討事業」では、第一から三次までに選定した先人の周知に努める。

ア 文化振興施策

(ア) 佐久市文化振興推進企画委員会

- a 目 的 佐久市文化振興計画の推進について調査・検討
佐久市文化振興基金の活用について調査・検討
- b 委員数 顧問 1 名、委員 9 名（平成 30 年 4 月現在）

(イ) 鑑賞型事業（佐久市文化事業団委託事業も含む）

- a 第 2 回 児童・青少年のための舞台芸術フェスティバル
〈キッズ・サーキット in SAKU〉2017
8 月 4 日（金曜日）～ 6 日（日曜日）市内文化施設等 入場者数：5,612 名
- b 柳家小三治・柳家三三 親子会 8 月 19 日（土曜日）コスモホール
入場者数：737 名
- c 劇団四季こころの劇場（小学 6 年生芸術鑑賞会） 10 月 27 日（金曜日）
コスモホール 観覧者数：892 名
- d ザ・グレンミラー オーケストラ コンサート 11 月 26 日（日曜日）コスモホール
- e 牧阿佐美バレエ団公演 12 月 24 日（日曜日）コスモホール 入場者数：723 名
- f 劇団四季ファミリーミュージカル公演 3 月 24 日（土曜日）コスモホール
入場者数：737 名

(ウ) 体験参加型事業（佐久市文化事業団へ委託）

- a アウトリーチ事業「心が豊かになる音楽への招待」 12 回 入場者数：2,313 名
 - ・小規模なもの 1 回（ミュージアムコンサート） 場所：近代美術館
 - ・中規模なもの 2 回 場所：市民創錬センター、佐久平交流センター
 - ・ランチタイムコンサート 9 回（佐久市文化事業団と佐久市振興公社との業務提携事業） 場所：佐久平交流センター
- b パフォーミング・アーツ・スタジオ 12 回 場所：コスモホール
入場者数：763 名
- c 第 6 回大きな輪となれジョイントコンサート 場所：コスモホール
入場者数：781 名

(エ) 支援型事業

- a 佐久市芸術文化活動事業補助金
市民が様々な芸術文化に触れる機会を拡充するため、市内の団体が行う芸術文化活動に要する経費を補助する。（平成 29 年度実績 申請 12 件、交付 12 件、交付額計 918,000 円）

- b 佐久アーティストバンク（人材バンク）

芸術家の活躍の場を広げるため、市内で積極的に活動を行う芸術家の情報を、ホームページで公表する。（平成 30 年 4 月現在の登録者数 127 件）
- イ 佐久市「佐久の先人」検討事業
 - (ア) 目的

佐久市にゆかりがある人物の埋もれている業績等を掘り起し、市民の間で語り継ぎ、次世代に継承する。
 - (イ) 主な事業内容
 - a 冊子「佐久の先人Ⅰ・Ⅱ」の販売ほか、佐久の先人広報活動
- ウ さくぶん連携事業
 - (ア) 目的

佐久市文化関連施設の連携により、共同企画の実施や、情報の共有を図り、施設の魅力を高める。
 - (イ) 主な事業内容
 - a 館長会議の開催
 - b 共同企画事業の検討

（２）文化施設管理運営事業

事業方針

文化振興課が所管する文化施設のうち、ホール系施設のコスモホール・交流文化館 浅科・佐久平交流センター、生涯学習施設の生涯学習センター、博物館系施設の鎌倉 彫記念館については、指定管理者制度を導入して、施設の利用者等に対するサービスの向上と効率的な管理運営を図っている。

また、直営の施設としては、自然科学の学習施設である天体観測施設や、美術工芸、歴史、個人顕彰などの博物館系施設として、臼田文化センター、五郎兵衛記念館、天来記念館、望月歴史民俗資料館、川村吾蔵記念館がある。

これらの施設はそれぞれ特徴を持った施設であり、常設展示や企画展示、研究活動、所蔵資料の保存など施設の設置目的を達成するための事業を展開するとともに、施設の適正な維持管理を行う。

さらに、広報活動や観光など関連する施設と協力し、来館者の増加を図る。

ア 佐久市生涯学習センター

- (ア) 所在地 佐久市取出町 183 番地（電話 0267-62-0665）
- (イ) 開設年月 平成 13 年 4 月
- (ウ) 設置目的 生涯学習社会に対応し、市民の生涯学習活動の充実を図るとともに、地域の交流を促進する。
- (エ) 指定管理者 一般社団法人 佐久市振興公社（平成 26 年度～平成 30 年度）
- (オ) 施設の概要

敷地面積	15,813 m ²
構造	鉄筋鉄骨コンクリート造 地上 3 階（3 階は塔屋のみ）
延床面積	12,504 m ² （生涯学習センター貸室部分 2,745.50 m ² ）
ホール 2 室、会議室 6 室、音楽室 10 室ほか	
- (カ) 開館時間 9 時～22 時
- (キ) 休館日 年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日

(ク) 利用状況

年 度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
利用件数 (件)	9,417	10,128	9,529	9,178	8,915
利用者数 (人)	157,929	148,917	129,571	125,912	124,259
使 用 料 (円)	4,911,500	5,601,700	5,167,800	5,513,300	5,545,700

イ 佐久市コスモホール

- (ア) 所在地 佐久市下小田切 124 番地 1 (電話 0267-82-3962)
- (イ) 開設年月 平成 3 年 7 月
- (ウ) 設置目的 地域住民の文化の振興及び福祉の増進を図る。
- (エ) 指定管理者 一般財団法人 佐久市文化事業団 (平成 26 年度～平成 30 年度)
- (オ) 施設の概要
- | | |
|------|--|
| 敷地面積 | 15,440.53 m ² |
| 構 造 | ホール棟 鉄筋鉄骨コンクリート造 地上 4 階
事務所棟 鉄筋コンクリート造 地下 1 階、地上 2 階 |
| 建築面積 | 3,597.20 m ²
(ホール棟 2,415.46 m ² 管理棟 1,181.74 m ²) |
| 延床面積 | 5,803.24 m ² |
- a 文化ホール (大ホール)
- | | |
|------|--|
| 客 席 | 527.84 m ² 、800 席 (うち車椅子席 8 席使用可能) |
| 残響時間 | 1.6～1.8 秒 |
| 舞 台 | 462.96 m ² 、間口 17m、奥行 12m、高さ 8m |
| 楽 屋 | 123.26 m ² 、4 室 (うちバス付個室 2 室)、シャワー室 2 室 |
| 練習室 | 316.88 m ² |
| ホワイエ | 118.34 m ² |
- b 小ホール 346.26 m² (移動席 250 席)
- c 会議室等 会議室 4 室、調理室、研修室、学習室 2 室、談話室 計 9 室
- (カ) 使用時間 9 時～22 時
- (キ) 休 館 日 毎週月曜日 (国民の休日に当たる場合は除く)
国民の休日の翌日 (日曜日、土曜日、又は国民の休日に当たる場合は除く)
年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日

(ク) 利用状況

年 度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
利用件数 (件)	688	751	694	807	690
利用者数 (人)	63,242	60,950	61,812	70,840	58,698
使 用 料 (円)	7,374,710	6,899,030	5,506,840	5,573,340	5,876,470

(ケ) 文化事業団の自主事業

番号	公演月日	演 目
鑑賞事業		
1	8月4～6日	〈キッズ・サーキット in SAKU〉2017
2	8月19日	柳家小三治・柳家三三 親子会
3	10月27日	劇団四季こころの劇場(小学6年生芸術鑑賞会)
4	11月26日	ザ・グレンミラー オーケストラ コンサート
5	12月24日	牧阿佐美バレエ団公演
6	30年3月28日	劇団四季ファミリーミュージカル公演
鑑賞型体験・参加型事業		
7	7月23日	心が豊かになる音楽への招待 1 (ミュージアムコンサート)
8	10月15日	〃 2 (信州ジャズ～美郷に想いをよせて)
9	調整中	〃 3 (未定)
10	6月30日	〃 4 (ランチタイムコンサート) ※6月から毎月最終金曜日に開催(振興公社との提携事業)
11	11月12日	こころのミュージカル2017
12	12月 3日	第17回コスモホール佐久第九演奏会
13	30年3月28日	第6回大きな輪となれジョイントコンサート (佐久創造館と共催)
14	30年2月 4日	信州佐久太鼓の共演
15	6月11日	パフォーミング・アーツ・スタジオ1 (「キッズ落語」体験講座)
16	6月25日	〃 2 (「和妻」体験講座)
17	7月 9日	〃 3 (「紙切り」入門講座)
18	7月23日	〃 4 (「狂言」体験講座)
19	8月 5日	〃 5 (「忍者修行出前」by 未来館)
20	9月17日	〃 6 (「本格的なヴォーカル体験」講座)
21	9月24日	〃 7 (「即興劇で自分アップ」)
22	12月17日	〃 8 (「小川式ダンス体操」講座)
23	30年1月14日	〃 9 (「ミニ・サーカス体験」講座)
24	1月21日	〃 10 (リーディング・シアター&朗読)
25	3月17日	〃 11 (大人・子ども演劇教室)
26	3月17日	〃 12 (コスモ・アカデミア公演)
賑わい創出事業		
27	9月10日	セプテンバーコンサート佐久 in SAKU

ウ 佐久市交流文化館浅科

(ア) 所 在 地 佐久市八幡 229 番地 (電話 0267-58-3304)

(イ) 開設年月 平成 15 年 6 月 1 日

(ウ) 設置目的 生涯学習及び芸術文化の振興を図るとともに、住民の交流及び福祉の向上に資する。

(エ) 指定管理者 一般財団法人 佐久市文化事業団 (平成 26 年度～平成 30 年度)

(オ) 施設の概要
敷地面積 9,889.01 m²
構 造 鉄筋コンクリート造 地上 2 階

延床面積 1,986.91 m² (1階 1,571.70 m²、2階 415.21 m²)

a 穂の香ホール 客席 450席 (うち300席可動式)

b 音楽室 2室、視聴覚室 1室、親子室 1室、展示ギャラリー

(カ) 開館時間 9時～22時

(キ) 休館日 毎週月曜日 (国民の休日に当たる場合は除く)

国民の休日の翌日 (日曜日、土曜日、又は国民の休日に当たる場合は除く)

年末年始 12月29日～1月3日

(ク) 利用状況

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
利用件数(件)	811	922	877	837	931
利用者数(人)	23,744	32,455	32,368	28,601	30,199
使用料(円)	2,599,900	3,005,800	2,921,700	2,817,700	3,029,400

エ 佐久市佐久平交流センター

(ア) 所在地 佐久市佐久平駅南4番地1 (電話 0267-67-7451)

(イ) 開設年月 平成13年4月23日

(ウ) 設置目的 地域文化の振興、交流人口の創出及び地域住民の福祉の増進を図る。

(エ) 指定管理者 一般社団法人 佐久市振興公社 (平成29年度～平成33年度)

(オ) 施設の概要 敷地面積 6,000 m²

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階

延床面積 3081.41 m²

a ホール 客席 450席 (うち車椅子席12席使用可能)

b 音楽室 1室、視聴覚室 1室、情報研修室 1室、文化教養室 2室
会議室 5室

(カ) 開館時間 9時～22時

(キ) 休館日 毎週第1水曜日及び第3水曜日

年末年始 12月29日～1月3日

(ク) 利用状況

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
利用件数(件)	4,198	4,160	4,685	4,742	4,605
利用者数(人)	120,638	114,808	125,746	129,515	154,884
使用料(円)	19,945,187	18,050,596	17,417,054	16,782,702	18,013,470

※平成29年度から指定管理 (利用料金制) に移行

オ 佐久市鎌倉彫記念館

(ア) 所在地 佐久市下小田切8番地6 (電話 0267-82-7095)

(イ) 開設年月 昭和61年9月19日

- (ウ) 設置目的 木内速吉（雅号 翠岳）氏寄贈の趣旨により、美術作品を保管展示し、その業を記念するとともに、館内を利用した学習、展示等による社会教育活動により地方文化の振興と芸術への関心を高める。
- (エ) 指定管理者 一般財団法人 佐久市文化事業団（平成 26 年度～平成 30 年度）
- (オ) 施設の概要 建築延面積 281 m²
展示面積 197 m²
- (カ) 開館時間 9 時～17 時
- (キ) 休館日 毎週月曜日（国民の休日に当たる場合は除く）
国民の休日の翌日（日曜日、土曜日、又は国民の休日に当たる場合は除く）
年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日

(ク) 入館状況

年 度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
入館者数(人)	1,091	576	884	533	1,023
観覧料(円)	38,340	24,490	28,490	22,420	37,080

(ケ) 観覧料

区分	一般		小・中学生・高校生	
	個 人	団体(20 人以上)	個 人	団体(20 人以上)
観覧料(円)	100	80	50	40

(コ) 主な事業

- a 木内翠岳作品常設展示
- b 鎌倉彫教室 毎月第 2 土曜日（原則） 10 時～15 時
- c 木内翠岳氏の弟、木内晴岳氏の作品の寄贈を受け、記念館に展示する。
- d 各種企画展

カ 佐久市天体観測施設（うすだスタードーム）

- (ア) 所在地 佐久市臼田 3113 番地 1（電話 0267-82-0200）
- (イ) 開設年月 平成 8 年 11 月 29 日
- (ウ) 設置目的 宇宙や天体に関する観望及び学習を通じ、地域住民の教養の向上と文化の振興を図る。
- (エ) 施設の概要 敷地面積 8,918 m²（うちファミリー広場 4,983 m²）
構 造 鉄骨造平屋建て
建築面積 354 m²（研修棟 334 m²、スライディングルーフ棟 20 m²）
望 遠 鏡 60 c m 反射望遠鏡 1 台、20 c m 屈折望遠鏡 2 台
研 修 室 1 室（36 人収容）
- (オ) 開館時間 10 時～22 時
- (カ) 休館日 毎週月曜日及び火曜日（国民の休日に当たる場合は除く）
国民の休日の翌日（日曜日、土曜日、又は国民の休日に当たる場合は除く）
年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日

(キ) 入 館 状 況

年 度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
入館者数(人)	3,674	2,830	2,959	3,270	3,018
入 館 料(円)	1,263,000	829,300	976,850	1,124,650	1,009,250

(ク) 入 館 料

区 分	一 般		小・中学生	
	個人	団体 (20 人以上)	個人	団体 (20 人以上)
入 館 料 (円)	500	400	250	200

(ケ) 主な事業

a イベント天体観望会

期 日	時 間	内 容
5 月 5 日	19:30～21:00	こどもの日観望会
8 月 2 日～6 日	19:30～21:00	スターウィーク観望会
8 月 12 日	21:00～24:00	ペルセウス座流星群観望会
10 月 4 日	19:30～21:00	中秋の名月観望会
11 月 25 日	10:00～22:00	開館記念日無料開放
12 月 14 日	21:00～24:00	ふたご座流星群観望会
12 月 23 日	19:30～21:00	クリスマス観望会
30 年 1 月 31 日	21:00～24:00	皆既月食観望会
30 年 2 月 17 日	19:30～21:00	冬の星空観望会

b 教室等の開催

学 級 ・ 講 座 名	備考
星座教室	4 回
おもしろ教室	1 回
写真教室	4 回
天体写真体験週間	2 回 (計 10 日間)

c その他の事業

(a) どこでも観望会

期 間 年 2 回

場 所 佐久平駅前

d 連携事業

(a) 臼田図書館写真展 臼田図書館との連携事業

期 間 小中学校夏休み期間中

(b) 出前講座 「星空講座」 臼田公民館との連携事業

年 5 回 (5 月 25 日、9 月 14 日、10 月 19 日、1 月 25 日、2 月 9 日)

(c) 小満祭・コスモタワー写真展示 公園緑地課との連携事業

期 間 5 月 21 日 (日)

- (d) 銀河連邦 30 周年記念スタンプラリー 観光交流推進課との連携事業
7 月 20 日 (木) ～ 8 月 31 日 (木)
- (e) 佐久広域連合「星空案内人」育成事業
- f 情報発信
 - (a) NHK テレビ、NHK ラジオ定期出演
 - (b) FM さくだいら、佐久ケーブルテレビ定期出演
 - (c) ホームページ運用
 - (d) 各種観光、旅行雑誌掲載ほか

キ 佐久市臼田文化センター

- (ア) 所在地 佐久市下越 248 番地 12 (電話 0267-82-3634)
- (イ) 開設年月 昭和 56 年 8 月
- (ウ) 設置目的 歴史、民俗、産業、美術及び自然科学に関する資料を収集し、これを展示又は保存することにより住民の教養の向上、調査研究等に広く住民の利用に寄与し、もって市文化の向上に資する。

(エ) 施設の概要

- a 文化センター
 - 敷地面積 1,359 m²
 - 構造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
 - 建築面積 189 m²
 - 建築延面積 380 m²
- b 収蔵庫
 - 構造 鉄筋コンクリート造平屋建て
 - 建築面積 130 m²

(オ) 開館時間 9 時～17 時

- (カ) 休館日 毎週月曜日及び火曜日 (国民の休日に当たる場合は除く)
国民の休日の翌日 (日曜日、土曜日、又は国民の休日に当たる場合は除く)
年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日

(キ) 入館状況

年 度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
入館者数 (人)	557	772	1,063	1,000	556

(ク) 観覧料 無料

(ケ) 主な事業

地域の歴史・民俗・産業・美術資料の展示保存

- a 文化財の写真
- b 遺跡出土品
- c 龍岡城五稜郭関係資料
- d 美術工芸品
- e 長野県天然記念物鳥類第一号 ヤツガシラの剥製

ク 佐久市五郎兵衛記念館

- (ア) 所在地 佐久市甲 14 番地 1 (電話 0267-58-3118)
- (イ) 開設年月 昭和 48 年 8 月
- (ウ) 設置目的 市川五郎兵衛翁の開拓の遺業を顕彰し、偉大な事業に関する資料を整理保管するとともに学術研究に寄与する。
- (エ) 施設の概要 敷地面積 466.10 m²
構造 鉄筋コンクリート造平屋建て
建築面積 184.68 m²
- (オ) 開館時間 9 時～17 時
- (カ) 休館日 毎週月曜日 (国民の休日に当たる場合は除く)
国民の休日の翌日 (日曜日、土曜日、または国民の休日に当たる場合は除く)
年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日

(キ) 入館状況

年 度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
入館者数 (人)	2,208	2,923	2,819	3,472	3,098

(ク) 観覧料 無料

(ケ) 主な事業

- a 「枝垂れ桜と桜守」写真展
期 間 平成 29 年 4 月 15 日 (土) ～5 月 5 日 (金)
内 容 関所破りの桜とブータン王国の森林保全に努めた桜守の記録展
- b 五郎兵衛用水を歩く会
期 日 平成 29 年 7 月 30 日 (日) 午前 7 時 40 分～午後 4 時
内 容 江戸時代初期に開発された五郎兵衛新田。その開発の基となった五郎兵衛用水路跡 (一部県史跡指定) を歩いて見学し、市川五郎兵衛と五郎兵衛用水路について学ぶ。
- c 古文書を読む会 (年 12 回)
毎月第 2 木曜日 (原則) 午後 7 時 30 分～9 時
- d 古文書調査報告会「古文書に見る佐久の文化の豊かさ」
期 日 平成 29 年 9 月 3 日 (日) 午前 10 時～12 時
内 容 江戸時代佐久の文化の豊かさを華道の世界から報告ほか (仮)
- e 企画展 「寄託文書から知る江戸時代佐久の文芸の奥の深さ (仮)」
期 間 平成 30 年 3 月 3 日 (土) ～ 3 月 18 日 (日)
内 容 当館寄託文書から佐久の先人の先鋭的な俳句と和歌の世界を紹介

ケ 佐久市立天来記念館

- (ア) 所在地 佐久市望月 305 番地 2 (電話 0267-53-4158)
- (イ) 開設年月 昭和 50 年 6 月 21 日
- (ウ) 設置目的 比田井天来の遺業を顕彰し、後世に伝えていくとともに、諸作家の作品等を展示し、書道の発展向上に資する。
- (エ) 施設の概要 敷地面積 706.72 m²

構 造 鉄筋コンクリート造地上2階建て

建築面積 285.86 m²

建築延面積 681.77 m²

(オ) 開館時間 9時～17時

(カ) 休館日 毎週月曜日（国民の休日に当たる場合は除く）

国民の休日の翌日（日曜日、土曜日、又は国民の休日に当たる場合は除く）

年末年始 12月29日～1月3日

(キ) 入館状況

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
入館者数(人)	2,741	2,880	3,014	2,980	1,951
観覧料(円)	353,450	296,490	316,340	277,600	205,100

(ク) 観覧料

区 分		観覧料(円)			
		個 人		団体(20名以上)	
		単独	歴史民俗 資料館と 共通	単独	歴史民俗 資料館と 共通
常設展示	一 般	300	500	250	400
	高校・大学生	250	400	200	300
	小・中学生	150	250	120	200

(ケ) 主な事業

- a 天来記念館書道入門講座（年12回） 毎月第2土曜日（原則）午前10時～12時
比田井天来の正当な流れを汲む一流の講師の指導により、書道をこれから始めてみたい方など初心者を対象として年間計画により実施する。

- b 第8回佐久市内小中学生書き初め展の開催

「現代書道の父 比田井天来」生誕の地として、佐久市内小中学生に周知を図る
目的で開催する。

期 間 平成30年1月27日（土）～2月4日（日）

場 所 佐久市望月支所 大会議室

- c 第6回比田井天来・小琴顕彰 佐久全国臨書展の開催

期 間 平成29年11月25日（土）～12月10日（日）

場 所 佐久市立近代美術館

作品締切 平成29年9月10日（日）

d 第5回地元高校書道部作品発表会

期 間 平成30年2月24日（土）～3月11日（日）

場 所 天来記念館ホール他

出品数 40点（望月高校、野沢北高校、野沢南高校、蓼科高校、佐久平総合技術高校、小諸高校他）

コ 佐久市立望月歴史民俗資料館

（ア）所 在 地 佐久市望月247番地（電話0267-54-2112）

（イ）開 設 年 月 平成3年8月1日

（ウ）設 置 目 的 郷土における自然・歴史・民俗等の調査・研究及び、資料の収集を行うとともに、これらの活用を図り、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する。

（エ）施設の概要
敷地面積 1,968.93 m²
構 造 鉄筋コンクリート造地上2階建て
建築面積 397.88 m²
建築延面積 703.62 m²

（オ）開 館 時 間 9時～17時

（カ）休 館 日 毎週月曜日（国民の休日に当たる場合は除く）
国民の休日の翌日（日曜日、土曜日、又は国民の休日に当たる場合は除く）
年末年始12月29日～1月3日

（キ）入 館 状 況

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
入館者数(人)	3,470	4,269	5,124	6,454	6,129
観 覧 料(円)	874,170	971,670	970,720	980,220	874,180

（ク）観 覧 料

区 分		観 覧 料 (円)			
		個 人		団体 (20名以上)	
		単独	天来記念館と共通	単独	天来記念館と共通
常設展示	一 般	300	500	250	400
	高校・大学生	250	400	200	300
	小・中学生	150	250	120	200

（ケ）主 な 事 業

a 企画展「郷土の雛人形展」

期 間 平成30年2月17日（土）～3月21日（水）

内 容 地域の方々より寄贈いただいた雛人形等を、時代別・系統別に展示する。専門家のアドバイスをいただく。変わり雛を借用し、特別展示。

- b 「かわいいおひな様」作り
期 日 平成 30 年 2 月 3 日（土）
内 容 小さい布を使って、手のひらに乗る、男女一対のかわいいお手玉雛を作り、出来上がった作品は『郷土の雛人形展』開催期間中、館内に展示。
- c 機織体験講座 5 月～10 月に月 1 回（前期 5～7 月、後期 9～11 月に月 1 回）
- d 望月歴史民俗資料館講座
5 月から 2 月まで月 1 回（90 分間・10 月は 2 回）、うち 2 回はバスを利用したの現地視察研修。
収蔵資料を活用しながら、特筆される出来事など佐久市の歴史講座を開催する。
- e 開館記念日事業
期 間 平成 29 年 8 月 14 日（月）～15 日（火）
内 容 館内無料開放。8 月 15 日は市民祭「榊祭り」の連携企画として、午後 8 時 30 分まで開館。
- f 企画展 「満蒙開拓の夢と受難の記録」
期 間 平成 29 年 8 月 2 日（水）～8 月 31 日（木）
場 所 望月歴史民俗資料館ホール他
内 容 戦時中の国策、満蒙開拓の虚と実、大陸に渡った人々の夢と終戦による逃避行の様子を資料や写真でたどる
- g 国策紙芝居の上演とお話
期 日 平成 29 年 8 月 14 日（月）
場 所 望月歴史民俗資料館
内 容 戦時中の政策を進めるために、国民に働きかける手段とした紙芝居の上演と、満蒙開拓に関係したお話
- h 再発見“終戦の日に、郷土の戦争遺跡をめぐる”
期 日 平成 29 年 8 月 15 日（火）
場 所 信州望月温泉みどりの村
内 容 御牧原北佐久郡連合大運動会跡地、東京芝増上寺の空襲被災石灯籠等を散策・見学
- i 体験学習 受 付 随時（一人でも可能）
メニュー 「勾玉づくり」、「土器づくり」、「弓矢飛ばし」、「火おこし」、「土器パズル」他
- J けん玉教室 「資料館で遊ぼう！体験しよう！」
期 日 平成 30 年 1 月 8 日（月）
内 容 けん玉をとおして、親子交流や子どもたちの健全な育成を目指す。
- k もへじさんの子ども遊び会
期 日 平成 29 年 5 月 24 日（水）～6 月 11 日（日）
場 所 望月歴史民俗資料館ホール他
内 容 旧中山道塩名田宿で、子ども遊び塾を開いている清水俊行さん（通称・もへじさん）の実践を紹介する展示と共に、遊び会を開催。

サ 佐久市川村吾蔵記念館

（ア）所 在 地 佐久市田口 3112 番地（電話 0267-81-5353）

（イ）開 設 年 月 平成 22 年 3 月 30 日

(ウ) 設置目的 川村吾蔵の業績を顕彰し後世に伝えていくとともに、芸術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、創造的活動への参画を通じたさまざまな交流の機会を創出し、もって心豊かな市民生活及び活力ある社会形成に寄与する。

(エ) 施設の概要 敷地面積 7,632 m² (五稜郭公園敷地)
 構造 鉄筋コンクリート造平屋
 建築面積 625.52 m²
 建築延面積 517.95 m²

(オ) 開館時間 9時～17時 多目的室は21時まで

(カ) 休館日 毎週火曜日 (国民の休日に当たる場合は除く)
 年末年始 12月29日～1月3日
 展示替等による臨時休館

(キ) 入館状況

年 度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
入館者数(人)	4,021	4,518	4,243	3,543	3,550
観 覧 料(円)	307,250	282,100	300,400	226,650	264,150

(ク) 観 覧 料

区分	一 般		高校・大学生		小・中学生	
	個 人	団体 (20人以上)	個 人	団 体	個 人	団体 (20人以上)
常設展示 観 覧 料 (円)	300	250	200	150	100	50

(ケ) 主な事業

- a ワークショップ「ステンドグラス作り」 年1回
 〃 「牛の玩具作り」 年1回
- b 郷土の作家展Ⅰ 「高橋正道漆喰鰻絵作品展」
 期 間 平成29年8月5日(土)～8月20日(日)
- c 生誕記念無料開放(生誕日8月17日)
 期 間 平成29年8月12(土)、13日(日)
- d 未来の巨匠展(保育・幼稚園児作品展)
 期 間 平成29年11月25日(土)～12月13日(水)
- e さくぶん連携企画「布で雛人形作り」
 期 日 平成30年2月4日(日)
- f ふるさとデザイン展・卒業制作展
 期 間 平成30年2月22日(木)～3月1日(木)
- g 郷土の作家展Ⅱ 「内藤健吾作品展(仮称)」
 期 間 平成30年3月10日(土)～3月25日(日)
- h 開館記念日無料開放(開館日3月30日)
 期 日 平成30年3月25日(日)

3 文化財

文化財保護法及び文化財保護条例等に基づき、貴重な文化財の保護に努めるとともに、国指定文化財である旧中込学校や龍岡城跡などの有形文化財や、埋蔵文化財出土品などの一般公開、無形民俗文化財実施に対する広報等により、市民の文化財に対する関心を高め、文化財を通じ郷土の歴史を学ぶことにより、市に対する愛着心の向上を図ります。

また、文化財の様々な活用により、誘客を図ることにより市の活性化にも繋がります。

(1) 文化財保護事業

事業方針

市内には、指定文化財が172件（国指定15件、県指定24件、市指定133件）及び国登録有形文化財が3件あり、特に重要文化財旧中込学校や国史跡龍岡城跡は広く一般に公開しています。これら貴重な文化財等の保護、保存及び活用に努めるとともに、伝統芸能を継承するため、後継者育成を推進します。

ア 指定文化財一覧

指定区分		文化財名	名称	所在地	所有者又は継承者	指定年月日
国 指 定	1	重要文化財	旧中込学校校舎（附 建築文書3点）	中 込	佐久市	S44.3.12
	2	史 跡	旧中込学校	中 込	佐久市	S44.4.12
	3	史 跡	龍岡城跡	田 口	佐久市	S9.5.1
	4	重要文化財	紙本着色一遍上人絵伝 巻第二	野 沢	金台寺	S9.1.30
	5	重要文化財	紙本墨書他阿上人自筆仮名消息	野 沢	金台寺	S9.1.30
	6	重要文化財	駒形神社本殿（附 棟札4枚）	塚 原	駒形神社	S24.5.30
	7	重要文化財	鉄 鐘	跡 部	藤沢平治	S52.6.11
	8	重要文化財	新海三社神社三重塔	田 口	新海三社神社	M40.8.28
	9	重要文化財	新海三社神社東本社	田 口	新海三社神社	S12.7.29
	10	重要文化財	六地藏幢	入 沢	佐久市	S36.3.23
	11	重要文化財	高良社（旧八幡神社本殿）	蓬 田	八幡神社	S17.12.22
	12	重要文化財	福王寺の木造阿弥陀如来坐像	協 和	福王寺	S25.8.29
	13	重要文化財	真山家住宅	望 月	真山純子	S48.6.2
	14	重要無形民俗文化財	跡部の踊り念仏	跡 部	跡部踊り念仏保存会	H12.12.27
	15	天然記念物	岩村田ヒカリゴケ産地	岩村田	佐久市	T10.3.3
県 指 定	16	県 宝	木造阿弥陀如来坐像	岩村田	西念寺	S34.11.9
	17	県 宝	木造地藏菩薩半跏倚像	根々井	正法寺	S44.5.15
	18	県 宝	版本大般若経	安 原	安養寺	S63.3.24
	19	県 宝	貞祥寺三重塔	前 山	貞祥寺	H4.9.10
	20	県 宝	木造阿弥陀如来及び両脇侍立像	安 原	安養寺	H6.8.15
	21	県 宝	貞祥寺惣門及び山門	前 山	貞祥寺	H15.4.21
	22	県 宝	井出家座敷	臼 田	井出 温	S50.7.21

指定区分	文化財名	名称	所在地	所有者又は継承者	指定年月日
県 指 定	23	県 宝 上宮寺梵鐘	田 口	上宮寺	S52. 3. 31
	24	県 宝 鑄銅箔鍍金花瓶	臼 田	弥勒寺	S61. 3. 27
	25	県 宝 金剛力士像	田 口	上宮寺	H21. 4. 20
	26	県 宝 安養寺の木造伝法燈国師坐像	安 原	安養寺	H22. 10. 19
	27	県 宝 絹本著色愛染明王像	協 和	福王寺	H27. 9. 24
	28	無形民俗文化財 湯原神社式三番	湯 原	湯原神社式三番保存会	S56. 2. 2
	29	史 跡 三河田大塚古墳	三河田	柳沢 茂	S37. 7. 12
	30	史 跡 伴野城跡	野 沢	大伴神社・佐久市	S40. 4. 30
	31	史 跡 根井氏館跡	根々井	正法寺	S40. 7. 29
	32	史 跡 北高禪師墓碑	岩村田	龍雲寺	S44. 10. 2
	33	史 跡 岩尾城跡	鳴 瀬	個人 3 9 人	S46. 5. 27
	34	史 跡 平賀氏城跡	常 和	個人 3 7 人	S46. 5. 27
	35	史 跡 大井城跡（王城・黒岩城）	岩村田	個人 3 4 人	S46. 5. 27
	36	史 跡 五郎兵衛用水跡	望月・浅科	佐久市・国土交通省	S58. 12. 26
	37	天然記念物 王城のケヤキ	岩村田	荒宿十二社	S61. 3. 27
	38	天然記念物 広川原の洞穴群	田 口	禪昌寺・市川栄三郎	S51. 3. 29
	39	天然記念物 臼田トンネル産の古型マンモス化石	取出町	佐久市	H25. 3. 25
市 指 定	40	有形文化財 金台寺の鉦	野 沢	金台寺	S46. 10. 1
	41	有形文化財 竹田の鉦（一）	根 岸	工藤光吉	S46. 10. 1
	42	有形文化財 竹田の鉦（二）	根 岸	工藤文武	S46. 10. 1
	43	有形文化財 平賀村中善寺大般若経	平 賀	中善寺	S49. 12. 1
	44	有形文化財 下桜井村寛永の五人組帳	桜 井	臼田繁雄	S49. 12. 1
	45	有形文化財 永禄十一年上原筑前御恩御検地帳	瀬 戸	柳沢 譲	S49. 12. 1
	46	有形文化財 平尾大社本殿	上平尾	平尾大社	S49. 12. 1
	47	有形文化財 取出町百番観音	取出町	取出町区	S49. 12. 1
	48	有形文化財 桃源院木造地藏菩薩坐像	鳴 瀬	桃源院	S49. 12. 1
	49	有形文化財 大沢村旧長命寺仁王堂應永在銘石柱	大 沢	長命寺	S54. 9. 25
	50	有形文化財 曆應在銘板碑	中 込	正楽寺	S57. 3. 1
	51	有形文化財 龍雲寺の中世文書	岩村田	龍雲寺	S62. 10. 20
	52	有形文化財 安養寺の中世文書	安 原	安養寺	S62. 10. 20
	53	有形文化財 上直路遺跡出土遺物	志 賀	佐久市	S62. 10. 20
	54	有形文化財 東一本柳古墳出土遺物	志 賀	佐久市	S62. 10. 20
	55	有形文化財 北西ノ久保遺跡出土の埴輪	志 賀	佐久市	S62. 10. 20
	56	有形文化財 周防畑B遺跡出土遺物	志 賀	佐久市	S62. 10. 20

指定区分		文化財名	名称	所在地	所有者又は継承者	指定年月日
市 指 定	57	有形文化財	中道遺跡出土遺物	志 賀	佐久市	S62.10.20
	58	有形文化財	瀧ノ峯古墳群出土遺物	志 賀	佐久市	S62.10.20
	59	有形文化財	後沢遺跡出土遺物	志 賀	佐久市	S62.10.20
	60	有形文化財	大井法華堂修験関係文書	岩村田	大井道也	H1.11.6
	61	有形文化財	木造愛染明王坐像および脇侍木造両界大日如来坐像	志 賀	法禅寺	H1.11.6
	62	有形文化財	旧大沢小学校	大 沢	佐久市	H8.6.6
	63	有形文化財	倉沢薬師堂（附 宮殿、石造薬師如来立像、加舎白雄自筆奉納俳額）	前 山	貞祥寺	H10.4.30
	64	有形文化財	岩村田若宮神社祇園社神輿	岩村田	荒宿区	H24.6.28
	65	有形文化財	正法寺多層塔	根々井	正法寺	H10.12.28
	66	有形文化財	相沢寺仏面	臼 田	相沢寺	S48.3.10
	67	有形文化財	田野口藩陣屋日記	臼田文化センター	佐久市	S50.11.22
	68	有形文化財	湯原神社青銅鰐口	湯 原	湯原神社	S52.3.31
	69	有形文化財	大宮諏訪神社青銅鰐口	入 沢	大宮諏訪神社	S52.3.31
	70	有形文化財	信濃奇勝録版木	臼 田	井出克征	S52.3.31
	71	有形文化財	滝秩父札所観音石仏	湯 原	湯原区	S53.2.17
	72	有形文化財	水落観音町石石仏	田 口	水落山観音院	S53.2.17
	73	有形文化財	相沢寺平鉦	臼 田	相沢寺	S54.3.31
	74	有形文化財	弥勒寺板碑	臼 田	弥勒寺	S54.3.31
	75	有形文化財	医王寺板碑	臼 田	医王寺	S54.3.31
	76	有形文化財	御魂代石	田 口	新海三社神社	S55.3.31
	77	有形文化財	岩水秩父札所観音木像	平 林	岩水区	S55.3.31
	78	有形文化財	大宮諏訪神社石棒	入 沢	大宮諏訪神社	S57.4.1
	79	有形文化財	解体人形	田 口	小林美和子	S57.4.1
	80	有形文化財	磨崖石仏群	三 分	三分区	S58.3.25
	81	有形文化財	姫の石像	下小田切	下小田切区	S58.3.25
	82	有形文化財	大日宝塔	三 分	遍照寺	S58.3.25
	83	有形文化財	丸山家中世古文書	田 口	丸山楨太	S58.3.25
	84	有形文化財	新海三社神社中世古文書	田 口	新海三社神社	S58.3.25
	85	有形文化財	小太刀古狐丸	入 沢	日向廣邦	S60.3.28
	86	有形文化財	地獄極楽図	臼 田	弥勒寺	S62.3.25
	87	有形文化財	入沢焼茶壺	臼田文化センター	佐久市	S63.4.18
	88	有形文化財	物部の銅印	清 川	上原政彦	H5.7.1
	89	有形文化財	蔵手刀	臼田文化センター	佐久市	H5.7.1
	90	有形文化財	鍔帯具	臼田文化センター	佐久市	H5.7.1

指定区分		文化財名	名称	所在地	所有者又は継承者	指定年月日
市 指 定	91	有形文化財	山宮家中世古文書	田 口	山宮博子	H8. 5. 1
	92	有形文化財	龍岡藩高札場	田 口	佐久市	H9. 4. 1
	93	有形文化財	日影堂百番観音木像	臼 田	医王寺	H9. 4. 1
	94	有形文化財	吉祥寺山門	入 沢	吉祥寺	H10. 4. 1
	95	有形文化財	薬師堂薬師三尊像	入 沢	日向一族	H10. 4. 1
	96	有形文化財	泉龍院涅槃図	中小田切	泉龍院	H12. 3. 27
	97	有形文化財	磨崖青面金剛	田 口	大工原一彦	H14. 3. 6
	98	有形文化財	新海三社神社中本社・西本社	田 口	新海三社神社	H14. 3. 6
	99	有形文化財	大宮諏訪神社本殿	入 沢	大宮諏訪神社	H15. 3. 6
	100	有形文化財	三条神社本殿	入 沢	三条区	H15. 3. 6
	101	有形文化財	矢島の五輪塔	矢 島	宝泉寺	S25. 12. 1
	102	有形文化財	五輪塔群	塩名田	塩名田区	S47. 8. 1
	103	有形文化財	山の神石祠	御馬寄	御馬寄区	S56. 8. 1
	104	有形文化財	石仏十王像	御馬寄	御馬寄区	S56. 8. 1
	105	有形文化財	矢島道祖神	矢 島	矢島区	S62. 10. 1
	106	有形文化財	長念寺の木造阿弥陀如来立像及び胎内文書	甲	長念寺	H9. 2. 20
	107	有形文化財	八幡神社の算額	八 幡	八幡神社	H9. 2. 20
	108	有形文化財	八幡神社の瑞垣門	八 幡	八幡神社	H9. 2. 20
	109	有形文化財	八幡神社の隨身門	八 幡	八幡神社	H9. 2. 20
	110	有形文化財	八幡神社の本殿	八 幡	八幡神社	H9. 2. 20
	111	有形文化財	百番観音石仏群	春 日	飯塚宗治	S61. 9. 10
	112	有形文化財	市川家の石造大日如来	布 施	市川 豊	S61. 9. 10
	113	有形文化財	城光院の石造庚申塔	望 月	城光院	S61. 9. 10
	114	有形文化財	城光院の石造十王像	望 月	城光院	S61. 9. 10
115	有形文化財	城光院の石造宝篋印塔	望 月	城光院	S61. 9. 10	
116	有形文化財	万治の石造大日如来	協 和	比田井良嗣	S61. 9. 10	
117	有形文化財	福王寺の石造庚申塔	協 和	福王寺	S61. 9. 10	
118	有形文化財	福王寺の木造日光菩薩立像	協 和	福王寺	S61. 9. 10	
119	有形文化財	福王寺の木造月光菩薩立像	協 和	福王寺	S61. 9. 10	
120	有形文化財	福王寺の木造雨宝童子立像	協 和	福王寺	S61. 9. 10	
121	有形文化財	福王寺の木造毘沙門天立像	協 和	福王寺	S61. 9. 10	
122	有形文化財	月輪寺跡の石造笠塔婆	印 内	印内区	S61. 9. 10	
123	有形文化財	天神の元禄の石造双体道祖神	協 和	天神区	S61. 9. 10	
124	有形文化財	入布施の石造片手合掌双体道祖神	布 施	入布施区	S61. 9. 10	

指定区分		文化財名	名称	所在地	所有者又は継承者	指定年月日
市 指 定	125	有形文化財	牧布施の石造庚申塔	布 施	牧布施区	S61.9.10
	126	有形文化財	不動明王立像	春 日	蓮華寺	H20.6.13
	127	有形文化財	立鼓柄刀	中 込	佐久市	H28.12.22
	128	無形民俗文化財	岩村田祇園におけるお船様祭り	岩村田	荒宿区	S58.9.1
	129	無形民俗文化財	鳥追い祭り	甲	鳥追い祭り保存会	H9.2.20
	130	無形民俗文化財	岩下の踊り念仏	春 日	岩下踊り念仏保存会	S61.9.10
	131	無形民俗文化財	根神社の式三番叟	春 日	根神社式三番叟保存会	S61.9.10
	132	無形民俗文化財	榊祭	望 月	望月区	S61.9.10
	133	無形民俗文化財	春日本郷地区道祖神祭り	春 日	春日本郷地区	H10.2.20
	134	史 跡	大梅禅師墓碑	内 山	正安寺	S45.10.1
	135	史 跡	鶴縄沢端一里塚東塚	岩村田	関口芳幸	S45.10.1
	136	史 跡	安原大塚古墳	安 原	英多神社	S45.10.1
	137	史 跡	北西ノ久保の石造塔婆群	岩村田	信州短期大学	S49.12.1
	138	史 跡	正楽院の供養塔	平 賀	長福寺	S49.12.1
	139	史 跡	前山城跡	前 山	個人1 1 人	S56.4.23
	140	史 跡	瀧ノ峯古墳群	根 岸	個人6名	S62.10.20
	141	史 跡	後沢遺跡	小宮山	佐久市	S62.10.20
	142	史 跡	蛇塚古墳	臼 田	佐久市	S47.5.5
	143	史 跡	幸神古墳群	田 口	新海三社神社	S47.5.5
	144	史 跡	西の窪1 9 号古墳	入 沢	桜井やす	S47.5.5
	145	史 跡	塩名田本陣跡	塩名田	丸山良一	S25.12.1
	146	史 跡	御馬寄古城跡	御馬寄	山浦幸之助外	S25.12.1
	147	史 跡	土合一号古墳	甲	金箱 保	S25.12.1
	148	史 跡	火の雨塚古墳	桑 山	寺尾福丸	S25.12.1
	149	史 跡	虚空蔵のろし台跡	矢 島	八幡神社	S25.12.1
	150	史 跡	舟つなぎ石	塩名田千曲川河川敷	国土交通省	S25.12.1
	151	史 跡	野馬除け柵跡	御牧原	個人所有	S35.8.15
	152	史 跡	中山道一里塚跡	甲	山本武広	H9.2.20
	153	史 跡	八幡宿本陣跡	八 幡	小松勇夫	H9.2.20
	154	史 跡	兜山古墳	八幡・蓬田	依田 仁	H16.11.24
	155	史 跡	下吹上遺跡	協 和	佐久市	S61.9.10
	156	史 跡	中山道	布施・望月・茂田井	佐久市	S61.9.10
	157	史 跡	王塚古墳	協 和	比田井区	S61.9.10
	158	名 勝	皎月原	小田井	佐久市	S53.2.1

指定区分		文化財名	名称	所在地	所有者又は継承者	指定年月日
市 指 定	159	天然記念物	白山神社イチイの古樹	常 和	白山神社	S45.10.1
	160	天然記念物	野沢町の女男木	野 沢	大伴神社	S46.10.1
	161	天然記念物	チョウゲンボウ	伴野・鳴瀬	—	S53.2.1
	162	天然記念物	お神明の三本松	上小田切	上小田切西区	S47.5.5
	163	天然記念物	入沢風穴	入 沢	三石嗣佳	S48.3.10
	164	天然記念物	黒沢家 コナラ	湯 原	黒沢家	H16.2.13
	165	天然記念物	児落場峠天然カラマツ	入 沢	佐久市	H16.2.13
	166	天然記念物	関所破りの桜	甲	市川恒世	S44.5.15
	167	天然記念物	勝手神社のケヤキの木	御馬寄	勝手神社	H15.10.30
	168	天然記念物	山の神のコナラ群	春 日	春日財産区	H9.3.14
	169	天然記念物	小野山家のエドヒガン	春 日	小野山駿吉	H9.3.14
	170	天然記念物	蓮華寺のスギ	春 日	蓮華寺	H9.3.14
	171	天然記念物	大井家のエドヒガン	協 和	大井誉敬	H9.3.14
	172	天然記念物	福王寺のヒイラギ	協 和	福王寺	H9.3.14

イ 国登録有形文化財

指定区分		文化財名	名称	所在地	所有者又は継承者	登録年月日
国 登 録	1	建 造 物	武重本家酒造及び武重家住宅	茂田井	武重徳衛	H12. 4. 21
	2	建 造 物	市川家住宅主屋と土蔵	中 込	市川平八郎	H17. 6. 17
	3	建 造 物	佐藤家住宅主屋 他	協 和	佐藤正臣	H23. 10. 28

ウ 国史跡・重要文化財 旧中込学校及び資料館

位置 佐久市中込1877番地

電話 0267-62-7845（管理事務所）

(ア) 建物の歴史

明治 8年 4月20日 着工
 明治 8年12月25日 竣工
 昭和41年 1月27日 長野県宝指定
 昭和44年 3月12日 重要文化財指定
 昭和44年 4月12日 国史跡指定
 昭和46年 8月 1日 保存解体修理着手
 昭和48年 6月30日 保存解体修理終了
 平成 7年1月～12月 保存修理事業
 平成25年11月～平成27年6月 防災修理整備事業

(イ) 概要

明治5年（1872）学制発布に伴い下中込村、今井村及び三河田村の三村の組合立として、
 明治6年（1873）9月に小林寺を仮校舎にあて、「成知学校」が設立されました。

明治7年（1874）に校舎新築を決定し、翌明治8年（1875）2月に建設位置を決定、用地

買収を行い、同年4月に工事着手、同年12月に落成、同日移転開校しました。

旧中込学校は我が国に現存する擬洋風学校としては、最も古い学校建築物のひとつです。

明治9年(1876)5月には校名を「第6大学区第17中学区第7番中込学校」と改称し、大正8年(1919)の新校舎建築まで使用され、その後は、昭和43年(1968)まで市役所分室などに転用されました。

建築費用(6,098円51銭8厘)は、ほとんどを村内全戸及び近隣の篤志者による寄付金でまかない、設計及び建築は地元下中込村出身で、明治2年(1869)から4年余り渡米して西洋建築を学んだと伝えられている市川代治郎に請負わせ、最新の洋式建築が取り入れられました。

中央の八角の塔の天井から太鼓を吊るして時を告げたことから「太鼓楼」また、窓にガラスを使用したことから「ギヤマン学校」とも呼ばれ、当時は見学者が後を絶たなかったといわれています。

昭和41年(1966)に長野県宝、昭和44年(1969)には重要文化財及び国史跡の指定を受け、建築関係文書3点も附帯指定されています。

昭和46年(1971)から昭和48年(1973)まで解体復元工事、平成7年(1995)に保存修理工事、平成25年(2013)から平成27年(2015)まで耐震補強及び部分修理工事を実施しました。

(ウ) 構造及び形式

木造二階建 寄棟造 妻入 棧瓦葺 八角塔屋付

本屋：間口7間(12.8m) 奥行11間(20.0m) 高さ5丈8尺(17.6m)

1階81坪(267.5㎡) 2階77坪(254.3㎡)

1階は玄関ポーチ、生徒控所、小使部屋、宿直室、第一教場、講堂があり、2階は中央に廊下をとり、前面にベランダを付し、南側3室、北側3室である。

太鼓楼は、八角で各辺1.06m、二階の中央階段から上る。

(エ) 開館時間

4月～10月：午前9時から午後5時まで

11月～3月：午前9時から午後4時まで

(オ) 休館日

a 毎週月曜日

b 国民の祝日の翌日(祝日が月曜日のときはその翌日)

c 年末年始(12月29日～1月3日)

(カ) 観覧料

区 分	一 般		学 生 等			
	個人	団体 (20人以上)	大学生・高校生		中学生・小学生	
			個人	団体 (20人以上)	個人	団体 (20人以上)
観覧料	250円	200円	150円	120円	120円	100円

(キ) 旧中込学校及び資料館年度別観覧者一覧

	公開日数	一 般	大学・高校生	中学・小学生	計	備考
平成25年度	293日	6,266人	96人	1,597人	7,959人	3/17から休館
平成26年度	0日	防災修理整備工事のため休館				
平成27年度	206日	4,137人	90人	550人	4,777人	7/28から公開再開
平成28年度	308日	5,034人	81人	1,045人	6,160人	
平成29年度	308日	5,724人	158人	1,691人	7,573人	

※ 防災修理整備工事のため、平成26年3月17日から平成27年7月27日まで休館

エ ガソリンカー及び蒸気機関車（旧中込学校資料館南に公開展示 見学無料）

（ア）ガソリンカー「キホハニ56号」

J R小海線の前身佐久鉄道で昭和5年（1930）から県下で初めて使用され、第2次世界大戦まで活躍しました。

（イ）蒸気機関車「SL：C56 101号」

C56型蒸気機関車は、昭和10年（1935）にC12型の改良型として164両が製造され、全長14.3m、高さ3.9mで出力505馬力、最高速度75km/hの性能でした。

小海線を走るC56型蒸気機関車は、昭和10年（1935）小海線全線開通とともに配置され、以後「高原のポニー（仔馬）」と呼ばれ人々に親しまれましたが、昭和47年（1972）12月に鉄路からその姿を消しました。

オ 島崎藤村旧宅（前山 貞祥寺敷地内）

藤村（本名：春樹 1872～1943）が、明治32年（1899）4月小諸義塾教師として小諸へ赴任してきてから明治38年（1905）4月同教師を辞するまでの6年間をこの家で過ごしました。

この家は、大正9年（1920）に本間邸の一部として佐久市前山南へ移転されましたが、藤村生誕100年を迎えた昭和47年（1972）、本間氏をはじめとする関係者の理解と協力に基づき、昭和48年（1973）から昭和49年（1974）に解体復元工事を行い、現在に至っています。

4月下旬から11月上旬までの土日祝日、ゴールデンウィーク及びお盆に一般公開します。

（ア）構造概要 木造茅葺平屋建 35.5坪（117.3㎡）

（イ）開館時間 午前9時30分から午後3時30分まで

（ウ）開館日 土日祝日、ゴールデンウィーク及びお盆

（エ）観覧料 無料

（オ）島崎藤村旧宅年度別観覧者一覧

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
公開日数	149日	149日	149日	147日	136日
観覧者数	1,715人	1,977人	2,479人	2,316人	2,090人

カ 国史跡 龍岡城跡

位置 佐久市田口3000番地1外

藩主 松平乗謨（大給 恒）

〔奥殿藩、文久3年田野口藩、明治元年龍岡藩となる〕

〔明治元年に「大給」明治2年に「恒」と改名〕

（ア）築城の概要

この城を築いたのは、大給松平最後の11代目藩主松平乗謨であります。

乗謨の松平家は、家康から5代前の親忠の時に分家した徳川の一族で大給松平といわれています。代々三河の奥殿（愛知県岡崎市）に本領を置き、奥殿に4千石の領地のほか、摂津、河内、丹波の3ヶ国に1万2千石を持っていました。宝永元年（1704）に3ヶ国の1万2千石が、信州佐久に移されて以来160年間、佐久には陣屋を置いて統治していました。

文久2年（1862）に、幕府は参勤交代制の緩和政策をとり、妻子を帰国させることにしました。当時の情勢は薩長を中心とする幕府打倒の動きがあり、東海道を面した三河の奥殿藩のような小藩は、両勢力の対立の中では危険が多く、家族を国元に帰すには奥殿より佐久の方が安全であること等から信州への本領替えを決意しました。

文久3年(1863)に本領替えの許可があり、翌元治元年(1864)に着工し、足掛け4年、慶応3年(1867)に新陣屋「五稜郭」が完成しました。

乗謨は、学才識見ともに優れた藩主であり、幕府の陸軍奉行、老中格、陸軍総裁などの要職につきました。また、開国論者であり洋学に詳しく、練兵は他藩に先んじてフランス式を採用していました。

このため築城にあたっては、フランスのヴォーバン元帥が考案したといわれる星形稜堡の洋式築城法で築城されました。石垣工事には、洋式築城の経験がある高遠藩から棟梁と石工60人を招きました。日本で最後に完成した城で、函館五稜郭とともに日本に二つしかない五つの角をもつ星形稜堡の洋式の城であります。

明治4年(1871)の廃藩とともに新陣屋五稜郭の土地、建物はほとんど処分されました。

大広間、書院、東通用門、薬医門は買い取られて市内に残っています。

お台所は、引き取り手がなく、明治5年(1872)の学制発布により、学校としての使用申請が認められたため、唯一の遺構として残されています。明治8年(1875)から学校として内部を改造して使用され、昭和4年(1929)に現在地に移され、昭和35年(1960)から昭和36年(1961)にかけ半解体復元工事が行われました。

堀は、いつしか埋められ畑に変わり、桑の木が一面に植えられていましたが、昭和7年(1932)に堀をもう一度掘り起こそうと旧田口村の人たちが村を挙げて復元にとりかかり、昭和8年(1933)にもとの姿を取り戻し、翌昭和9年(1934)5月1日に国史跡に指定されました。

(イ) 築城の概要

総面積	20, 175坪 (66, 694㎡)
内 城	5, 640坪 (18, 645㎡)
外 城	14, 535坪 (48, 049㎡)
堀 幅	4間 (7. 27m)
	大手門前 5間 (9. 09m)
土 塁	高さ 7尺5寸 (2. 27m)
	巾 4間 (7. 27m)
周囲堀	長さ 375間 (682m)
	深さ 1丈2尺 (3. 64m)
総費用	4万円余
普請奉行	家老 出井勘之進

(ウ) 龍岡城跡保存管理計画の推進

平成23～24年度に策定した「史跡龍岡城跡保存管理計画書」の方針に基づき、関係機関との協議を行いながら、石垣や土塁等の構造物の保存管理、修理に努めていきます。

キ 動画等による周知及び活用

市内文化財を紹介した動画の配信による周知を図るとともに、旧中込学校等の文化財における写真撮影会等の誘致により文化財の活用を図っていきます。

(2) 文化財調査事業

事業方針

国民共有の財産であると同時に、地域の歴史と文化に根ざした歴史的遺産である埋蔵文化財の保護・保存及び調査・研究を行い、その成果を出土品の展示や説明会等を通じて広く公開することにより、市民の文化財に対する理解を深めるとともに、文化財愛護精神の高揚を

図ります。

ア 埋蔵文化財の状況

埋蔵文化財は、文化財保護法で「土地に埋蔵されている文化財」と定義されています。

①集落址、遺物散布地等 855箇所

②城館跡 96箇所

③古墳、横穴、塚 221箇所

の合計1,172箇所の遺跡を数えているが、これは平坦部のみで、今後山間部における詳細分布調査が進むと、新たに遺跡が発見される可能性があります。

イ 平成29年度実施概要

(ア) 埋蔵文化財調査

No.	遺 跡 名	所在地	開発事業	調査概要
1	西八日町遺跡Ⅷ	岩村田	宅地造成事業	弥生～中世の集落跡
2	上聖端遺跡Ⅳ	長土呂	事務所増築	縄文～中世の集落跡
3	家地頭古墳	常田・塚原	アパート建築	古墳時代、古墳
4	道常遺跡Ⅲ	常田字家地頭288-1	高齢者向け住宅建築	縄文～平安の集落跡
5	西近津遺跡Ⅺ	長土呂	宅地造成事業	縄文～平安の集落跡
6	大豆田遺跡Ⅴ	長土呂	宅地造成事業	縄文～平安の集落跡
7	古仁田遺跡Ⅱ	根々井	宅地造成事業	縄文～平安の散布地
8	岩村田遺跡群	岩村田	都市公園整備事業(仮称一本柳公園)	弥生～中世の集落跡
9	藤ヶ城跡Ⅱ・Ⅲ	岩村田	小学校改築	古墳～平安時代の集落跡
10	市内遺跡発掘調査	市内一円	開発事業に先立つ試掘調査139件、工事立会186件	
11	出土遺物保存処理		鉄製品70点	

受託事業7件(No. 1～7)、市関係事業2件(No. 8～9)の他、国庫補助事業として試掘確認調査139件、工事立会186件(No. 10)、出土遺物保存処理70点(No. 11)を実施しました。

(イ) 展示

a 文化振興課文化財事務所「展示室」

市内の各遺跡より出土した氷河期から平安時代までの主な出土品170点余を常設展示しています。

文化財事務所の駒場への移転を契機として、平成29年(2017)8月11日から「考古遺物展示室」を開設しました。また、これに伴い、旧文化財事務所(志賀)の「展示室」は、平成28年度をもって閉室しました。

年 度	市 内	県 内	県 外	計
平成25年度	198	1	0	199
平成26年度	231	23	11	265
平成27年度	205	6	12	223
平成28年度	281	7	58	346
平成29年度	714	102	75	891

8月11日から
3月31日まで

※平成29年度県外者には外国人26名を含む

b 臼田文化センター

展示替えにより近津土地区画整理事業に伴う発掘調査により出土した弥生土器、和同開珎等を展示。その他、臼田地域からの出土品を常設展示。

c 望月歴史民俗資料館

日本で初めて発見された石積みのある柄鏡形敷石住居跡の復元住居や、望月地域からの出土品を常設展示。

d 佐久平浅間小学校

校舎新築に伴う発掘調査による出土品の一部を図書館に常設展示。

e 岩村田小学校

校舎改築に伴う発掘調査による出土品の一部を図書館に常設展示。

(ウ) 教室・講座

a 子どもも大人も考古学教室

実施期日	場 所	内容及び参加者
8月11日(金) 12日(土)	文化財事務所	勾玉作り・土器接合・展示室見学・学ぼう歴史 小学生・中学生・保護者等 343名

b 歴史講座

(a) 文化財事務所主催

文化財事務所主催の歴史講座を「考古遺物展示室」を活用し実施しました。

実施回数：2回、延べ参加者数：57名

(b) 要請により実施

小学校及び公民館等各種団体からの要請により、市内で行った発掘調査の成果を中心とした歴史講座を開催しました。

実施回数：11回、延べ参加者数：536名

ウ 平成30年度実施計画

(ア) 埋蔵文化財調査

市関係事業8件、県等からの受託事業9件、民間事業者等に対する試掘確認調査及び工事立会約300件を見込む他、国庫補助事業として出土遺物保存処理を計画しています。

(イ) 普及・公開

名 称	実施期日	内 容
子どもも大人も考古学教室	7月29日(日) 7月30日(月)	音声案内ガイド導入に合わせ、同じ佐久市出身の声優をナレーションに依頼した、子ども未来館と連携し開催 展示室見学、勾玉づくり、プラネタリウム鑑賞等
市民講座	8月25日(土)	県立歴史館、県埋蔵文化センター職員を講師に招いた歴史講座の開催
考古遺物展示室 特別企画展	7月29日(日)～ 8月31日(金)	常設展示に加えて佐久市出土の弥生時代の人型土器を加えた展示を行う。
歴史講座	11月(中旬)、2月(中旬)を予定	・文化財事務所展示室解説 ・佐久3万年の歴史
出前講座「佐久市まちづくり講座」メニュー 歴史講座(佐久の歴史)	随時	佐久市内における発掘調査の成果等
出張 佐久市の歴史学習	随時	小中学校へ出張し、実際の出土品に触れること等による歴史学習
出土品の貸出 (授業で活用)	随時	小中学校の授業での活用を図る目的で出土品を貸出を行う

佐久市の遺跡と歴史年表

B. C＝紀元前 A. D＝紀元後

時代		年代	主なできごと	佐久市の主な遺跡
旧石器時代	後期	30000		立科F遺跡(前山) 八風山Ⅱ遺跡群(香坂)
		14000	細石器文化	天神尾根遺跡(志賀)
		12000		八風山遺跡群(香坂)
縄文時代	草創期		土器の使用開始	寺畑遺跡群(猿久保)
	早期	7000		寄山遺跡(志賀・瀬戸)
	前期	5000		榛名平遺跡(根岸) 御所平遺跡(内山)
			土偶信仰が隆盛 〈青森三内丸山遺跡〉 縄文のビーナス(茅野市)	寄山遺跡(志賀・瀬戸)、中村遺跡(根岸) 平石遺跡(協和)、鶉ヲネ遺跡(香坂) 大奈良遺跡(田口)、下吹上遺跡(協和)
	中期			
	後期	2000		滝の下遺跡(前山)
	晩期	1000	稲作技術の伝播	
弥生時代	前期	300	金属製品の伝播	東五里田遺跡(野沢) 下信濃石遺跡(岩村田)
	中期	B.C100		
		0	弥生人面付土器(一本柳遺跡群) 倭奴国王後漢に朝貢、金印を受ける(57) 〈佐賀吉野ヶ里遺跡〉	深堀遺跡(瀬戸) 北西ノ久保遺跡(岩村田)、根々井芝宮遺跡(根々井) 西一本柳遺跡(岩村田)、川原端遺跡(鳴瀬) 直路遺跡(長土呂) 上直路遺跡(長土呂)、周防畑B遺跡(長土呂) 後家山遺跡(平賀)、西一里塚遺跡(平塚)
	後期	A.D100		後沢遺跡(小宮山)、舞台場遺跡(根岸) 榛名平遺跡(根岸)、下小平遺跡(岩村田)
		200	卑弥呼魏に奴隷・布などを朝貢、金印・銅鏡などを受ける(239)	
古墳時代	前期		国内統一	瀧の峯古墳群(根岸)、中仲田遺跡(長土呂)
	中期	400	大型の前方後円墳出現 埴輪の隆盛	腰巻遺跡(上平尾) 北西ノ久保遺跡(岩村田)、砂原遺跡(塩名田) 市道遺跡(野沢)
		500		下聖端遺跡(長土呂)、後家山2号古墳(平賀) 三河田大塚古墳、安原大塚古墳
	後期	600	仏教・漢字の伝来 聖徳太子摂政(593) 十七条憲法制定(603) 大化の改新(645)	聖原遺跡(長土呂)、樋村遺跡(平賀) 蛇塚古墳(安原)、山ノ神古墳(協和) 長峰古墳群(内山)、土合古墳(甲)
		700		石附窯址(根岸)

時代	年代	主なできごと	佐久市の主な遺跡
奈良時代	700	平城遷都(710)	前田遺跡(小田井)、聖原遺跡(長土呂) 西一本柳遺跡(岩村田) 市道遺跡(三塚)、原遺跡(田口)
平安時代	前期	800 平安遷都(794)	鋳物師屋遺跡(小田井) 前田遺跡(小田井)
	中期	900 荘園整理令(902) 承平・天慶の乱(935)	聖原遺跡(長土呂) 上の城遺跡(岩村田) 深堀遺跡(瀬戸)
		1000 前九年の役(1051) 後三年の役(1083)	宮の上遺跡(横和) 根々井芝宮遺跡(根々井) 下万助遺跡(上平尾)
	後期	保元の乱(1156) 源頼朝・木曾義仲挙兵(1180)	地ヶ入遺跡(志賀) 上久保田遺跡(岩村田)
鎌倉時代	1200	頼朝征夷大將軍(1192)	柳堂遺跡(岩村田)、内西浦遺跡(岩村田)
	1300	鎌倉幕府滅亡(1333)	観音堂遺跡(岩村田)、梨の木遺跡(中込)
南北朝		足利尊氏征夷大將軍(1337)	北西ノ久保石造塔婆群(岩村田) 下信濃石遺跡(岩村田)、権現平遺跡(安原) 番屋前遺跡(猿久保)、大井城跡(岩村田)
室町時代	1400	南北朝統一(1392)	榛名平遺跡(根岸) 前藤部遺跡(小田井) 前田遺跡(小田井)
戦国時代	1500	応仁の乱(1467) 川中島の戦(1553)	白岩城跡Ⅰ・Ⅱ(上平尾) 金井城跡(小田井) 野沢館跡(野沢)、坪の内遺跡(内山)
	1600	関が原の戦(1600)	地ヶ入砦址(志賀)
江戸時代	1700	徳川家康征夷大將軍(1603)	薬師寺遺跡(原) 榛名平遺跡(根岸)
	1800		内西浦遺跡Ⅱ(岩村田) 龍岡城跡(田口)
明治時代	1900		

4 社会体育

事業方針

市体育施設の適正な維持管理を図りながら、市民一人ひとりが生涯を通じて、楽しく参加できるスポーツを身につけ、スポーツを通じて健康な心とからだをつくれるよう、各種スポーツ大会や教室等を開催し、スポーツの振興を図ります。

平成 30 年度のスポーツに関する計画及び平成 29 年度実績並びに体育施設の状況は次のとおりです。

(1) スポーツ大会・スポーツ教室等の状況

ア 平成 30 年度スポーツ大会予定

No.	大会名称	開催期日	会 場
1	第51回佐久市強歩大会	4/21（土）～ 22（日）	菰崎小学校～ 佐久市総合体育館
2	第14回佐久市壮年ソフトボール大会 （リーグ戦）	5/13（日）～ 8月末	市内中学校校庭ほか
3	第14回佐久市民ゴルフ大会	5/27（日）	サニーカントリークラブ
4	第14回佐久市ママさんバレーボール大会	7/ 1（日）	佐久市総合体育館
5	第14回佐久市少年野球大会	7/21（土）～ 22（日）	千曲川スポーツ交流広場 浅科総合グラウンド
6	第14回佐久市少女ミニバス大会	7/21（土）	佐久市総合体育館
7	第9回abn佐久市ジュニアゴルフ大会	8/2（木）	サニーカントリークラブ
8	第14回佐久市寿ゲートボール大会	8/27（月）	駒場公園多目的広場
9	第14回佐久市マレットゴルフ大会	9/ 9（日）	駒場公園 マレットゴルフ場
10	第31回佐久市望月強歩大会	9/2（日）	望月総合体育館
11	第12回佐久市プラチナ寿ママさんバレー ボール大会	10/ 3（水）	佐久市総合体育館
12	第28回佐久市ハーフマラソン大会	10/14（日）	佐久総合運動公園 陸上競技場発着
13	第14回佐久市少年少女サッカー大会	10/27（土）	佐久総合運動公園 陸上競技場
14	第14回佐久市小学生ドッジボール大会	11/24（土）	佐久市総合体育館
15	第26回佐久市・和光市スポーツ交流会	6/ 2（土）	和光市
16	第35回佐久市・静岡市親善スポーツ 交流大会	10/27（土） 28（日）	静岡市
17	第12回佐久市小学生駅伝大会兼市町村対抗 小学生駅伝佐久市代表選手選考会	11/18（日）	佐久総合運動公園 陸上競技場
18	第14回市民元旦マラソン大会	1/ 1（火）	佐久総合運動公園 陸上競技場発着
19	第52回佐久市民スケート大会兼第28回銀河連邦 星のまちスピードスケート親善大会	1/ 3（木）	松原湖高原スケート センター
20	第14回佐久市民スキー大会	3月上旬	佐久スキーガーデン パラダ

イ スポーツイベント

No.	大会名称	開催期日	会 場
1	「特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」	6/24（日）	駒場公園多目的広場
2	「パラスポーツ体験フェスティバル」	7/14（土）	佐久市総合体育館
3	「SOMPOボールゲームフェスタ」	8/18（土）	佐久市総合体育館
4	ハーフマラソン大会事前ランニングクリニック	8/11（土）	佐久総合運動公園 陸上競技場

ウ 平成 30 年度佐久市スポーツ教室予定

No.	教室名	対象	月 日			曜日	回数	会場
1	レスリング	5歳～小学6年生	4/14	～	6/23	土	10回	佐久市総合体育館
2	空手	小学生～一般	4/12	～	6/21	木	10回	佐久市営武道館
3	ヨガ(昼間)	一般	4/19	～	8/9	隔週 木	10回	佐久市総合体育館 (小体育室)
4	ゴルフ	小学生～一般	5/9	～	6/8	水・ 金	10回	佐久平ゴルフ練習場
5	少林寺拳法	5歳～一般	5/8	～	7/10	火	10回	臼田武道館
6	卓球	小学生～一般	5/17	～	7/26	木	10回	佐久市総合体育館
7	筋力トレーニング	一般	4/25	～	8/8	隔週 水	10回	佐久市総合体育館 (小体育館・トレーニング室)
8	ジャズ体操	一般	6/5	～	8/7	火	10回	佐久総合体育館 (小体育室)
9	硬式テニス(臼田)	中学生～一般	5/16	～	7/18	水	10回	臼田総合運動公園
10	弓道(佐久)	中学生～一般	5/11	～	7/13	金	10回	駒場公園弓道場
11	ダンススポーツ	小・中学生	9/	～	10/	日	8回	佐久市勤労者体育館
12	太極拳	一般	6/27	～	9/5	水	10回	あいとびあ臼田
13	ヨガ(夜間)	年齢制限なし	6/4	～	9/3	月	10回	あいとびあ臼田
14	水中運動	一般	6/22	～	7/24	火、 金	10回	駒場公園プール
15	マレットゴルフ	一般	6/28	～	8/30	木	10回	駒場公園マレットゴルフ場
16	新体操	年中～小学6年の女子	5/6	～	7/15	日	10回	佐久市勤労者体育館
17	弓道(臼田)	中学生～一般	7/28	～	10/6	土	10回	臼田弓道場
18	ボールを使ったウォーキング	一般	8/	～	10/	水	10回	総合体育館他市内 コース
19	軽スポーツ(土曜開催)	一般	6/9	～	10/20	土	5回	野沢体育センター 浅間体育センター
20	軽スポーツ(平日開催)	一般	6/20	～	10/31	水	5回	佐久市総合体育館
21	ボウリング	一般	8/	～	10/	水	10回	プラザボウル
22	少年少女バドミントン	小・中学生	9/	～	11/	土	10回	野沢体育センター
23	バドミントン	一般	6/27	～	9/12	水	10回	佐久市総合体育館
24	ソフトテニス(室内)	18歳以上	10/31	～	1/9	水	10回	佐久市総合体育館

N o .	教室名	対象	月 日			曜日	回数	会場
25	硬式テニス(佐久)	中学生～一般	9/4	～	11/6	火	10回	駒場公園
26	ソフトボール（ピッチング）	小学生以上	11/18	～	2/3	日	10回	浅科多目的屋内運動場
27	少年少女スキー	小学3年生～中学生	1/	1/	1/	日	3回	佐久スキーガーデン パラダ
28	心と体を育むスポーツ レクリエーション	小学生・保護者	7/3	～	11/20	木	5回	佐久市総合体育館 野沢体育センター
29	さわやかエアロビクス	小学生以上	5/8	～	7/10	火	10回	望月小学校体育館 春日体育館（6月）
30	フットサル	小・中学生	4/16	～	6/25	月	10回	望月総合体育館
31	ソフトバレーボール	小学2年生以上	4/16	～	6/25	月	10回	望月総合体育館
32	エンジョイウォーキング	年齢制限なし	4/26	～	9/13	隔週 木	10回	望月総合体育館集合 四季を楽しむ場所
33	お楽しみバスケットボール	小学生以上	4/27	～	9/21	隔週 金	10回	望月小学校体育館
34	ピンポン	小学生以上	4/21	～	9/22	隔週 土	10回	望月総合体育館
35	ファミリースポーツ	親子ほか	4/21	～	9/22	隔週 土	10回	望月総合体育館
36	スピードスケートローラー 教室～佐久から世界へ～	小中学生	5/27	～	7/29	日	10回	美笹ローラースケート場
37	スポーツクライミング	小中学生	7/3	～	9/4	火	10回	佐久平ロッククライ ミングセンター

エ 平成 29 年度佐久市スポーツ大会実績報告

N0	大会名称	開催期日	チーム数	参加者数
1	第50回記念佐久市強歩大会	4/22（土）～ 23（日）		1,093
2	第13回佐久市壮年ソフトボール大会 （リーグ戦）	5/14（日）～ 8月末	80	1,570
3	第13回佐久市民ゴルフ大会	5/28（日）		194
4	第13回佐久市ママさんバレーボール大会	7/2（日）	26	321
5	第13回佐久市少年野球大会	7/22（土）～ 23（日）	17	256
6	第13回佐久市少女ミニバス大会	7/22（土）	13	144
7	第8回abn佐久市ジュニアゴルフ大会	8/10（木）		89
8	第13回佐久市寿ゲートボール大会	8/28（木）	18	100
9	第13回佐久市マレットゴルフ大会	9/3（日）		103
10	第30回佐久市望月強歩大会	9/10（日）		158
11	第11回佐久市プラチナ寿ママさん バレーボール大会	10/4（水）	21	248
12	第27回佐久市ハーフマラソン大会	10/15（日）		527

NO	大会名称	開催期日	チーム数	参加者数
13	第13回佐久市少年少女サッカー大会	10/21（土）	26	409
14	第13回佐久市小学生ドッジボール大会	11/25（土）	51	700
15	第25回佐久市・和光市スポーツ交流会	6/3（土）	12	199
16	第34回佐久市・静岡市親善スポーツ交流大会	10/28（土）～ 29（日）	—	台風により中止
17	第29回銀河連邦星のまちスピードスケート 親善大会（市民スケート大会併催）	1/27（土）		53
18	第11回佐久市小学生駅伝大会兼 市町村対抗小学生駅伝佐久市代表選手選考会	11/19（日）		188
19	第13回市民元旦マラソン大会	1/1（月）		221
20	第51回佐久市民スケート大会（再掲）	1/27（土）		(53)
21	第13回佐久市民スキー大会	2/25（日）		57
22	体協主催 市民体育祭等34大会	通年		6,494
	合 計		264	13,124

オ その他（スポーツイベント）

NO	イベント名称	開催期日	参加者数
1	第27回佐久市ハーフマラソン大会 事前ランニング教室	8/6（日）	236
2	宝くじスポーツフェア はつらつママさんバレーボール	8/26・27（土・日）	1,034
3	あすチャレ！スクール	9/26（火） ～9/28（木）	498
4	オリンピアとの交流イベント【陸上編】	11/23（木・祝）	230
合計			1,998

カ 平成29年度佐久市スポーツ教室実績

NO	教室名	対象	回数	開催日	男	女	計	延べ参加者
1	レスリング	5歳～小学6年生	10回	4/15～7/8 14:00～16:00	16	13	29	249
2	ヨガ(昼間)	一般	10回	4/20～8/17 10:30～12:00	1	44	45	321
3	ゴルフ	小学4年生～一般	10回	5/10～6/9 19:00～21:00	10	12	22	145
4	卓球	小学生～一般	10回	5/11～7/27 19:00～21:00	21	12	33	285
5	筋力トレーニング	一般	10回	5/17～9/6 10:00～11:30	4	29	33	258
6	ジャズ体操	一般	10回	6/12～8/28 19:00～20:30	1	8	9	63
7	硬式テニス(臼田)	一般(中学生以上)	10回	5/17～7/19 19:00～21:00	17	5	22	134
8	弓道(佐久)	中学生～一般	10回	5/19～7/21 19:00～21:00	8	12	20	128
9	太極拳	一般	10回	6/14～8/23 19:00～21:00	3	15	18	122
10	ヨガ(夜間)	年齢制限なし	10回	6/5～9/4 19:00～20:30	2	28	30	215

NO	教室名	対象	回数	開催日	男	女	計	延べ参加者
11	水中運動	一般	10回	6/20～ 7/21 10:00～11:20	1	22	23	188
12	マレットゴルフ	一般	10回	6/29～ 8/30 13:00～15:00	13	21	34	273
13	新体操	小学生の女子	10回	5/ 7～ 7/16 10:00～12:00		17	17	132
14	弓道（臼田）	中学生～一般	10回	7/29～10/ 7 14:00～16:00	5	4	9	62
15	ボールを使った ウォーキング	一般	10回	8/23～10/25 10:00～12:00	1	14	15	74
16	軽スポーツ（多種目）	一般	10回	11/ 1～ 1/17 13:00～14:30	19	2	21	146
17	ファミリースポーツ	親子	5回	11/ 4～12/ 9 10:00～12:00	1	14	15	65
18	ボウリング	一般	10回	8/23～10/25 19:30～21:30	9	4	13	101
19	少年少女 バドミントン	小・中学生	10回	9/ 2～11/12 9:00～11:00	18	21	39	239
20	バドミントン	一般	10回	9/ 6～11/15 19:00～21:00	7	14	21	134
21	ソフトテニス（室内）	一般	10回	1/17～ 3/21 19:00～21:00	6	11	17	119
22	硬式テニス（室内）	一般（高校生以上）	10回	11/16～ 1/25 19:00～21:00	13	19	32	190
23	ソフトボール （ピッチング）	小学生以上	10回	11/12～ 2/4 10:00～12:00 13:00～15:00	20	10	30	265
24	少年少女スキー	小学3年生～中学生	3回	1/14・1/21・1/28 9:00～11:30	17	25	42	121
25	お楽しみ バスケットボール	小学生以上	10回	4/28～ 9/22 20:00～21:30	11	13	24	159
26	ピンポン	小学生以上	10回	4/22～ 9/23 19:30～21:00	10	14	24	158
27	ファミリースポーツ	親子	10回	4/22～ 9/23 19:30～21:00	9	23	32	200
28	フットサル	小・中学生	10回	4/17～ 6/26 19:00～21:00	15	1	16	154
29	ソフトバレーボール	小学2年生以上	10回	4/17～ 6/26 19:30～21:30	12	14	26	174
30	さわやかエアロビクス	年齢制限なし	10回	4/18～ 6/27 19:30～20:30	0	12	12	101
31	エンジョイウォーキング	年齢制限なし	10回	4/27～ 9/14 9:30～11:30	1	18	19	111
32	心と身体を育むスポーツ ツレクリエーション	年中～小学生	5回	2/20～ 3/20 19:00～20:30	6	6	12	62
33	ヨガ（冬季）	一般	10回	1/18～ 3/22 13:30～14:45	0	28	28	212
計					277	505	782	5,360

キ 平成29年度佐久市海の家利用状況

（ア）場 所 ： いそや旅館（上越市谷浜海岸）

（イ）開設期間 ： 7月1日～8月31日

（ウ）宿泊利用者 ： 295人

（エ）浜茶屋利用者：1,642人

(2) 体育施設の利用状況

①社会体育施設

年度 施設名		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		件 数	使用人員	件 数	使用人員	件 数	使用人員	件 数	使用人員	件 数	使用人員
佐久地区	佐久市総合体育館	1,475	60,316	2,235	63,049	2,481	79,609	2,663	62,483	2,785	69,027
	佐久市勤労者体育館	779	11,964	872	12,068	961	13,442	1,062	15,067	912	13,757
	東地区社会体育館	1,055	26,355	1,135	23,734	1,133	21,304	1,216	28,491	1,157	25,136
	内山地区社会体育館	404	8,007	448	7,800	516	8,173	302	5,052	590	7,966
	大沢地区社会体育館	592	9,675	667	10,710	707	10,513	323	4,804	637	10,427
	浅間体育センター	1,021	21,955	1,078	22,576	889	26,633	1,359	36,354	1,285	31,223
	野沢体育センター	1,190	29,699	1,224	38,000	1,277	27,221	1,248	28,783	1,278	24,830
	佐久市営グラウンド	239	8,237	238	10,200	250	12,374	216	10,896	245	8,046
	県民佐久運動場・室内 ゲートボール場・テニスコート	1,768	34,868	1,408	31,380	1,201	20,472	1,354	41,628	1,462	35,654
	千曲川スポーツ交流広場	201	11,464	176	12,048	217	13,856	199	5,138	158	5,056
	鼻顔公園テニスコート	653	9,811	472	11,388	587	14,638	831	28,488	713	19,068
	千曲運動広場テニスコート	294	2,169	221	2,317	345	2,971	336	4,199	401	4,618
	佐久総合運動公園 マレットゴルフ場	12,324	12,324	14,162	14,162	18,210	18,210	20,836	20,836	22,143	22,143
	佐久総合運動公園 陸上競技場	9,568	17,743	8,959	30,309	9,543	34,782	13,009	42,969	12,594	56,648
	佐久市営武道館	565	13,075	554	10,618	523	11,245	470	11,444	446	9,498
	小 計	32,128	277,662	33,849	300,359	38,840	315,443	45,424	346,632	46,806	343,097
臼田地区	臼田体育センター	745	12,724	818	13,280	1,450	34,135	427	30,897	922	55,744
	臼田総合運動公園 多目的広場	206	11,497	232	11,577	301	16,862	212	7,059	169	6,565
	臼田テニスコート	803	50,798	1,074	35,787	1,267	55,084	1,041	15,356	1,142	14,525
	臼田ふれあいゲートボール場	89	1,110	107	1,478	59	692	100	3,071	80	2,168
	臼田武道館	582	6,622	660	7,466	770	9,747	309	5,982	320	5,363
	佐久市臼田弓道場	2,349	2,349	2,312	2,473	2,550	2,651	2,553	2,778	1,928	2,956
	臼田総合運動公園宿泊棟	340	7,429	258	6,519	227	5,206	247	8,288	237	7,120
	小 計	5,114	92,529	5,461	78,580	6,624	124,377	4,889	73,431	4,798	94,441

年度 施設名		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		件 数	使用人員	件 数	使用人員	件 数	使用人員	件 数	使用人員	件 数	使用人員
浅科地区	浅科多目的屋内運動場	1,387	17,371	1,336	16,342	1,389	16,757	2,651	31,933	1,402	17,379
	浅科総合グラウンド	175	13,888	166	13,237	191	13,361	241	15,045	178	7,515
	浅科御牧原台地グラウンド	133	2,356	128	4,252	117	2,363	189	4,239	111	2,380
	浅科柔剣道場	242	3,132	167	2,085	170	2,922	308	3,497	215	2,980
	小 計	1,937	36,747	1,797	35,916	1,867	35,403	3,389	54,714	1,906	30,254
望月地区	望月総合体育館	839	20,923	815	21,541	1,047	29,833	1,261	43,139	777	27,609
	望月総合グラウンド	198	5,224	182	4,356	217	6,520	327	14,002	166	6,502
	望月テニスコート	12	160	7	70	10	19	23	264	12	67
	望月屋内屋外ゲートボール場	219	6,753	144	6,109	162	3,396	118	4,510	117	2,673
	布施体育館	274	7,446	307	7,214	656	15,253	530	17,093	272	8,760
	春日体育館	171	3,002	156	2,536	497	8,442	271	4,792	211	4,472
	本牧体育館	163	2,129	121	1,685	238	3,602	130	3,526	67	1,483
	小 計	1,876	45,637	1,732	43,511	2,827	67,065	2,660	87,326	1,622	51,566
合 計		41,055	452,575	42,839	458,366	50,158	542,288	56,362	562,103	55,132	519,358

②小中学校施設開放

年度 小中学校名		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		件 数	使用人員	件 数	使用人員	件 数	使用人員	件 数	使用人員	件 数	使用人員
佐久地区	岩村田小学校	411	12,564	518	10,394	272	7,196	281	8,528	277	7,704
	佐久平浅間小学校	平成27年度開校				98	2,340	390	10,354	438	9,407
	平根小学校	344	4,986	450	6,470	268	9,414	217	4,777	354	8,338
	中佐都小学校	759	16,275	716	9,881	627	11,294	492	7,799	405	6,718
	高瀬小学校	576	12,280	851	13,249	330	6,035	591	11,210	586	11,020
	野沢小学校	244	4,647	228	4,292	295	7,251	374	10,564	441	10,786
	岸野小学校	641	11,119	386	3,264	132	3,416	441	11,170	433	9,288
	泉小学校	467	17,743	477	17,583	356	13,382	540	17,050	491	11,379
	中込小学校	451	8,825	417	9,728	548	11,590	382	9,611	480	10,069
	佐久城山小学校	551	11,486	551	14,755	442	9,435	447	9,640	529	10,766
	東小学校	479	8,143	492	10,183	416	6,064	308	5,152	307	5,522

年度 小中学校名		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		件 数	使用人員	件 数	使用人員	件 数	使用人員	件 数	使用人員	件 数	使用人員
佐久地区	浅間中学校	498	13,027	519	14,835	433	10,696	401	8,805	293	5,407
	野沢中学校	464	14,332	501	13,388	469	13,349	359	9,905	478	12,899
	中込中学校	539	14,174	737	16,110	431	10,864	432	10,207	481	11,641
	東中学校	468	12,543	503	11,506	474	9,827	345	8,463	401	8,403
	小 計	6,892	162,144	7,346	155,638	5,591	132,153	6,000	143,235	6,394	139,347
白田地区	臼田小学校	610	14,397	620	13,576	558	13,979	730	19,323	477	14,708
	田口小学校	49	1,148	24	436	9	175	90	2,575	32	512
	青沼小学校	338	6,916	336	6,604	406	7,220	292	6,719	407	11,131
	切原小学校	262	7,323	255	6,895	245	6,214	177	4,925	209	5,644
	臼田中学校	319	5,908	397	6,918	404	7,318	477	12,607	281	5,709
	小 計	1,578	35,692	1,632	34,429	1,622	34,906	1,766	46,149	1,406	37,704
浅科地区	浅科小学校	698	18,753	2,693	16,108	743	18,751	633	19,181	521	13,932
	浅科中学校	343	4,794	298	4,360	257	3,763	273	4,296	293	4,628
	小 計	1,041	23,547	2,991	20,468	1,000	22,514	906	23,477	814	18,560
望月地区	望月小学校	276	7,089	264	6,829	210	5,250	263	7,213	286	6,873
	望月中学校	282	6,351	138	4,310	115	3,400	69	1,450	272	5,522
	小 計	558	13,440	402	11,139	325	8,650	332	8,663	558	12,395
合 計		10,069	234,823	12,371	221,674	8,538	198,223	9,004	221,524	9,172	208,006
総 合 計		51,124	687,398	55,210	680,040	58,696	740,511	65,366	783,627	64,304	727,364

(3) 社会体育施設

平成 30 年 4 月 1 日現在

No.	施 設 名	住 所	開設年月	アリーナ等 面積(m ²)	運動施設の内容
1	佐久市総合体育館 大体育室	佐久市中込2939	昭和53年9月	1,900	バレーボール3面・バスケットボール2面・バドミントン8面 ・テニス2面・ハンドボール1面・卓球・フットサル2面 (小学生以下)
	〃 小体育室			536	バレーボール1面・バスケットボール1面・バドミントン3面 ・フットサル1面
2	佐久市勤労者体育館	佐久市中込3384-1	昭和51年12月	720	テニス1面・バレーボール2面・バスケットボール1面 ・バドミントン4面
3	東地区社会体育館	佐久市新子田1382-1	昭和58年10月	910	バレーボール2面・バスケットボール2面・バドミントン6面
4	内山地区社会体育館	佐久市内山5201	昭和59年4月	583	バレーボール2面・バスケットボール1面・ミニバス2面 ・バドミントン3面
5	大沢地区社会体育館	佐久市大沢789-1	昭和61年4月	720	テニス1面・バレーボール2面・バスケットボール1面 ・ミニバス2面・バドミントン4面
6	浅間体育センター	佐久市岩村田1340-3	平成3年4月	910	バレーボール2面・バスケットボール2面・バドミントン6面
7	野沢体育センター	佐久市野沢339-1	平成9年4月	1,008	テニス1面・バレーボール2面・バスケットボール2面 ・バドミントン6面
8	佐久市営グラウンド	佐久市安原1493-1	昭和47年4月	14,000	硬式(中学生以下)、 軟式野球1面(センター120m・両翼92m)
9	県民佐久運動広場運動場	佐久市取出町455	昭和48年4月	10,000	軟式野球1面・ソフトボール1面・陸上300mトラック他
10	千曲川スポーツ交流広場	佐久市鳴瀬505-1	平成2年7月	37,777	軟式野球4面・ソフトボール4面・サッカー1面 ・多目的広場・ゲートボール2面
11	鼻顔公園テニスコート	佐久市岩村田4246-1	昭和52年11月	4,200	テニス6面(クレー)
12	千曲運動広場テニスコート	佐久市鍛冶屋477	昭和61年4月	2,440	テニス4面(クレー)
13	県民佐久運動広場テニスコート	佐久市取出町455	昭和48年4月	2,000	テニス4面(クレー)
14	県民佐久運動広場屋内ゲートボール場	佐久市取出町455	昭和48年4月	826	屋内ゲートボール2面・テニス1面(クレー)
15	駒場公園マレットゴルフ場	佐久市猿久保55番地	—	8,500	36ホール
16	千曲川スポーツ交流広場マレットゴルフ場	佐久市鳴瀬505番地1	平成10年9月	36,500	45ホール
17	洞源湖マレットゴルフ場	佐久市前山337-9	平成13年8月	L=720m	18ホール
18	佐久総合運動公園 マレットゴルフ場	佐久市平賀3011	平成22年8月	L=2,290m	36ホール
19	佐久総合運動公園 陸上競技場	佐久市平賀3011	平成25年4月	20,767	陸上全般(全天候型トラック400m9レーン) ・サッカー1面(天然芝)
	〃 補助競技場		平成26年4月	11,037	陸上競技(全天候型トラック300m6レーン) ・ジュニアサッカー1面・フットサル2面・サッカー半面(人工芝)
20	佐久市営武道館	佐久市中込2941	昭和45年4月	817	柔道2面・剣道2面
21	臼田体育センター	佐久市下越284	昭和50年4月	952	バレーボール2面・バスケットボール2面 ・バドミントン4面・テニス1面
22	臼田総合運動公園多目的広場	佐久市臼田3124	昭和62年5月	28,800	軟式野球2面・サッカー2面・ソフトボール4面
23	臼田テニスコート	佐久市臼田3091	平成元年7月	5,600	テニス8面(オムニ)
24	臼田ふれあいゲートボール場	佐久市下越351-1	平成5年4月	1,027	屋内ゲートボール2面・ソフトテニス1面
25	臼田屋外ゲートボール場	佐久市臼田145-3先	平成3年4月	4,430	ゲートボール10面
26	臼田総合運動公園マレットゴルフコース	佐久市臼田3116-2	平成4年11月	L=1,416m	36ホール
27	臼田武道館	佐久市下越284	昭和59年3月	505	柔道1面・剣道1面
28	佐久市臼田弓道場	佐久市下越22-1	平成23年5月	241	6人立ち
29	臼田総合運動公園管理センター	佐久市臼田3110-1	平成2年5月	609	研修室
30	臼田総合運動公園宿泊棟	佐久市臼田3110-1	平成4年5月	1,391	和室5・洋室12・ミーティングルーム・男女大浴場 ・食堂・調理室、108名収容

No.	施 設 名	住 所	開設年月	アリーナ等 面積(m ²)	運動施設の内容
31	浅科多目的屋内運動場	佐久市塩名田1155-1	平成7年7月	1,000	屋内ゲートボール2面・テニス1面・フットサル1面
32	浅科総合グラウンド	佐久市塩名田1151-1	昭和50年4月	20,080	軟式野球2面・ソフトボール2面・サッカー1面
33	浅科御牧原台地グラウンド	佐久市八幡1110-1	平成12年7月	17,792	軟式野球1面・ソフトボール1面
34	浅科テニスコート	佐久市塩名田1151-1	昭和55年6月	1,750	テニス2面(ハード)
35	浅科御牧ゲートボール場	佐久市甲1071-1	平成5年4月	1,890	ゲートボール4面
36	浅科石尊山マレットゴルフ場	佐久市甲226-1	平成6年12月	L=797m	18ホール
37	浅科柔剣道場	佐久市甲1071-1	昭和58年1月	477	柔剣道併用
38	望月総合体育館	佐久市望月1630-2	昭和59年7月	1,440	バレーボール3面・バスケットボール2面・バドミントン10面 ・ハンドボール1面・卓球・フットサル2面
39	望月総合グラウンド	佐久市望月1669-2	昭和52年9月	25,600	軟式野球2面・ソフトボール4面・サッカー1面
40	望月テニスコート	佐久市望月1616	平成3年8月	1,190	テニス2面(クレー)
41	望月屋内ゲートボール場	佐久市望月1615-1	平成元年5月	546	屋内ゲートボール1面
42	望月屋外ゲートボール場	佐久市望月1626-1	昭和57年4月	3,192	ゲートボール7面
43	望月マレットゴルフ場	佐久市望月1626-1	平成4年4月	L=611.5m	18ホール
44	布施体育館	佐久市布施2151-3	昭和62年11月	600	バレーボール2面・ソフトバレーボール3面・ミニバス2面
45	春日体育館	佐久市春日2823	昭和53年11月	607	バレーボール2面・ミニバス2面
46	本牧体育館	佐久市望月775-1	昭和51年4月	556	バレーボール1面・ミニバス1面

5 公民館

事業方針

公民館は、子どもから高齢者まで幅広い地域の人々が気軽に集い、市民の学習要望や地域の実情に応じた多様な学習機会を提供する場であり、生活課題に対応した取り組みや、情報が集まる総合的な地域づくりの拠点であることが求められている。

また、「だれもが」「いつでも」「どこでも」学習できるような生涯学習社会の形成を図り、市民の学習要望に対応し、社会に即した学習、文化の普及向上に努め、市民の豊かな情操と教養を高めながら、健康で明るい地域づくりを進めていくことが大切である。

さらに、地域公民館を含めた公民館の実施する様々な事業は、地域の人々の交流を促進し、地域の絆や地域力を向上させ、それが人々の生きがいや心の健康等に効果をもたらし、本市総合計画の大綱の1つである「生涯にわたり学び、生きる力を育むまちづくり」や、本市教育大綱に掲げる目指す市民像「生涯にわたって学び続け、互いに支え合い高め合う市民」の実現にも繋がるものとする。

そのため、本市総合計画及び本市教育振興基本計画を踏まえ、次の3点を基本理念とし、人づくりや地域づくりに活かす公民館活動を推進する。

(1) 公民館活動の基底は、人間尊重の精神にある。

公民館は、すべての人を尊敬信愛し、生命や幸福を守ることを基本理念として、その活動を展開する。

(2) 公民館活動の核心は、市民の生涯学習の態勢を確立することにある。

公民館は、住民の生涯学習態勢を確立し、市民の生涯学習の機会均等を保障する施設である。

(3) 公民館の究極のねらいは、住民の自治能力の向上にある。

公民館は、社会連帯・自他共存の生活感情を育成し、住民自治の実をあげる場である。

(全国公民館連合会「公民館のあるべき姿 目的と理念」)

これらの基本理念を推進するために

◎佐久市中央公民館を拠点施設とし、地域公民館、地区館と連携した学習活動を推進する。

◎各種講座等のアンケート調査を基に、市民・地域の実情や多種多様なニーズを把握し、佐久市公民館運営審議会において、公民館事業の企画及び実施について調査及び審議を行う。

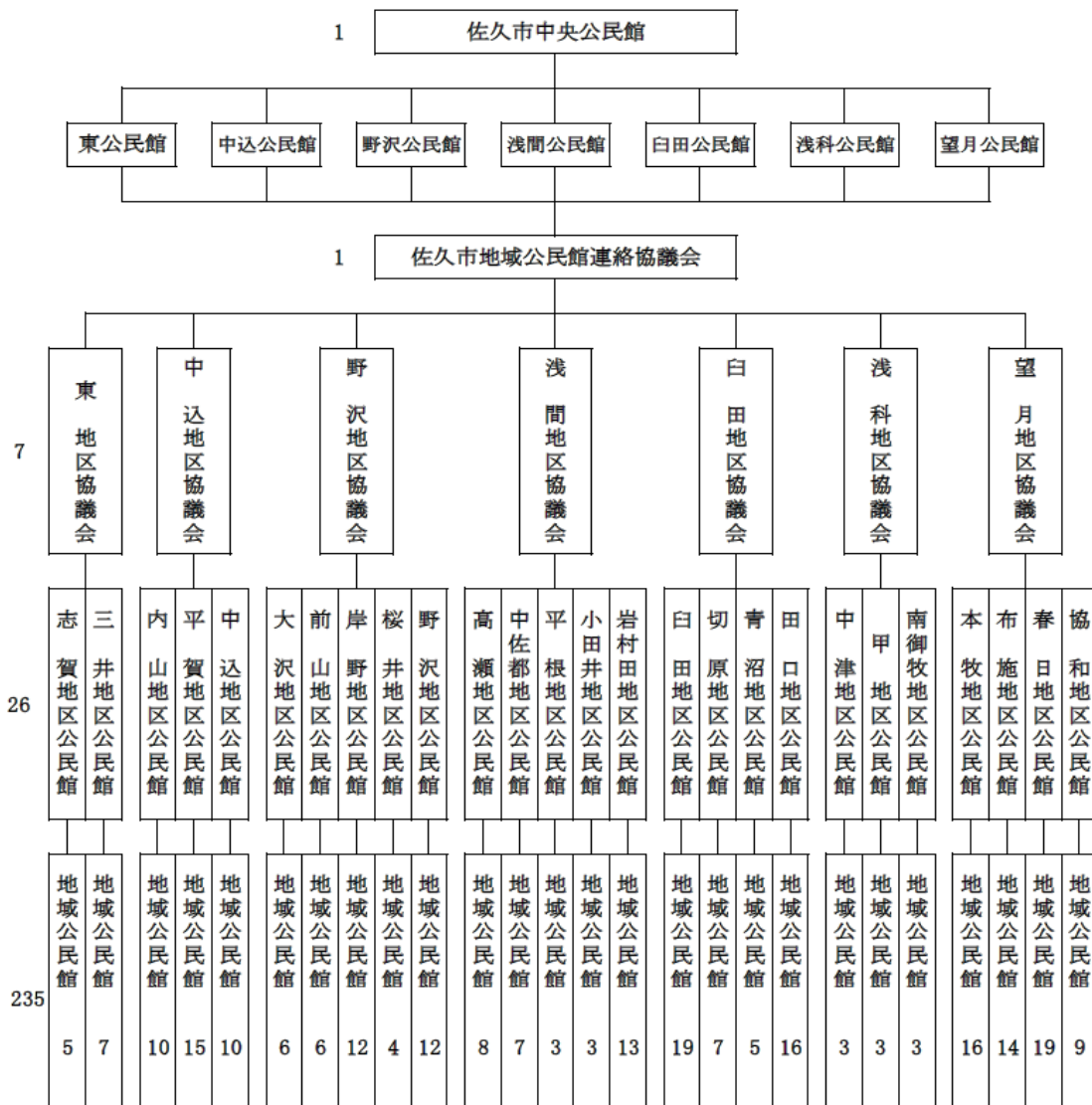
◎公民館の原点である「つどう・まなぶ・むすぶ」を踏まえ、市民が生涯にわたって学び、学んだ成果を活かし、互いに支え合い高め合う人づくりや地域づくりを一層推進する。

(1) 中央公民館・地区館

中央公民館	佐久市猿久保165-1	創錬センター内	TEL 66-0551
浅間公民館	佐久市岩村田543	浅間会館内	TEL 67-2110
野沢公民館	佐久市取出町183	野沢会館内	TEL 62-0116
中込公民館	佐久市中込1-17-8	中込会館内	TEL 62-0504
東公民館	佐久市志賀6059-1	東会館内	TEL 67-2545
臼田公民館	佐久市下越16-5	あいとぴあ臼田内	TEL 82-2106
浅科公民館	佐久市塩名田1338	浅科会館内	TEL 58-3957
望月公民館	佐久市望月303	駒の里ふれあいセンター内	TEL 53-2548

(2) 佐久市地域公民館活動組織図

地区公民館26館 地域公民館235館



※地域公民館235と240区との違い

- ・浅間地区 -1 (大塚区は公民館なし)
- ・野沢地区 -1 (美笹区は公民館なし)
- ・中込地区 -5 (中央区3区で1公民館、三家2区で1公民館、橋場3区で1公民館)
- ・臼田地区 +3 (下越区1区で5公民館、馬坂区・広川原区は公民館なし)
- ・望月地区 -1 (西長者原区は公民館なし)

(3) 公民館の活動

項 目	実施時期及び場所	開催回数	実 施 内 容
① 公民館を中心とした生涯学習の場づくり			
乳幼児学級	5月～12月 中央、浅間、野沢、 臼田、浅科・望月 計5教室	57回	親と子が学びふれあい交流する中で「わたしの子育て」について考える。 (募集組数 各25組程度)
市民ふれあい学級	4月～3月 7地区館	300回	生活課題や地域課題、伝統文化の継承等を学び、実践しながら意識や教養を高め、人と人とのふれあいを深める。
世代間交流学級 (小学生の公民館体験)	4月～3月 7地区館 (6地区館で実施)	50回	異世代が様々な活動を通して交流することにより、相互理解や連帯感を深める。 小学校3年生の社会科の公民館見学に合わせて、学習グループの皆さんと一緒に体験学習をして、相互の交流と理解を深める。
親子ふれあい学級	5月～3月 7地区館	40回	制作活動や体験学習等、親子及び祖父母とのふれあいや、成人者との交流を通して協調性を学び、子どもの健全育成を図る。
成人式	1月3日(木) 長野県佐久創造館	1回	記念式典、意見発表、記念事業、記念写真、記念品贈呈 平成30年の出席者数 787人
通信俳句講座	4月～3月 中央公民館	12回	投稿による俳句学習の推進
高齢者大学	5月～2月 中央公民館	18回	心身共に健康で、より豊かに生きがいある生活を送るため、学習活動を通して楽しい仲間づくりと高齢者の生き方や役割を学ぶ。(募集定員 190人程度)
高齢者大学大学院	5月～2月 中央公民館	13回	佐久市高齢者大学の修了者を対象に地域や団体活動のリーダーとしての必要な知識や技能を習得し、養成する。 (募集定員 25人程度)

項 目	実施時期及び場所	開催 回数	実 施 内 容
食育セミナー	9月～12月 中央公民館	4回	小学生及び保護者等を対象に生涯にわたって健康で暮らすため、食を大切にする心を育てて、食に関する知識や健全な食生活を実践する力を養う。 (募集定員 24名)
わがまち佐久 ・市民講座	1月20日(日) 佐久平交流センター		市民が自信を持って「佐久」を紹介でき、全国に誇れる特色ある街づくりを考える契機とする。
自主学習グループ	随時		公民館を使って学習を進めているグループの育成支援と連絡調整。 自主学習グループ数(平成30年4月現在) 浅間地区29、野沢地区71、 中込地区28、東地区17、臼田地区48、 浅科地区21、望月地区33 計247グループ
<u>② 地域づくりにつながる地域公民館の活動の充実</u>			
モデル地域館事業	4月～3月 7地域公民館		地域公民館活動について学習や文化活動等の活性化と住民交流を図り、その成果を研修会等で発表することにより、他館への波及を図る。
地区公民館のつどい (文化祭・作品展)	11月～3月 ○浅間地区 浅間会館 ○野沢地区 野沢会館 ○中込地区 中込会館 ○東地区 東会館 ○臼田地区 あいとぴあ臼田 ○浅科地区 交流文化館浅科 ○望月地区 駒の里ふれあいセンター		地区館や地域公民館で学習しているグループの活動の成果を発表することにより文化活動の交流を図る。 29年度参加人数 8,676人

項 目	実施時期及び場所	開催 回数	実 施 内 容
地域公民館活動 の支援	随時		情報提供、活動状況の把握。
地域公民館関係者 研修会	6月3日(日) 市民創錬センター 12月1日(土) 市民創錬センター 9月27日・28日 中野市中央公民館	3回	地域公民館の組織づくりと事業活動の活性化を目的に委託料の交付。 地域公民館連絡協議会との連携のもとに、 地域における指導者を育成。 第66回長野県公民館大会への参加。
<u>③ 情報提供事業</u>			
館報の編集発行	4月～3月	12回	全戸配布(広報「佐久」と合冊) 館報発行規程に基づき、編集委員11名により毎月委員会を開き、公民館の事業・地域公民館の活動状況・生涯学習・人権・おさそいカレンダー等学習資料・情報の提供。
地域活動実績書作成	3月		26地区公民館及び235地域公民館の事業実績のまとめ。
生涯学習リーダー バンク	年間		市民の多様な生涯学習を支援するため、地域に在住する指導者及び専門分野の知識を有する者を登録し、その情報を市民に提供し生涯学習の推進を図る。
<u>④ 生活文化の振興事業</u>			
市民コーラスまつり (第40回記念)	9月2日(日) 佐久市コスモホール	1回	市内コーラスグループによる発表と交流の場づくり。 平成30年度は節目の40回記念として市外コーラスグループによる発表と交流。 29年度参加グループ数 25グループ

項 目	実施時期及び場所	開催 回数	実 施 内 容
市民総合文化祭 (第 14 回)	11月2日～4日 野沢会館	1 回	市民や地域公民館及び学習グループによる作品の展示公開により文化の向上と連帯づくり。 平成29年度の各出品数は、 書道145点、篆刻5点、刻字9点、 絵画74点、写真69点、華道32点、 フラワーデザイン28点、押し花20点、 盆栽34点、水墨画38点、短歌39点、 俳句93点、川柳20点、木彫62点、 ちぎり絵8点、表装10点、民芸138点、 工芸銅版35点、陶芸46点、拓本4点、 仏像彫刻22点、絵手紙59点、切手3点、 衝立7点 出品総点数1,000点 (同時開催) 福祉展84点、菊花展139点
短詩型文学祭 (第 14 回)	2月2日(土) 市民創健センター	1 回	詩・短歌・俳句・川柳の応募作品発表と各部門別座談会と記念講演。 平成29年度投稿者数 509人 投稿点数 859点
図書活動	通年		蔵書数 浅間公民館 329冊 野沢公民館 4,007冊 中込公民館 90冊 東公民館 521冊 計 4,947冊
生活改善運動	通年		「佐久地域二市二郡生活改善申合わせ事項」の内容検討。 特に新盆見舞金の廃止運動の拡張。 公民館報、地域公民館を通じての周知活動を行なう。

(4) 市民会館等

① 規模等

(単位 人数：名、面積：㎡)

区分 会館名	開設年月日	収容人数 (ホール等)	敷地面積	建築面積	延床面積
市民創錬センター	H27. 8. 1	250	11, 863	1, 731	1, 629
浅間会館	H29. 9. 1	222	3, 118	977	1, 644
中込会館	H29. 4. 1	225	—	—	1, 435
東会館	S52. 4. 1	240	2, 140	361	677
浅科会館	S56. 4. 25	240	1, 204	355	626
駒の里ふれあい センター	H 7. 3. 30	358	3, 456	1, 246	2, 117
計	—	—	21, 781	4, 670	8, 128

・休館日 12月29日から翌年1月3日まで

※駒の里ふれあいセンターについては、上記以外に毎週月曜日（月曜が祝祭日の場合は翌日）

・使用時間 午前9時～午後10時まで

② 使用状況

(単位 件数：件、人数：名)

施設名	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
市民創錬 センター (研修センター)	移転改築中				1, 619	32, 039	3, 270	55, 407	3, 077	49, 411
浅間会館	1, 908	27, 589	1, 824	29, 032	559	7, 633	改築中		1, 563	16, 694
中込会館	842	9, 897	846	11, 314	770	11, 094	683	9, 901	1, 350	21, 203
東 会 館	589	6, 511	613	7, 776	714	9, 590	728	9, 461	606	7, 740
浅科会館	804	9, 524	793	8, 977	767	8, 327	772	8, 600	799	10, 365
駒の里 ふれあい センター	969	25, 931	934	23, 269	994	24, 973	1, 011	22, 461	955	22, 437
計	5, 112	79, 452	5, 010	80, 368	5, 373	93, 656	6, 464	105, 830	8, 350	127, 850

※浅間会館は平成 29 年 9 月 1 から開館

中込会館は平成 29 年 4 月 1 日から中込駅前に移転開館

駒の里ふれあいセンターは平成 30 年 1 月～3 月に大規模改修のためホール使用不可

6 図書館

(1) 事業方針

図書館は、人類の英知を集積して次の時代の新しい創造を準備する拠点に他なりません。また、教育の機会均等や知る権利を保障し、将来にわたって健康で文化的に生きる権利を担保する生涯学習の大切な場でもあります。

佐久市立図書館は、5館それぞれの特徴を活かすとともに各館が連携し、利用者の多様化するニーズに応える図書館として機能の拡充と改善に努め、「親しまれる図書館、集いやすい図書館」を目指します。そして、市民ひとり一人が「読むこと、書くこと、行うこと」を家庭・学校・地域で積極的に取り組もうとする、佐久市が推進するコスモスプランを率先して支援していきます。

(2) 主要事業

移動図書館、読み聞かせ、佐久市PTA親子文庫活動支援、音読者養成講座、特集本棚・特設コーナー充実、サマータイム図書館、レフェラルサービスの推進、小学生1日司書、中学生職業体験学習、ブックスタート、雑誌リサイクル市等。

平成26年度からは「読書通帳」を、平成27年11月からはインターネット予約を開始。読書通帳には、市立図書館で借りた本の名前と借りた年月日を記録することができ、自分の読書歴が残せます。

また、平成29年8月からはセカンドブック事業を開始しました。

(3) 佐久市立図書館の概要

ア 名称及び所在地

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| (ア) 佐久市立中央図書館 | 佐久市猿久保44番地1 |
| (イ) 佐久市立臼田図書館 | 佐久市下小田切124番地1（佐久市コスモホール併設） |
| (ウ) 佐久市立浅科図書館 | 佐久市八幡229番地（交流文化館浅科併設） |
| (エ) 佐久市立望月図書館 | 佐久市望月263番地（佐久市望月支所2階） |
| (オ) サングリモ中込図書館※ | 佐久市中込1丁目19番地2（佐久市複合型公共施設内） |

※サングリモ中込図書館は佐久市立中央図書館の分館

イ 開館時間

- | | |
|----------------|---------------------|
| (ア) 佐久市立中央図書館 | |
| a 平日 | 午前9時30分から午後6時30分まで |
| b 土・日及び祝日 | 午前9時30分から午後6時00分まで |
| (イ) 佐久市立臼田図書館 | 午前9時30分から午後6時00分まで |
| (ウ) 佐久市立浅科図書館 | 午前9時30分から午後6時00分まで |
| (エ) 佐久市立望月図書館 | 午前9時30分から午後6時00分まで |
| (オ) サングリモ中込図書館 | 午前10時00分から午後6時00分まで |

ウ 休館日

- (ア) 月曜日（休日に当たる場合は、その翌日以降の日のうち、休日に当たらない最初の日）
- (イ) 毎月最終の火曜日（休日に当たる場合は、その翌日以降の日のうち、休日に当たらない最初の日）
- (ウ) 12月29日から翌年の1月3日までの日
- (エ) 特別整理期間（年1回、概ね10日間）

エ 移動図書館車「草笛号」

- (ア) 市内7コース・66ステーションを年間15回巡回
- (イ) 児童館12館を年間12回巡回

オ 蔵書冊数（平成30年4月1日現在）

447,474冊

(ア) 図書館別・分類別蔵書冊数

※各表の構成比について：表示桁未満端数処理のため、各分類の構成比の合計と、計は必ずしも一致しません。

a 佐久市立中央図書館 208,779冊

分類 \ 対象	一般書(冊)	児童書(冊)	合 計(冊)	構成比(%)
0 総 記	6,297	815	7,112	3.4
1 哲 学	6,166	464	6,630	3.2
2 歴 史	15,351	2,204	17,555	8.4
3 社会科学	20,477	2,143	22,620	10.8
4 自然科学	8,750	3,711	12,461	6.0
5 工学技術	10,431	1,371	11,802	5.7
6 産 業	4,245	883	5,128	2.5
7 芸 術	11,067	1,923	12,990	6.2
8 言 語	2,025	701	2,726	1.3
9 文 学	39,249	16,439	55,688	26.7
F 小 説	23,715	0	23,715	11.4
Z 雑 誌	8,799	0	8,799	4.2
E 絵 本	0	18,226	18,226	8.7
P 紙 芝 居	0	2,227	2,227	1.1
視聴覚資料	958	0	958	0.5
そ の 他	92	0	92	0.0
計	157,622	51,157	208,779	100

b 佐久市立臼田図書館 69,362 冊

分類 \ 対象	一般書(冊)	児童書(冊)	合 計(冊)	構成比(%)
0 総 記	1,350	768	2,118	3.1
1 哲 学	1,479	322	1,801	2.6
2 歴 史	4,100	1,074	5,174	7.5
3 社会科学	4,928	1,087	6,015	8.7
4 自然科学	4,001	2,083	6,084	8.8
5 工学技術	3,606	764	4,370	6.3
6 産 業	1,332	454	1,786	2.6
7 芸 術	3,640	1,428	5,068	7.3
8 言 語	625	429	1,054	1.5
9 文 学	6,695	6,757	13,452	19.4
F 小 説	8,584	0	8,584	12.4
Z 雑 誌	1,384	0	1,384	2.0
E 絵 本	0	10,151	10,151	14.6
P 紙 芝 居	0	1,107	1,107	1.6
視聴覚資料	1,213	0	1,213	1.7
そ の 他	1	0	1	0.0
計	42,938	26,424	69,362	100

c 佐久市立浅科図書館 78,551 冊

分類 \ 対象	一般書(冊)	児童書(冊)	合 計(冊)	構成比(%)
0 総 記	1,392	292	1,684	2.1
1 哲 学	1,347	383	1,730	2.2
2 歴 史	4,946	1,115	6,061	7.7
3 社会科学	6,051	1,323	7,374	9.4
4 自然科学	2,971	2,101	5,072	6.5
5 工学技術	3,881	872	4,753	6.1
6 産 業	1,799	558	2,357	3.0
7 芸 術	5,719	1,146	6,865	8.7
8 言 語	668	360	1,028	1.3
9 文 学	8,126	7,855	15,981	20.3
F 小 説	9,144	0	9,144	11.6
Z 雑 誌	2,439	0	2,439	3.1
E 絵 本	0	11,377	11,377	14.5
P 紙 芝 居	0	798	798	1.0
視聴覚資料	1,844	0	1,844	2.3
そ の 他	44	0	44	0.1
計	50,371	28,180	78,551	100

d 佐久市立望月図書館 57,244 冊

分類 \ 対象	一般書(冊)	児童書(冊)	合 計(冊)	構成比(%)
0 総 記	752	242	994	1.7
1 哲 学	823	197	1,020	1.8
2 歴 史	3,218	900	4,118	7.2
3 社会科学	3,018	1,138	4,156	7.3
4 自然科学	2,015	1,509	3,614	6.3
5 工学技術	3,282	747	4,029	7.0
6 産 業	982	557	1,539	2.7
7 芸 術	2,996	1,135	4,131	7.2
8 言 語	387	341	728	1.3
9 文 学	6,619	6,729	13,348	23.3
F 小 説	9,269	0	9,269	16.2
Z 雑 誌	872	0	872	1.5
E 絵 本	0	8,482	8,482	14.8
P 紙 芝 居	0	442	442	0.8
視聴覚資料	483	0	483	0.8
そ の 他	19	0	19	0.0
計	34,825	22,419	57,244	100

e サングリモ中込図書館 26,316 冊

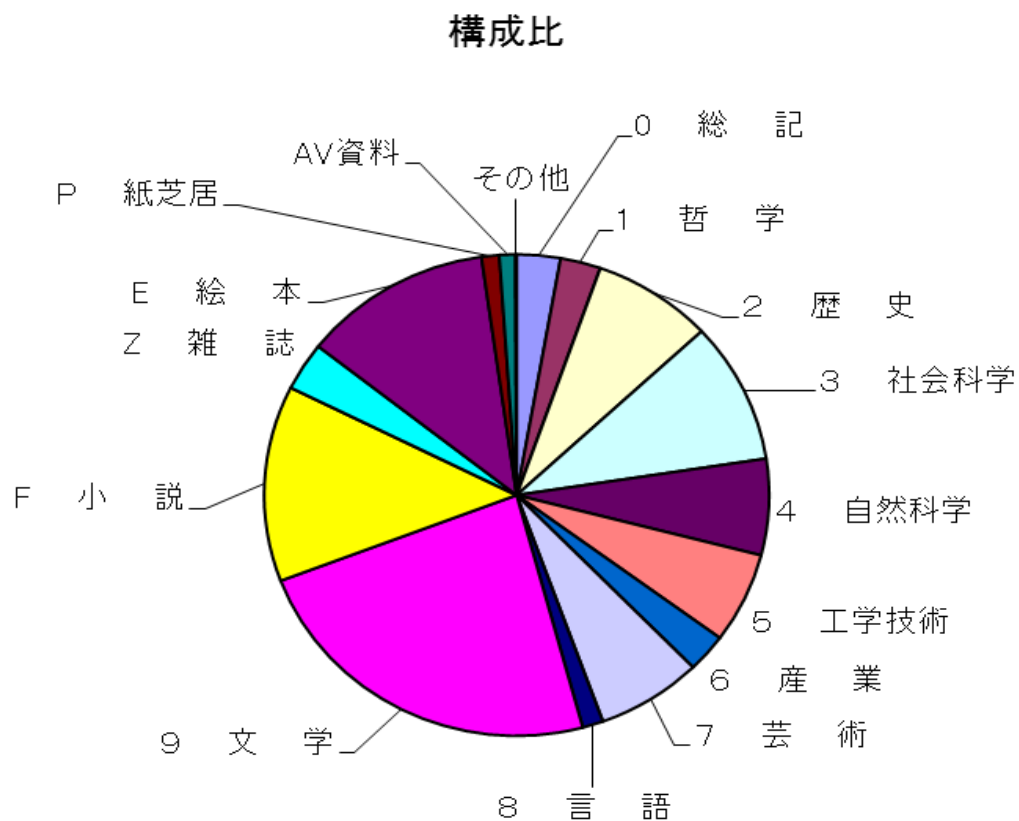
分類 \ 対象	一般書(冊)	児童書(冊)	合 計(冊)	構成比(%)
0 総 記	299	47	346	1.3
1 哲 学	392	56	448	1.7
2 歴 史	959	288	1,247	4.7
3 社会科学	1,658	302	1,960	7.4
4 自然科学	1,063	567	1,630	6.2
5 工学技術	1,795	252	2,047	7.8
6 産 業	441	118	559	2.1
7 芸 術	886	215	1,101	4.2
8 言 語	227	95	322	1.2
9 文 学	2,354	2,219	4,573	17.4
F 小 説	6,880	0	6,880	26.1
Z 雑 誌	586	0	586	2.2
E 絵 本	0	4,372	4,372	16.6
P 紙 芝 居	0	245	245	0.9
視聴覚資料	0	0	0	0.0
そ の 他	0	0	0	0.0
計	17,540	8,776	26,316	100

f 移動図書館車「草笛号」 7,222 冊

分類 \ 対象	一般書(冊)	児童書(冊)	合 計(冊)	構成比(%)
0 総 記	27	47	74	1.0
1 哲 学	29	24	53	0.7
2 歴 史	93	84	177	2.5
3 社会科学	58	64	122	1.7
4 自然科学	89	163	252	3.5
5 工学技術	259	95	354	4.9
6 産 業	59	13	72	1.0
7 芸 術	134	197	331	4.6
8 言 語	22	54	76	1.1
9 文 学	286	652	938	13.0
F 小 説	1,597	0	1,597	22.1
Z 雑 誌	182	0	182	2.5
E 絵 本	0	2,873	2,873	39.8
P 紙 芝 居	0	121	121	1.7
視聴覚資料	0	0	0	0.0
そ の 他	0	0	0	0.0
計	2,835	4,387	7,222	100

g 5 図書館及び草笛号合計 447,474 冊

分類	対象	一般書(冊)	児童書(冊)	合 計(冊)	構成比(%)
0	総 記	10,117	2,211	12,328	2.8
1	哲 学	10,236	1,446	11,682	2.6
2	歴 史	28,667	5,665	34,332	7.7
3	社会科学	36,190	6,057	42,247	9.4
4	自然科学	18,979	10,134	29,113	6.5
5	工学技術	23,254	4,101	27,355	6.1
6	産 業	8,858	2,583	11,441	2.6
7	芸 術	24,442	6,044	30,486	6.8
8	言 語	3,954	1,980	5,934	1.3
9	文 学	63,329	40,651	103,980	23.2
F	小 説	59,189	0	59,189	13.2
Z	雑 誌	14,262	0	14,262	3.2
E	絵 本	0	55,481	55,481	12.4
P	紙 芝 居	0	4,990	4,990	1.1
	視聴覚資料	4,498	0	4,498	1.0
	そ の 他	156	0	156	0.0
	計	306,131	141,343	447,474	100



カ 開館日数 291日（望月図書館は290日）
※草笛号は105日巡回

キ 利用状況 (人・冊・件)

			H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9
入 館 者 数			274,919	283,511	288,787	285,874	294,545
有効登録者数	一 般		32,067	34,933	37,418	39,497	41,557
	児 童		6,276	6,573	6,624	6,661	6,645
	団 体		299	321	344	365	389
	合 計		38,642	41,827	44,386	46,523	48,591
実利用者数	一 般		13,737	14,639	14,783	14,042	13,865
	児 童		3,812	5,171	5,300	5,127	5,188
	団 体		240	294	291	319	331
	合 計		17,789	20,104	20,464	19,488	19,384
貸出者数	一 般		99,230	98,305	100,800	98,287	98,017
	児 童		22,218	31,362	32,159	31,226	33,190
	団 体		2,818	3,635	3,147	3,596	5,045
	合 計		124,266	133,302	136,186	133,109	136,252
貸出冊数	一 般 書		292,887	306,373	308,903	289,013	294,929
	児 童 書		241,397	267,270	266,268	265,518	283,059
	合 計		534,284	573,643	575,171	554,531	577,988
相互貸借	借 受	件 数	164	217	250	234	294
		冊 数	311	459	413	395	465
	貸 出	件 数	114	175	172	153	148
		冊 数	225	352	354	331	342

7 近代美術館

(1) 事業方針

収蔵している美術品の調査・研究及び優れた美術品の収集を行い、次世代に継承するための保存管理をしながら、市民が美術品を鑑賞するための展覧会を開催する。

また、美術に対する市民の関心を高めるため、美術に親しむ機会を創出し、美術文化の振興を図る。

(2) 主要事業

ア 展覧会 4期開催

収蔵品による展覧会や市民が興味や関心を持って楽しめる展覧会を開催

種別	展覧会名称		会期
収蔵品展	創造美術から創画会へ―革新の70年をたどる―		5月12日～ 7月1日
特別企画展	一薬師寺と平山郁夫の縁―玄奘三蔵と仏教伝来		7月14日～ 8月26日
収蔵品展	版画交響楽(シンフォニー)～魅惑の小宇宙～	平成29年度収蔵 新収蔵品展	9月15日～ 11月11日
特別企画展 収蔵品展同時開催	北欧の小さな宝石箱・エストニア ～エストニアの古伝を紡ぐ カルヨ・ポル作品を中心に～	描かれた ヨーロッパ	3月9日～ 4月14日

イ 公募展等事業

(ア) 第33回佐久平の美術展(1月4日～2月3日)

佐久地域にゆかりのある美術愛好者等から広く作品を公募して、佐久平の美術文化の動向を探り今後の発展を期することを目的に公募展を開催します。

(イ) 第14回佐久市児童生徒写生大会(写生大会10月・作品展2月9日～24日)

佐久市の児童・生徒を対象に、郷土の風景を題材とした写生により豊かな情操を養うため、コンクール形式の写生大会と作品展を開催します。

(ウ) 第14回佐久市児童生徒美術展(2月9日～24日)

市内小中学校の児童・生徒が平成30年度中に制作した作品による展覧会を開催します。

(エ) 平成29年度受賞佐久平の美術展受賞者展(1月4日～2月3日)

平成29年度第32回佐久平の美術展受賞者の作品による展覧会を開催します。

ウ まちじゅう美術館事業

近代美術館収蔵の美術品を広く市民の皆さんに親しみをもって鑑賞していただくため、浅間病院・野沢会館・シルバーランドきしの・コスモホールの4箇所に展示しています。

エ その他の事業

(ア) 展覧会ガイド

展覧会をより楽しんでもいただくため、展覧会毎に作家や作品の解説を行います。

(イ) 講座・工作教室

初心者色紙講座(6月2日・3日)、小中学生を対象とした夏休み工作教室(7月28日)、春休み工作教室(3月下旬)を開催します。

(ウ) 「市民ギャラリー」としての施設の活用

市民等による展覧会開催の場として、視聴覚室の貸出を行います。

(エ) 特別企画展関連イベント

会期中に講演会、ワークショップ、お写経講座等を開催します。

(オ) トークフリーディの実施

開館記念無料開放日等にあわせ、会話をしながら鑑賞できる日を試験的に実施します。

(3) 近代美術館の概要

ア 沿革

佐久市立近代美術館は、昭和52年(1977)、佐久市出身の故・油井一二氏により50年余にわたって収集された美術品が故郷である佐久市に寄贈されたことを契機に、昭和58年(1983)5月に長野県駒場公園の一角に開館した。

収蔵美術品の母体である「油井一二コレクション」は、日本画を中心に油彩画・版画・彫刻・工芸・書など近・現代における日本美術品のコレクションであるが、その後も多くの作家・所蔵家等による寄贈を受け、現在の収蔵品は総数で3,384点を数える。

イ 施設の概要

(ア) 所在地 佐久市猿久保35番地5(駒場公園内)

電話：0267-67-1055／ファクシミリ：0267-67-1068

(イ) 開館年月日 昭和58年5月26日

(ウ) 敷地面積 2,777.96 m²

(エ) 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造・地上3階

(オ) 建築面積 1,569.46 m²

(カ) 建築延面積 3,704.22 m²

(キ) 開館時間 9時30分～17時

(ク) 休館日 毎週月曜日(国民の休日に当たる場合は除く)

国民の休日の翌日

(日曜日、土曜日又は国民の休日に当たる場合は除く)

年末年始 12月29日～1月3日

展示替え等期間

ウ 収蔵美術品の状況

(平成30年3月31日現在)

分野	日本画	油彩画	水彩画	素描	版画	彫刻	工芸	書	その他	資料	計
点数	868	935	68	275	239	169	226	439	128	37	3,384

エ 観覧料及び施設使用料

(ア) 観覧料

区 分		観覧料 (1人1回)	
		個人	団体 (20人以上)
常設の展示を行っている場合	一般	500円	400円
	大学・高等専門学校、高等学校及びこれらに類する施設	400円	300円
	小・中学校の児童及び生徒	250円	200円
特別の企画による展示を行っている場合	一般	その都度定める額	
	大学・高等専門学校、高等学校及びこれらに類する施設		
	小・中学校の児童及び生徒		

(イ) 特別観覧料

区 分		特別観覧料
模 写 又 は 模 造		1点1回につき 5,000円
撮 影	学術研究を目的とする場合	1点1回につき 2,000円
	出版等の収入を伴う場合	1点1回につき 10,000円

(ウ) 施設使用料

区 分		使用料
視聴覚室	午前9時30分から正午まで	2,500円
	正午から午後1時まで	1,000円
	午後1時から午後5時まで	4,000円
	午前9時30分から午後5時まで	7,500円

オ 年度別利用状況

(人)

年度	一 般			高校・大学生			小・中学生			就学前 児 童	観覧者 計	無料区域 入館者	入館者 合 計	開館 日数	1日当り 入館者
	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計						
H25	8,706	620	9,326	136	31	167	221	265	486	102	10,081	2,938	13,019	278	46.8
H26	6,907	621	7,528	80	28	108	203	341	544	92	8,272	3,380	11,652	272	42.8
H27	8,887	634	9,521	102	20	122	423	221	644	297	10,584	4,454	15,038	269	55.9
H28	9,630	779	10,409	121	21	142	584	142	726	286	11,563	4,135	15,698	274	57.3
H29	10,413	1,677	12,090	193	82	275	1,191	153	1,344	1,291	15,000	1,366	16,366	274	59.7

8 人権同和教育

事業方針

基本的人権を尊重し、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題（以下、「あらゆる人権課題」という。）に対する正しい理解と認識を高め、人権尊重の精神を涵養することを目指し、学校教育及び社会教育相互の連携を図りながら、地域ぐるみの人権同和教育を推進します。

（１）就学前における人権同和教育

ア 保育所・幼稚園においては、保護者等を対象に、あらゆる人権課題を正しく理解するための各種研修会を開催し、知識の普及と人権意識の高揚を図ります。

イ 家庭と保育所・幼稚園・地域が一体となって、子どもの「思いやりの心」を育てます。

（２）学校における人権同和教育

ア 学校においては、日々の教育活動の中からあらゆる差別や人権問題を教材として生活に結びつけた人権同和教育を進めます。

イ 教職員においては、社会的立場を自覚し、あらゆる人権課題を自らの課題としてとらえ、人権尊重の理念に基づいた人権同和教育の実践力を高めるよう研修の充実に努めます。

ウ 人権同和教育の公開授業や、研修会の充実に努めるとともに、ＰＴＡ会員の研修機会を拡充するなど、学校・家庭・地域が一体となった教育・啓発活動を推進します。

（３）企業における人権同和教育

ア 企業での公正採用と就職差別の撤廃に向けて、関係機関との連携による取組を促進します。

イ 人権啓発資料の配布や、ビデオ等の貸出しによる啓発活動の充実に努めます。

ウ 関係機関と連携し、より多くの学習機会の確保に努め、企業における人権同和教育の推進を図ります。

（４）地域における人権同和教育

ア 市民一人ひとりがあらゆる人権課題を正しく理解するため、家庭・地域・学校・企業・職場が一体となった研修の機会と充実に努めます。

イ 人権週間の取組をはじめ、さまざまな人権に関わる知識や情報を、周知します。

ウ 人権侵害は正しい学習と理解により、なくすことができることを自覚し、人権侵害をなくしていくための学習機会を提供します。

(5) 人権同和教育・啓発事業

	事業名	対象	事業内容
就学前	ア 就学前人権同和教育推進事業	保育士・保護者	・各保育所での保護者参観日等に、学習会を開催し、人権に対する知識と理解を深める。
学校	ア 学校人権同和教育推進事業	小学校・中学校	・学校教育計画の中に人権同和教育を明確に位置付け、その計画の具体化を図る。
	イ 人権同和教育研究委員会事業	佐久市学事職員会 人権同和教育委員会	・研究委員を通じて、各学校との連携を保ち推進体制の強化を図る。 ・地域及び児童生徒の実態に即した人権同和教育のあり方を研究し推進する。 ・研究事業等を実施し、実践資料等を作成する。
	ウ 補助教材配本事業	小学校・中学校	・小学校1・3・5年生、中学校1年生に人権同和教育を充実するため、学習教材として副読本「あけぼの」を配布する。
	エ 教職員人権同和教育研修会事業	小・中学校、 高校教職員	・学校教職員を対象に研修会を開催する。 ・学校での人権同和教育の実践発表。
	オ PTA人権同和教育研修会事業	小・中学校児童、生徒、保護者	・各小・中学校での保護者参観日等に、研修会を開催し人権同和教育の推進と人権に対する理解を深める。
	カ 新任・転入教職員人権同和教育研修会事業	小・中学校教職員	・人権同和教育の充実を図るために、新任・転入学校教職員を対象に研修会を開催
	キ 人権同和少年教育活動推進事業	・解放子ども会の開催 ・解放子ども会指導員、関係小中学校教諭による指導 ・いのちの駅伝実施	
	事業名	事業内容	
企業	ア 企業人権同和教育推進事業	・佐久市企業人権同和教育推進連絡協議会での研修事業 ・人権啓発標語の募集 ・市内福祉施設での研修事業の開催促進	
地域	ア 巡回研修事業	・人権同和教育推進員による機会人権同和教育の推進 (区、民生児童委員会等)	
	イ 人権同和教育講座	・地域で人権同和教育講座を開催し、人権意識の高揚を図る ・市内7地区について隔年で行う	
	ウ 一般啓発事業	・広報、公民館報による人権啓発「人権シリーズ」の掲載 ・各種大会・研修会への参加、呼びかけ ・人権啓発資料の提供 ・視聴覚教材の利用拡大及び充実	
	エ 人権同和教育学級事業	・同和対策集会所において支部単位で懇談会・学習会の開催	
	オ 集会所研修事業	・地域住民を対象に各支部単位で生活改善講座の開催。 (舞踊、手芸、編み物、生活改善等の講座等)	

(6) 同和対策集会所

No.	集 会 所 名	所 在 地	建 物		
			構 造	規模 (㎡)	竣工年月日
1	北口集会所	平賀3511	木 造 ・ 2 階	197.64	S43.3.31
2	内山集会所	内山5899-1	鉄骨造・平屋	196.55	S50.6.1
3	大和町集会所	岩村田3400-1	鉄骨造・2階	380.69	S53.12.28
4	上平尾集会所	上平尾793-1	鉄骨造・平屋	137.36	S55.12.8
5	常和集会所	常和2826-3	木 造 ・ 平 屋	94.38	S56.12.25
6	荒田集会所	小田井1201	鉄 骨 造 ・ 2 階	264.53	S57.3.15
7	香坂集会所	香坂3113	木 造 ・ 平 屋	112.58	S58.3.25
8	岸野集会所	根岸203-1	木 造 ・ 平 屋	112.62	S61.3.20
9	野沢集会所	野沢130-1	鉄骨造・2階	162.00	H3.2.25
10	下越同和教育集会所	下越589-29	木 造 ・ 平 屋	280.17	S49.3.29
11	住吉同和教育集会所	臼田645-1	木 造 ・ 平 屋	142.57	S58.3.29
12	上原南コミュニティセンター	甲341	木 造 ・ 平 屋	120.90	H8.3.31
13	上原同和教育集会所	甲905-1	木 造 ・ 平 屋	321.11	S56.12.18
14	鶴沼コミュニティセンター	矢島108	木 造 ・ 平 屋	117.00	S49.3.31
15	協東集会所	協和2450	木 造 ・ 2 階	198.00	S48.4.1
16	小平集会所	協和13-1	木 造 ・ 2 階	198.00	S49.3.30
17	古道集会所	望月725-1	木 造 ・ 平 屋	187.97	S54.4.1

人権同和対策・人権同和教育の推進体制

